資料４－２

総政企第２９３号
平成29年12月19日

統計委員会委員長
西　村　清　彦　殿

総務大臣
野　田　聖　子

諮問第111号
漁業センサスの変更について（諮問）

標記について、平成29年12月７日付け29統計第1129号により農林水産大臣から別添「基幹統計調査の変更について（申請）」のとおり申請があったところ、その承認の適否を判断するに当たり、統計法（平成19年法律第53号）第11条第２項において準用する同法第９条第４項の規定に基づき、統計委員会の意見を求める。

資料４－２の別添

29統計第1129号
平成29年12月７日

総　務　大　臣　　殿

農林水産大臣　齋藤　健

基幹統計調査の変更について（申請）

下記調査の変更について、統計法（平成19年法律第53号）第11条第１項に基づく承認を受けたいので、別紙申請事項記載書に関係書類を添えて、申請します。

記

漁業センサス

主管部課	農林水産省大臣官房統計部　経営・構造統計課センサス統計室
事務担当者	課長補佐(漁業センサス統計班担当)　電話　03(3502)8467 島内　正人　e-mail masato_shimauchi670@maff.go.jp

申請事項記載書

別紙

１　調査の名称　漁業センサス

２　変更の内容

変　更　案	変　更　前	変更理由
１・２　（略） ３　調査対象の範囲 （１）　（略） （２）属性的範囲 　ア　海面漁業調査 　（ア）　（略） 　　（削る。） 　（イ）海面漁業地域調査票 　　漁業協同組合（内水面組合（水産業協同組合法（昭和23年法律第242号）第18条第２項の内水面組合をいう。以下同じ。）を除く。） 　イ　（略） 　ウ　流通加工調査 　（ア）魚市場調査票 　　魚市場（注３） 　（イ）（略） 　　（削る。） 　　（注３）「魚市場」とは、後記５（２）に掲げる基準となる期日前１年間に漁船により水産物の直接水揚げがあった市	１・２　（略） ３　調査対象の範囲 （１）　（略） （２）属性的範囲 　ア　海面漁業調査 　（ア）　（略） 　（イ）漁業管理組織調査票 　　漁業管理組織（注３） 　（ウ）海面漁業地域調査票 　　漁業協同組合（内水面組合（水産業協同組合法（昭和23年法律第242号）第18条第２項の内水面組合をいう。以下同じ。）を除く。） 　イ　（略） 　ウ　流通加工調査 　（ア）魚市場調査票 　　魚市場（注４） 　（イ）（略） 　　（注３）「漁業管理組織」とは、漁場又は漁業種類を同じくする複数の漁業経営体からなる集まりであって、自主的な漁業資源の管理、漁場の管理又は漁獲の管理を行っているものをいう。 　　（注４）「魚市場」とは、後記５（２）に掲げる基準となる期日前１年間に漁船により水産物の直接水揚げがあった市	これまでは、漁業管理組織調査において、自主的な資源管理を行う漁業者の組織（漁業管理組織として定義）のうち、漁業協同組合が関与する組織を対象に、管理対象魚種、漁業管理の内容、参加経営体数等の資源管理の取組内容等を調査していたが、新たな資源管理体制（平成23年度）が定着（当該計画の検証及び評価が実施され、それを踏まえた見直しが行われている）したとともに、記入者の負担軽減のため漁業管理組織調査を廃止。 なお、水産資源については国民の関心も高く、新たな資源管理体制のもと漁業協同組合が把

場及び漁船の直接水揚げがなくても、陸送により生産地から水産物の搬入を受けて、第一次段階の取引を行った市場をいう。	場及び漁船の直接水揚げがなくても、陸送により生産地から水産物の搬入を受けて、第一次段階の取引を行った市場をいう。	握していることから資源管理、漁場改善の取組について、海面漁業地域調査において、沿海地区漁協における、遊漁の状況、漁業体験や魚食普及活動等の活性化の取組とともに把握することとしたため。（以下、管理組織調査票の廃止に係る変更事項は同じ）。
4　報告を求める者 （1）数（注4） ア　海面漁業調査 （ア）漁業経営体調査票 約９万５千経営体 （削る。） （イ）海面漁業地域調査票 約950組合 イ　内水面漁業調査 （ア）内水面漁業経営体調査票 約5,500経営体 （イ）　（略） ウ　流通加工調査 （ア）魚市場調査 約850市場 （イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票 約１万事業所 （注４）　報告者数は、平成25年度調査の実績	4　報告を求める者 （1）数（注5） ア　海面漁業調査 （ア）漁業経営体調査票 約11万５千経営体 （イ）漁業管理組織調査票 約1,700組織 （ウ）海面漁業地域調査票 約1,000組合 イ　内水面漁業調査 （ア）内水面漁業経営体調査票 約6,500経営体 （イ）　（略） ウ　流通加工調査 （ア）魚市場調査 約900市場 （イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票 約１万２千事業所 （注５）　報告者数は、平成20年調査の実績	2013年漁業センサスの結果による数の変更及び注釈内容の変更。
（2）　選定の方法（■全数　□無作為抽出　□有意抽出） 各調査票に係る客体名簿を母集団名簿として利用する。 客体名簿は、海面漁業調査の漁業経営体調査票に係る名簿については市区町村が、それ以外の調査票に係る名簿については地方	（2）　選定の方法（■全数　□無作為抽出　□有意抽出） 各調査票に係る客体名簿を母集団名簿として利用する。 客体名簿は、海面漁業調査の漁業経営体調査票に係る名簿については市区町村が、それ以外の調査票に係る名簿については地方	以降の記載に同様の標記が生じ

農政局等（「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。以下同じ。）の長が、調査の実施に先立ち作成する名簿で、各名簿に記載された者のすべてに対し調査を行う。	農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターの長が、調査の実施に先立ち作成する名簿で、各名簿に記載された者のすべてに対し調査を行う。	たことによる変更。 （内容の変更は伴わない）
（３）報告義務者 報告義務者は、後記５（１）のアからウに掲げる事項について、それぞれ報告しなければならない。 ア　海面漁業調査 （ア）　（略） （削る。） （イ）海面漁業地域調査票 （略） イ・ウ　（略）	（３）報告義務者 報告義務者は、後記５（１）のアからウに掲げる事項について、それぞれ報告しなければならない。 ア　海面漁業調査 （ア）　（略） （イ）漁業管理組織調査票 漁業管理組織を代表する者 （ウ）海面漁業地域調査票 （略） イ・ウ　（略）	
５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項 ア　海面漁業調査 （ア）漁業経営体調査票（詳細は、別添１様式調第１号及び第２号を参照 a・b　（略） （削る。） （イ）海面漁業地域調査票（詳細は、別添１様式調第３号を参照） a　資源管理・漁場改善の取組 b　会合・集会等の開催状況 c　活性化の取組 イ　内水面漁業調査 （ア）内水面漁業経営体調査票（詳細は、別添１様式調第４号及び第５号を参照） a・b　（略）	５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 （１）報告を求める事項 ア　海面漁業調査 （ア）漁業経営体調査票（詳細は、別添様式調第１号及び第２号を参照 a・b　（略） （イ）漁業管理組織調査票（詳細は、別添様式調第３号を参照） a　漁業管理組織の概要 b　漁業管理の内容 （ウ）海面漁業地域調査票（詳細は、別添様式調第４号を参照） a　生産条件 （新設） b　活性化の取組 イ　内水面漁業調査 （ア）内水面漁業経営体調査票（詳細は、別添様式調第５号及び第６号を参照） a・b　（略）	調査票の改正については、別添「2018年漁業センサス調査票新旧対照表（案）」のとおり。 漁業管理組織調査票で把握していた資源管理、漁場改善及び地域課題に関する事項を、海面漁業地域調査票において把握するための変更。

（イ）内水面漁業地域調査票（詳細は、別添１様式調第６号を参照） a～d　（略） （削る。）	（イ）内水面漁業地域調査票（詳細は、別添様式調第７号を参照） a～d　（略） e　その他内水面漁業地域の現況を把握するために必要な事項	記載誤りのため（調査事項にない。）。
ウ　流通加工調査 （ア）魚市場調査票（詳細は、別添１様式調第７号を参照） a・b　（略） （イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票（詳細は、別添１様式調第８号を参照） a～c　（略）	ウ　流通加工調査 （ア）魚市場調査票（詳細は、別添様式調第８号を参照） a・b　（略） （イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票（詳細は、別添様式調第９号を参照） a～c　（略）	
（２）基準となる期日又は期間 ア　海面漁業調査、内水面漁業調査 平成30年11月１日現在 （一部の項目については、過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）の実績） イ　流通加工調査 平成31年１月１日現在 （一部の項目については、平成30年11月１日現在又は過去１年間（平成30年１月１日から平成30年12月31日）の実績）	（２）基準となる期日又は期間 ア　海面漁業調査、内水面漁業調査 平成25年１１月１日現在 （一部の項目については、過去１年間（平成24年11月１日から平成25年10月31日）又は過去５年間（平成20年１月１日から平成24年12月31日）の実績） イ　流通加工調査 平成26年１月１日現在 （一部の項目については、平成25年11月１日現在又は過去１年間（平成25年１月１日から平成25年12月31日）の実績）	2018年漁業センサスとして実施するための年の変更。 過去５年間の実績について把握する項目（海面漁業地域調査）を削除するための変更。
６　報告を求めるために用いる方法 （１）　調査組織 ア　海面漁業調査漁業経営体調査票 （略） イ　海面漁業調査海面漁業地域調査票、内水面漁業調査内水面漁業地域調査票及び流通加工調査魚市場調査票 （ア）地方農政局の管轄区域 農林水産省－地方農政局－報告者 （イ）北海道 農林水産省－北海道農政事務所－報告者 （ウ）沖縄県 農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－報告者	６　報告を求めるために用いる方法 （１）調査組織 ア　海面漁業調査（漁業経営体調査に限る。） （略） イ　海面漁業調査（漁業管理組織調査票及び海面漁業地域調査票）、内水面漁業調査及び流通加工調査 （ア）地方農政局の管轄区域 農林水産省－地方農政局－調査員－報告者 （イ）北海道 農林水産省－北海道農政事務所－調査員－報告者 （ウ）沖縄県 農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－調査員－報告者	オンライン調査及び郵送調査の導入に伴う変更。 オンライン調査及び郵送調査の導入に伴い、同様の調査方法

		で実施している、他の統計調査にあわせるための変更。
ウ　内水面漁業調査内水面漁業経営体調査票 （ア）地方農政局の管轄区域 農林水産省－地方農政局－調査員－報告者 農林水産省－地方農政局－報告者 （イ）北海道 農林水産省－北海道農政事務所－調査員－報告者 農林水産省－北海道農政事務所－報告者 （ウ）沖縄県 農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－調査員－報告者 農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者	（新設）	
エ　流通加工調査冷凍・冷蔵、水産加工場調査票 （ア）地方農政局の管轄区域 農林水産省－地方農政局－調査員－報告者 （イ）北海道 農林水産省－北海道農政事務所－調査員－報告者 （ウ）沖縄県 農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－調査員－報告者	（新設）	
（２）調査方法（■調査員調査　■郵送調査　■オンライン調査　■その他（職員調査）） ア　海面漁業調査漁業経営体調査票 調査員が調査票を配布・回収する自計申告の方法により行う。 なお、報告者の協力が得られる場合は、政府統計共同利用システム（以下、「オンライン調査システム」という。）により、調査票を回収する自計申告の方法により行う。ただし、報告者が面接聞き取りによる調査（他計報告）を希望した場合は、調査員による報告者に対する面接聞き取りを行う。	（２）調査方法（■調査員調査　□郵送調査　■オンライン調査　□その他） ア　海面漁業調査及び内水面漁業調査 調査員が調査票を配布・回収する自計報告により行う。ただし、報告者が面接聞き取りによる調査（他計報告）を希望した場合は、調査員による報告者に対する面接聞き取りを行う。	報告者の負担軽減の観点から、これまでは、流通加工調査にのみ導入してきたオンライン調査を他の調査に導入するための変更。 その際、海面漁業調査海面漁業地域調査票、内水面漁業調査内水面漁業地域調査票及び流通加工調査魚市場調査票については、報告者が漁業協同組合等の組織であることから、電子メールを用いたオンラインとするこ
イ　海面漁業調査海面漁業地域調査票、内水面漁業調査内水面漁業地域調査票、流通加工調査魚市場調査票 農林水産省本省から報告者に対して、調査票を郵送により配布	（新設）	

し、オンライン（電子メール）により回収する自計申告の方法により行う。ただし、報告者の事情によりオンライン（電子メール）による回答ができない場合は、郵送により調査票を回収する自計申告の方法により行う。 ウ　内水面漁業調査内水面漁業経営体調査票 ①　調査員が調査票を配布・回収する自計申告の方法により行う。なお、報告者の協力が得られる場合は、オンライン調査システムにより、調査票を回収する自計申告の方法により行う。ただし、報告者が面接聞き取りによる調査（他計報告）を希望した場合は、調査員による報告者に対する面接聞き取りを行う。 ②　地方農政局等から報告者に対して、調査票を郵送により配布・回収する自計申告の方法により行う。なお、報告者の協力が得られる場合は、オンライン調査システムにより、調査票を回収する自計申告の方法により行う。ただし、郵送又はオンライン調査システムにより回収できなかった調査票は、地方農政局等の職員が回収する自計申告の方法により行う。 エ　流通加工調査冷凍・冷蔵、水産加工場調査票 調査員が調査票を配布・回収する自計申告の方法により行う。 なお、報告者の協力が得られる場合は、オンライン調査システムにより、調査票を回収する自計申告の方法により行う。	（新設） イ　流通加工調査 調査員が調査票を配布・回収する自計報告により行う。ただし、報告者からオンライン（政府統計共同利用システムをいう。以下同じ。）を利用して調査票を作成する申し出があった場合は、オンラインを利用して調査票を回収する方法により行う。	とに加え、郵送も活用する調査とする。 また、内水面漁業調査内水面漁業経営体調査票においては、調査員調査を基本とするが、1市に1経営体の場合もあることから、効率的な実施の観点から、郵送調査又はオンライン調査も選択できることとする。
7　報告を求める期間 （1）　（略） （2）　調査の実施期間又は調査票の提出期限 ア　海面漁業調査、内水面漁業調査 調査票の配布：平成30年10月15日 調査票の回収：平成30年11月20日 イ　流通加工調査 調査票の配布：平成31年１月10日 調査票の回収：平成31年１月31日	7　報告を求める期間 （1）　（略） （2）調査の実施期間又は調査票の提出期限 ア　海面漁業調査、内水面漁業調査 調査票の配布：平成25年10月15日 調査票の回収：平成25年11月20日 イ　流通加工調査 調査票の配布：平成25年12月15日 調査票の回収：平成26年１月31日	2018年漁業センサスとして実施するための年の変更。 なお、流通加工調査については、2013年漁業センサスより調査期間を変更（11月から１月）したが、年末に調査票を配布し年明けに回収することに対して調査対象者及び調査員より見直す要望を踏まえて、配布につい

		ても年明けとするスケジュールに変更。
8　集計事項（詳細は、別添２を参照） （１）　海面漁業調査 ア　（略） （削る。） イ　海面漁業地域調査票 （ア）資源管理の内容別取組数 （イ）会合・集会等の回数別漁業地区数 （ウ）活性化の活動内容別漁業地区数 （エ）その他 （２）・（３）　（略）	8　集計事項（詳細は、別添２を参照） （１）海面漁業調査 ア　（略） イ　漁業管理組織調査票 （ア）管理対象魚種別組織数 （イ）管理対象漁業種類別組織数 （ウ）その他 ウ　海面漁業地域調査票 （ア）生産条件別漁協数 （新設） （イ）活性化の取組別漁協数 （ウ）その他 （２）・（３）　（略）	報告を求める事項の変更に伴う変更。
9　調査結果の公表の方法及び期日 （１）公表の方法 概要及び詳細とも、インターネット（農林水産省ホームページ及びe-Stat）及び印刷物により公表する。 （２）公表の期日 概要については、平成31年８月末までに行う。 詳細については、平成31年12月末以降、順次公表する。	9　調査結果の公表の方法及び期日 （１）公表の方法 概要及び詳細とも、インターネット（e-Stat）及び印刷物により公表する。 （２）公表の期日 概要については、平成26年８月末までに行う。 詳細については、平成26年12月末以降、順次公表する。	表現の適正化。 （内容の変更は伴わない） 2018年漁業センサスとして実施するための年の変更。
10　使用する統計基準 漁業経営体、漁業協同組合、内水面漁業経営体、内水面組合、魚市場、水産加工業並びに冷凍及び冷蔵施設を営む事業所を調査対象とし、全国、大海区、都道府県、市区町村等の表章区分を行うことから、日本標準産業分類等統計基準は使用しない。	10　使用する統計基準 漁業経営体、漁業管理組織、漁協、内水面漁業経営体、内水面組合、魚市場及び冷凍・冷蔵工場を調査対象とし、全国、大海区、都道府県、市区町村等の表章区分を行うことから、日本標準産業分類等統計基準は使用しない。	漁業管理組織調査票の廃止に係る変更及び正確な団体名称に変更。
11・12　（略）	11・12　（略）	

調　査　計　画（変更後）（案）

1　調査の名称

漁業センサス

2　調査の目的

本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号。以下「法」という。）に基づき、漁業センサス（法第２条第４項第３号に規定する基幹統計）を作成し、我が国の漁業の生産構造、就業構造及び漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を明らかにするとともに、我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的とする。

3　調査対象の範囲

（１）地域的範囲

ア　海面漁業（注１）調査

原則として、海面に沿う市区町村及び漁業法（昭和 24 年法律第 267 号）第 86 条第１項の規定により農林水産大臣が指定した市区町村

イ　内水面漁業（注２）調査

全国

ウ　流通加工調査

全国

（注１）「海面漁業」とは、海面（浜名湖、中海、加茂湖、猿澗湖、風蓮湖及び厚岸湖を含む。）において営む水産動植物の採捕又は養殖の事業をいう。

（注２）「内水面漁業」とは、共同漁業権の存する天然の湖沼その他の湖沼で農林水産大臣が定める湖沼において水産動植物の採捕の事業または内水面（海面漁業に規定する湖沼を除く。）において営む養殖業をいう。

（２）属性的範囲

ア　海面漁業調査

（ア）漁業経営体調査票

漁業経営体（後記５（２）に掲げる基準となる期日前１年間に海面漁業又は内水面漁業を営んだ世帯又は事業所をいう。前記３（１）ア記載の市区町村の区域外にある海面漁業に係る漁業経営体であって行政施策上農林水産大臣が必要と認めるものを含む。）のうち海面漁業に係る漁業経営体。

（イ）海面漁業地域調査票

漁業協同組合（内水面組合（水産業協同組合法（昭和 23 年法律第 242 号）第 18 条第２項の内水面組合をいう。以下同じ。）を除く。）

イ　内水面漁業調査

（ア）内水面漁業経営体調査票

ａ　内水面漁業に係る漁業経営体のうち共同漁業権の存する天然の湖沼その他

の湖沼で農林水産大臣が定めるものにおいて水産動植物の採捕の事業を営む漁業経営体

b　内水面漁業に係る漁業経営体のうち内水面において養殖の事業を営む漁業経営体

（イ）内水面漁業地域調査票

内水面組合

ウ　流通加工調査

（ア）魚市場調査票

魚市場（注３）

（イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

水産加工業並びに冷凍及び冷蔵施設を営む事業所

（注３）「魚市場」とは、後記５（２）に掲げる基準となる期日前１年間に漁船により水産物の直接水揚げがあった市場及び漁船の直接水揚げがなくても、陸送により生産地から水産物の搬入を受けて、第一次段階の取引を行った市場をいう。

４　報告を求める者

（１）数（注４）

ア　海面漁業調査

（ア）漁業経営体調査票

約９万５千経営体

（イ）海面漁業地域調査票

約 950 組合

イ　内水面漁業調査

（ア）内水面漁業経営体調査票

約 5,500 経営体

（イ）内水面漁業地域調査票

約 1,000 組合

ウ　流通加工調査

（ア）魚市場調査票

約 850 市場

（イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

約１万事業所

（注４）　報告者数は、平成 25 年度調査の実績

（２）選定の方法（■全数　□無作為抽出　□有意抽出）

各調査票に係る客体名簿を母集団名簿として利用する。

客体名簿は、海面漁業調査の漁業経営体調査票に係る名簿については市区町村が、それ以外の調査票に係る名簿については地方農政局等（「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。以下同じ。）の長が、調査の実施に先立ち作成する名簿で、各名簿に記載された者のすべてに対し調査を行う。

（３）報告義務者

報告義務者は、後記５（１）のアからウに掲げる事項について、それぞれ報告しなければならない。

ア　海面漁業調査

（ア）漁業経営体調査票

漁業経営体を代表する者

（イ）海面漁業地域調査票

漁業協同組合を代表する者

イ　内水面漁業調査

（ア）内水面漁業経営体調査票

内水面漁業経営体を代表する者

（イ）内水面漁業地域調査票

内水面組合を代表する者

ウ　流通加工調査

（ア）魚市場調査票

魚市場を開設する者

（イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

水産加工業並びに冷凍及び冷蔵施設を営む事業所を代表する者

５　報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（１）報告を求める事項

ア　海面漁業調査

（ア）漁業経営体調査票（詳細は、別添１様式調第１号及び第２号を参照）

a　漁業種類、使用漁船、養殖施設その他漁業経営体の経営の状況

b　個人の漁業経営体の世帯の状態及び世帯員の漁業就業日数その他の就業状況

（イ）海面漁業地域調査票（詳細は、別添１様式調第３号を参照）

a　資源管理・漁場改善の取組

b　会合・集会等の開催状況

c　活性化の取組

イ　内水面漁業調査

（ア）内水面漁業経営体調査票（詳細は、別添１様式調第４号及び第５号を参照）

a　漁業種類、使用漁船、養殖施設その他漁業経営体の漁業経営の状況

b　個人の漁業経営体の世帯の状態及び世帯員の就業状況

（イ）内水面漁業地域調査票（詳細は、別添１様式調第６号を参照）

a　組合員数

b　漁場環境

c　遊漁の状況

d　活性化の取組

ウ　流通加工調査

（ア）魚市場調査票（詳細は、別添１様式調第７号を参照）

ａ　魚市場の施設及び取扱高

ｂ　その他魚市場の現況を把握するために必要な事項

（イ）冷凍・冷蔵、水産加工場調査票（詳細は、別添１様式調第８号を参照）

ａ　事業内容

ｂ　従業者数

ｃ　その他冷凍・冷蔵、水産加工場の現況を把握するために必要な事項

（２）基準となる期日又は期間

ア　海面漁業調査、内水面漁業調査

平成 30 年 11 月１日現在

（一部の項目については、過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）の実績）

イ　流通加工調査

平成 31 年１月１日現在

（一部の項目については、平成30年11月１日現在又は過去１年間（平成30年１月１日から平成30年12月31日）の実績）

６　報告を求めるために用いる方法

（１）調査組織

ア　海面漁業調査漁業経営体調査票

農林水産省－都道府県－市区町村－調査員－報告者

イ　海面漁業調査海面漁業地域調査票、内水面漁業調査内水面漁業地域調査票及び流通加工調査魚市場調査票

（ア）地方農政局の管轄区域

農林水産省－地方農政局－報告者

（イ）北海道

農林水産省－北海道農政事務所－報告者

（ウ）沖縄県

農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－報告者

ウ　内水面漁業調査内水面漁業経営体調査票

（ア）地方農政局の管轄区域

農林水産省－地方農政局－調査員－報告者

農林水産省－地方農政局－報告者

（イ）北海道

農林水産省－北海道農政事務所－調査員－報告者

農林水産省－北海道農政事務所－報告者

（ウ）沖縄県

農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－調査員－報告者
農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者

エ　流通加工調査冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

（ア）地方農政局の管轄区域

農林水産省－地方農政局－調査員－報告者

（イ）北海道

農林水産省－北海道農政事務所－調査員－報告者

（ウ）沖縄県

農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－調査員－報告者

（２）調査方法（■調査員調査　■郵送調査　■オンライン調査　■その他（職員調査））

ア　海面漁業調査漁業経営体調査票

調査員が調査票を配布・回収する自計申告の方法により行う。なお、報告者の協力が得られる場合は、政府統計共同利用システム（以下、「オンライン調査システム」という。）により、調査票を回収する自計申告の方法により行う。ただし、報告者が面接聞き取りによる調査（他計報告）を希望した場合は、調査員による報告者に対する面接聞き取りを行う。

イ　海面漁業調査海面漁業地域調査票、内水面漁業調査内水面漁業地域調査票、流通加工調査魚市場調査票

農林水産省本省から報告者に対して、調査票を郵送により配布し、オンライン（電子メール）により回収する自計申告の方法により行う。ただし、報告者の事情によりオンライン（電子メール）による回答ができない場合は、郵送により調査票を回収する自計申告の方法により行う。

ウ　内水面漁業調査内水面漁業経営体調査票

①　調査員が調査票を配布・回収する自計申告の方法により行う。なお、報告者の協力が得られる場合は、オンライン調査システムにより、調査票を回収する自計申告の方法により行う。ただし、報告者が面接聞き取りによる調査（他計報告）を希望した場合は、調査員による報告者に対する面接聞き取りを行う。

②　地方農政局等から報告者に対して、調査票を郵送により配布・回収する自計申告の方法により行う。なお、報告者の協力が得られる場合は、オンライン調査システムにより、調査票を回収する自計申告の方法により行う。ただし、郵送又はオンライン調査システムにより回収できなかった調査票は、地方農政局等の職員が回収する自計申告の方法により行う。

エ　流通加工調査冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

調査員が調査票を配布・回収する自計申告の方法により行う。なお、報告者の協力が得られる場合は、オンライン調査システムにより、調査票を回収する自計申告の方法により行う。

7　報告を求める期間

（1）調査の周期

５年（西暦の末尾が「３」と「８」の年に実施）

（2）調査の実施期間又は調査票の提出期限

ア　海面漁業調査、内水面漁業調査

調査票の配布：平成 30 年 10 月 15 日

調査票の回収：平成 30 年 11 月 20 日

イ　流通加工調査

調査票の配布：平成 31 年１月 10 日

調査票の回収：平成 31 年１月 31 日

8　集計事項（詳細は、別添２を参照）

（1）海面漁業調査

ア　漁業経営体調査票

（ア）漁業経営に関する事項

a　経営組織別漁業経営体数

b　経営体階層別漁業経営体数

c　その他

（イ）漁船に関する事項

a　規模別漁船隻数

b　その他

（ウ）個人経営体に関する事項

a　自営漁業の専兼業別個人経営体数

b　その他

（エ）漁業従事者に関する事項

家族・雇用者別漁業従事者数

イ　海面漁業地域調査票

（ア）資源管理の内容別取組数

（イ）会合・集会等の回数別漁業地区数

（ウ）活性化の活動内容別漁業地区数

（エ）その他

（2）内水面漁業調査

ア　内水面漁業経営体調査票

（ア）湖沼漁業に関する事項

a　経営体階層別漁業経営体数

b　漁業種類別漁業経営体数

c　漁船隻数

d　世帯数及び世帯員数並びに兼業状況
e　その他
（イ）内水面養殖業に関する事項
a　養殖種類別漁業経営体数
b　養殖種類別世帯数及び世帯員数並びに兼業状況
c　養殖魚種別漁業経営状況
d　その他
イ　内水面漁業地域調査票
（ア）漁場環境別漁協数
（イ）活性化の取組別漁協数
（ウ）その他

（３）流通加工調査
ア　魚市場調査票
（ア）開設者の種類別市場数
（イ）市場の規模別市場数
（ウ）その他
イ　冷凍・冷蔵、水産加工場調査票
（ア）形態別工場数
（イ）冷蔵・凍結能力別工場数
（ウ）加工種類別工場数
（エ）その他

9　調査結果の公表の方法及び期日
（１）公表の方法
概要及び詳細とも、インターネット（農林水産省ホームページ及び e-Stat）及び印刷物により公表する。

（２）公表の期日
概要については、平成 31 年８月末までに行う。
詳細については、平成 31 年 12 月末以降、順次公表する。

10　使用する統計基準
漁業経営体、漁業協同組合、内水面漁業経営体、内水面組合、魚市場、水産加工業並びに冷凍及び冷蔵施設を営む事業所を調査対象とし、全国、大海区、都道府県、市区町村等の表章区分を行うことから、日本標準産業分類等統計基準は使用しない。

11　調査票情報の保存期間及び保存責任者

	保存期間	保存責任者
調査票	３年	農林水産省大臣官房統計部長
調査票の内容を収録した電磁的記録媒体	永年	

12　立入検査等の対象とすることができる事項

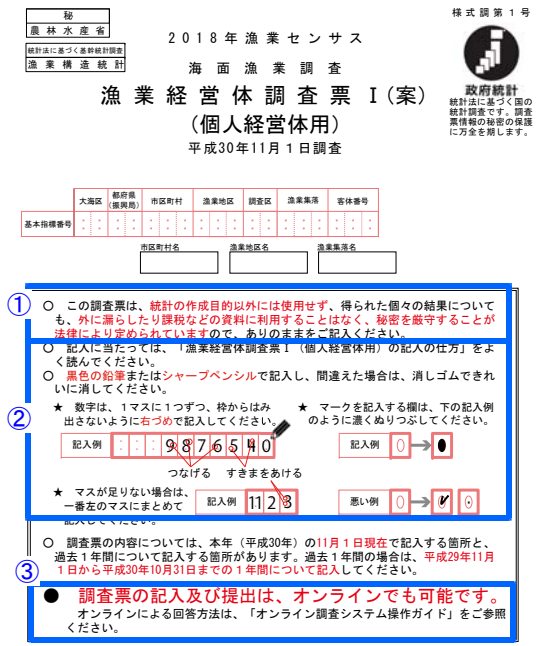
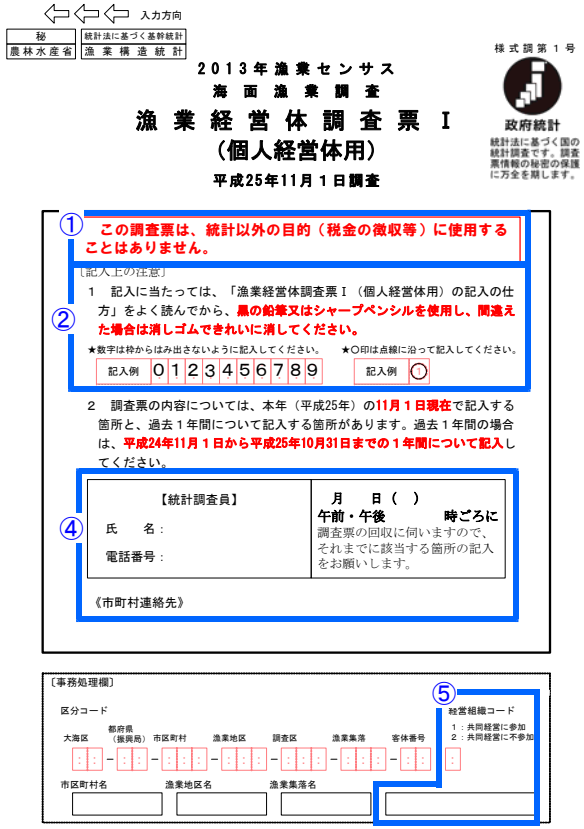
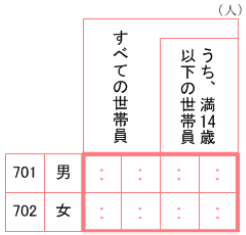
本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、前記５（１）に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所に立ち入り、帳簿、書類、その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

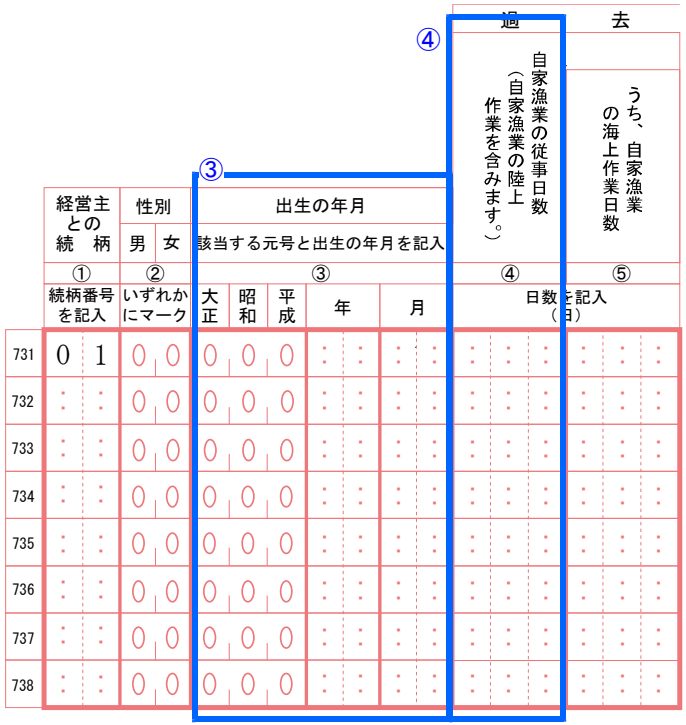
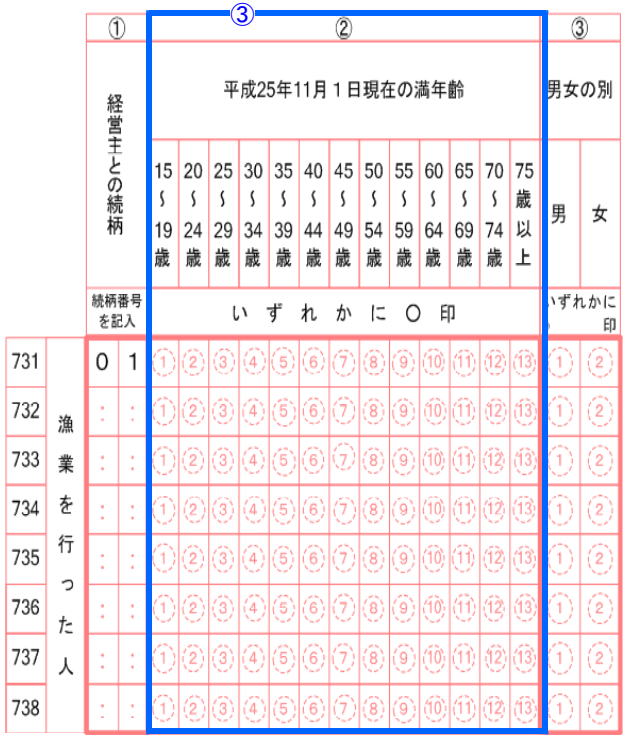
別　添

2018年漁業センサス調査票 新旧対照表（案）

海面漁業調査	漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）	1
海面漁業調査	漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）	15
海面漁業調査	漁業管理組織調査票	31
海面漁業調査	海面漁業地域調査票	35
内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）	43
内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）	57
内水面漁業調査	内水面漁業地域調査票	67
流通加工調査	魚市場調査票	73
流通加工調査	冷凍・冷蔵、水産加工場調査票	77

Ⅰ　海面漁業調査　漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）

新	旧	変更理由
 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計調査 漁業構造統計 様式調第１号 ２０１８年漁業センサス 海面漁業調査 漁業経営体調査票Ⅰ（案） （個人経営体用） 平成30年11月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 大海区 / 都府県（振興局） / 市区町村 / 漁業地区 / 調査区 / 漁業集落 / 客体番号 基本指標番号 市区町村名 / 漁業地区名 / 漁業集落名 ① ○ この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。 ② ○ 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。 ○ 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。 ★ 数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。 ★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。 記入例 9 8 7 6 5 4 0 つなげる　すきまをあける 記入例 ○ → ● ★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。 記入例 1 1 2 3 悪い例 ○ → ✓ ⊙ ○ 調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。 ③ ● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。 オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。	 入力方向 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 漁業構造統計 様式調第１号 ２０１３年漁業センサス 海面漁業調査 漁業経営体調査票Ⅰ （個人経営体用） 平成25年11月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 ① この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。 〔記入上の注意〕 ② １ 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。　★○印は点線に沿って記入してください。 記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　記入例 ○ ２ 調査票の内容については、本年（平成25年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成24年11月１日から平成25年10月31日までの１年間について記入してください。 ④ 【統計調査員】 氏　名： 電話番号： 月　日（　） 午前・午後　時ごろに 調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。 《市町村連絡先》 〔事務処理欄〕 区分コード 大海区 / 都府県（振興局） / 市区町村 / 漁業地区 / 調査区 / 漁業集落 / 客体番号 ⑤ 経営組織コード １：共同経営に参加 ２：共同経営に不参加 市区町村名 / 漁業地区名 / 漁業集落名	① 字句の修正 利用目的を、記入者により伝わりやすくするための変更。 ② 変更 ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。 なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。 ③ 追加 オンライン調査を導入するため。 ④ 削除 別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。 ⑤ 削除 客体名簿で管理することとするため。
Ⅰ　世帯について （削除）	Ⅰ　世帯について １　世帯員すべての人数 11月１日現在の世帯員の人数を記入してください。  （人） すべての世帯員 うち、満14歳以下の世帯員 701 男 702 女	【削除】 漁業経営に係る情報の充実に重きを置くこととし、記入負担の軽減を図る。

新	旧	変更理由
① 1　漁業を行った人　② 満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業を行った人をもれなく記入してください。  	① 4　漁業を行った人　② 満15歳以上の世帯員（平成10年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間に漁業を行った人をもれなく記入してください。  	① 字句の修正 調査項目の変更に対応するため番号を変更。 ② 字句の修正 2018年漁業センサス用の調査票とするための変更。 ③ 変更 漁業者の減少・高齢化の進行など水産物の生産体制の脆弱化が水産施策の課題となる中、経営主、自家漁業就業者等の平均年齢など、その実態を正確に表した統計を作成するため、調査項目を年齢階層別から国勢調査と同様に出生の年月に変更。 なお、集計においては、これまで通りの年齢階層区分で統計表を作成する。 ④ 追加 漁業においても、長時間労働を是正するほか、休暇の計画的な取得等働きやすい環境を整備し、ワークライフバランスを実現できる労働条件を目指して施策を進めている中、海上作業だけでなく、陸上作業も含めた自家漁業への労働投下状況に関する統計を提供するため。

新	旧	変更理由
		① 追加 複数の漁業種類に従事している者の漁業種類の組合せ状況を詳細に把握し明らかにすることで、漁業経営における漁業種類の組合せやその変化が、漁業従事者の従事状況にどのように影響するのか、また、その変化を将来的に捉えるための基準となる統計を整備するため。 ② 追加 水産業における女性の参画促進や「担い手」となる新規漁業就業者の支援・定着を促進している中、漁業の実作業のみでなく、個人経営体における経営主以外の世帯員の関わり方についての統計を整備するため。 ③ 削除 この項目を使い、自家漁業のみに従事する漁業就業者の沿岸・沖合・遠洋漁業の従事状況別の統計を作成してきたものの、雇われの漁業就業者については同様の統計の作成ができないことから、平仄を合わせる観点及び記入負担軽減の観点から削除する。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>２　世帯としての収入
世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。当てはまるものに記入してください。

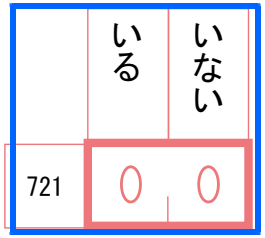
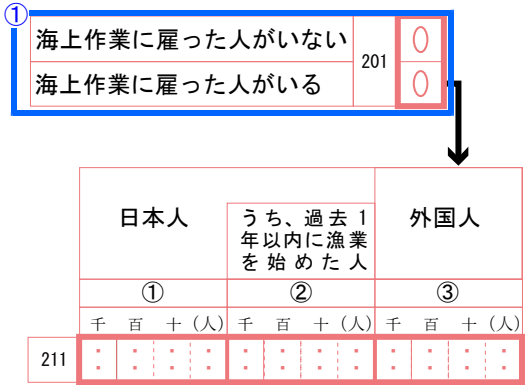
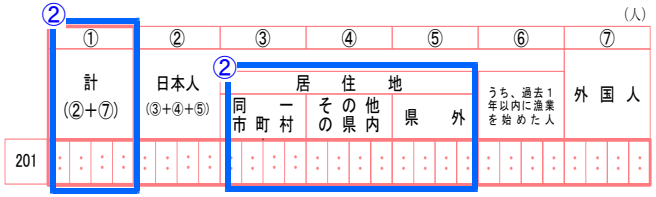
<table>
<tr><td colspan="2">自家漁業の収入のみ</td><td rowspan="3">711</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自家漁業以外の収入があった</td><td>自家漁業の収入が多かった</td><td>○</td></tr>
<tr><td>自家漁業以外の収入が多かった
（不動産による収入を含み、年金は含みません。）</td><td>○</td></tr>
</table>
</td>
<td>２　世帯としての専業・兼業
（1）　当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">自家漁業
専　業</td><td colspan="2">兼　業</td></tr>
<tr><td>自家漁業
が　主</td><td>他　が　主</td></tr>
<tr><td>711</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr>
</table>
</td>
<td>【字句の修正】
本調査においては、収入に基づき専兼業を判断していることから、調査項目を記入者が判断しやすいよう説明を交えた項目とし、設問の主旨を記入者に確実に伝えるための変更。
また、記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>（「Ｖ　漁業以外の事業について」へ移動）</td>
<td>（2）　過去１年間の漁業以外の仕事について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="4">自　営　業</td><td rowspan="2">勤　め</td></tr>
<tr><td>水　産
加工業</td><td>民　宿</td><td>遊　漁
船　業</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>712</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr>
</table>
</td>
<td>【問いの順序変更】
「Ｖ　漁業以外の事業について」を設定し、項目の順序を変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>（「Ｖ　漁業以外の事業について」へ移動）

（削除）</td>
<td>（3）　過去１年間の延べ利用者数を記入してください。

<table>
<tr><td></td><td></td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>（人）</td></tr>
<tr><td>713</td><td>民　宿</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td></tr>
<tr><td>714</td><td>遊漁船業</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td></tr>
</table>
</td>
<td>【問いの順序変更】
「Ｖ　漁業以外の事業について」を設定し、項目の順序を変更。
なお、「遊漁船業の利用者数」については、記入負担の軽減から削除。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>３　自家漁業の後継者の有無
当てはまるものに記入してください。
 
</td>
<td>３　自家漁業の後継者の有無
当てはまる番号を一つ○で囲んでください。
</td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>Ⅱ　自家漁業に雇った人
１　海上作業に雇った人数
（1）　11月１日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、項目ごとにその人数を記入してください。
 
</td>
<td>Ⅱ　自家漁業に雇った人
１　海上作業に雇った人数
（1）　11月１日現在の海上作業に雇った人数を記入してください。
 
</td>
<td>① 追加
11月１日現在の海上作業の雇用者の調査項目については、該当がある場合のみ記入となるが、記入漏れや世帯員を誤って記入した場合に審査を行うすべがないことから、冒頭に有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に人数を回答することとして、記入漏れを防ぐための追加。

② 削除
本項目は、2008年漁業センサスにおいて、それまで漁業センサスの１つの調査として実施していた「漁業従事者世帯調査」を通じ把握していた雇われ海上作業従事者に関するデータの連続性を可能な限り担保する目的で設定したものであるが、利活用も低下していることから、今回センサスにおいては、記入負担の軽減のため削除。</td>
</tr>
</table>

新

①

(2)　(1)の日本人のうち、過去１年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。

（人）

		男			女		
計	221						
15～19歳	222						
20～24歳	223						
25～29歳	224						
30～34歳	225						
35～39歳	226						
40～44歳	227						
45～49歳	228						
50～54歳	229						
55～59歳	230						
60～64歳	231						
65～69歳	232						
70～74歳	233						
75歳以上	234						

２　陸上作業に雇った人数

過去１年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

（人）

		千	百	十	
計	241				
男	242				
女	243				

旧

①

(2)　②の日本人のうち、過去１年間に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。

（人）

		海上作業を行った人数						②うち、居住地が同一市町村					
		男			女			男			女		
211	計												
212	15～19歳												
213	20～24歳												
214	25～29歳												
215	30～34歳												
216	35～39歳												
217	40～44歳												
218	45～49歳												
219	50～54歳												
220	55～59歳												
221	60～64歳												
222	65～69歳												
223	70～74歳												
224	75歳以上												

２　陸上作業に雇った人数

過去１年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

（人）

231	計				
232	男				
233	女				

変更理由

① 字句の修正

調査項目の変更に対応するため番号を変更。

② 削除

本項目は、2008年漁業センサスにおいて、それまで漁業センサスの１つの調査として実施していた「漁業従事者世帯調査」を通じ把握していた雇われ漁業就業者に関するデータの連続性を可能な限り担保する目的で設定したものであるが、利活用も低下していることから、今回センサスにおいては、記入負担の軽減のため削除。

【字句の修正】

桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>Ⅲ　漁船
1　過去１年間②に漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。（借りた漁船を含みます。）
また、漁業に使用した漁船のうち、11月１日現在で持っている隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。
①
漁船を使用していない　301　○
漁船を使用した　301　○
↓
使用した漁船をすべてマーク　11月１日現在で持っている漁船（隻）
無動力漁船　302　○　：　：　：
船外機付漁船　303　○　：　：　：
動力漁船　304　○</td>
<td>Ⅲ　漁船
1　過去１年間②に漁業に使用した漁船
当てはまる番号をすべて○で囲んでください。（借りた漁船を含みます。）
①
漁船非使用　動力漁船　船外機付漁船　無動力漁船
301　①　①　①　①

2　無動力漁船と船外機付漁船の隻数
②漁業に使用した漁船のうち、11月１日現在で持っている隻数を記入してください。（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）
（隻）
302　無動力漁船　：　：
303　船外機付漁船　：　：</td>
<td>① 変更
「漁船非使用」の欄は、記入漏れが多く調査員が調査客体に確認の上、補正することが多いとの意見が前回調査時にあったことから、冒頭に漁船使用の有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に漁船の内容を回答することとして、記入漏れを防ぐための変更。

② 字句の修正
漁船種類ごとの使用の有無と漁船種類ごとの隻数を一体的な項目とし、漏れのない記入を促すための変更。</td>
</tr>
</table>

新	旧	変更理由
① ２　動力漁船②【動力漁船についてのみ１隻ごとに記入してください。】 	① ３　動力漁船 ②【動力漁船についてのみ記入】 	①　字句の修正 一体的な項目としたことに伴い番号を変更。 ②　字句の修正 動力漁船を１隻ごとに記入することから、設問の主旨を記入者に確実に伝えるため明示。 ③　追加 複数の漁業種類を組み合わせて行う場合には、漁業種類により操業のための装備が異なり、装備の変更のためのドック入りが必要となったり、また、資源管理措置などによる操業規制もあることから、動力漁船の漁業種類ごとの出漁日数も変化していくことが考えられ、出漁日数の１位から３位までの漁業種類を把握することで、出漁日数の面からも構造変化を捉えるため追加。 ④　追加 複数の漁業種類を組み合わせて行う場合には、漁業種類により操業のための装備が異なるといった面もあり、安定的な経営を行う上では、少ない投資で、より多くの収入を得る必要があるため、販売金額の１位に加え、２位、３位の漁業種類を把握することで、漁業経営体が漁船ごとにどのような操業形態を選択しているかを構造的に捉えるため追加。

新	旧	変更理由

新

Ⅳ　漁業経営について

１　営んだ漁業種類

（1）　過去１年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類について記入してください。

①

《網漁業》

全国漁業種類番号		営んだものすべてにマーク
底びき網 遠洋底びき網	101	0
底びき網 以西底びき網	102	0
底びき網 沖合底びき網 1そうびき	103	0
底びき網 沖合底びき網 2そうびき	104	0
底びき網 小型底びき網	105	0
船びき網	106	0
まき網 大中型まき網 1そうまき遠洋かつお・まぐろ	107	0
まき網 大中型まき網 1そうまき近海かつお・まぐろ	108	0
まき網 大中型まき網 1そうまきその他	109	0
まき網 大中型まき網 2そうまき	110	0
まき網 中・小型まき網	111	0
刺網 さけ・ます流し網	112	0
刺網 かじき等流し網	113	0
刺網 その他の刺網	114	0
さんま棒受網	115	0
大型定置網	116	0
さけ定置網	117	0
小型定置網	118	0
その他の網漁業	119	0

《はえ縄・釣り・その他漁業》

全国漁業種類番号		営んだものすべてにマーク
はえ縄 遠洋まぐろはえ縄	120	0
はえ縄 近海まぐろはえ縄	121	0
はえ縄 沿岸まぐろはえ縄	122	0
はえ縄 その他のはえ縄	123	0
釣 遠洋かつお一本釣	124	0
釣 近海かつお一本釣	125	0
釣 沿岸かつお一本釣	126	0
釣 遠洋いか釣	127	0
釣 近海いか釣	128	0
釣 沿岸いか釣	129	0
釣 ひき縄釣	130	0
釣 その他の釣	131	0
小型捕鯨	132	0
潜水器漁業	133	0
採貝・採藻	134	0
その他の漁業	135	0

《海面養殖（種苗養殖含む）》

全国漁業種類番号		営んだものすべてにマーク
魚類養殖 ぎんざけ養殖	136	0
魚類養殖 ぶり類養殖	137	0
魚類養殖 まだい養殖	138	0
魚類養殖 ひらめ養殖	139	0
魚類養殖 とらふぐ養殖	140	0
魚類養殖 くろまぐろ養殖	141	0
魚類養殖 その他の魚類養殖	142	0
ほたてがい養殖	143	0
かき類養殖	144	0
その他の貝類養殖	145	0
くるまえび養殖	146	0
ほや類養殖	147	0
その他の水産動物類養殖	148	0
こんぶ類養殖	149	0
わかめ類養殖	150	0
のり類養殖	151	0
その他の海藻類養殖	152	0
真珠養殖	153	0
真珠母貝養殖	154	0

②

③

（2）　過去１年間に自家漁業で行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に３つを（1）の全国漁業種類番号101～154から選んで記入してください。

②

	１位	２位	① ３位
	161	162	163
年間販売金額が多かった全国漁業種類番号	1 : :	1 : :	1 : :

旧

Ⅳ　漁業経営について

１　営んだ漁業種類

（1）　過去１年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類を〇で囲んでください。

①

【網漁業】

全国漁業種類番号		営んだものすべてに○印
101	底びき網 遠洋底びき網	①
102	底びき網 以西底びき網	①
103	底びき網 沖合底びき網 1そうびき	①
104	底びき網 沖合底びき網 2そうびき	①
105	底びき網 小型底びき網	①
106	船びき網	①
107	まき網 大中型まき網 1そうまき遠洋かつお・まぐろ	①
108	まき網 大中型まき網 1そうまき近海かつお・まぐろ	①
109	まき網 大中型まき網 1そうまきその他	①
110	まき網 大中型まき網 2そうまき	①
111	まき網 中・小型まき網	①
112	刺網 さけ・ます流し網	①
113	刺網 かじき等流し網	①
114	刺網 その他の刺網	①
115	さんま棒受網	①
116	大型定置網	①
117	さけ定置網	①
118	小型定置網	①
119	その他の網漁業	①

【はえ縄、釣、その他漁業】

全国漁業種類番号		営んだものすべてに○印
120	はえ縄 遠洋まぐろはえ縄	①
121	はえ縄 近海まぐろはえ縄	①
122	はえ縄 沿岸まぐろはえ縄	①
123	はえ縄 その他のはえ縄	①
124	釣 遠洋かつお一本釣	①
125	釣 近海かつお一本釣	①
126	釣 沿岸かつお一本釣	①
127	釣 遠洋いか釣	①
128	釣 近海いか釣	①
129	釣 沿岸いか釣	①
130	釣 ひき縄釣	①
131	釣 その他の釣	①
132	小型捕鯨	①
133	潜水器漁業	①
134	採貝・採藻	①
135	その他の漁業	①

【海面養殖(種苗養殖含む)】

全国漁業種類番号		営んだものすべてに○印
136	魚類養殖 ぎんざけ養殖	①
137	魚類養殖 ぶり類養殖	①
138	魚類養殖 まだい養殖	①
139	魚類養殖 ひらめ養殖	①
140	魚類養殖 まぐろ類養殖	①
141	魚類養殖 その他の魚類養殖	①
142	ほたてがい養殖	①
143	かき類養殖	①
144	その他の貝類養殖	①
145	くるまえび養殖	①
146	ほや類養殖	①
147	その他の水産動物類養殖	①
148	こんぶ類養殖	①
149	わかめ類養殖	①
150	のり類養殖	①
151	その他の海藻類養殖	①
152	真珠養殖	①
153	真珠母貝養殖	①

③

（2）　過去１年間に自家漁業で行ったすべての漁業種類のうち、販売金額が最も多かったものと、２番目に多かったものを、上記（1）の全国漁業種類番号101～153から選んで記入してください。

②

161	年間販売金額第１位の漁業種類	1 : :
162	年間販売金額第２位の漁業種類	1 : :

変更理由

① 字句の修正
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

② 追加
とらふぐ養殖については、一定の収獲量（H.27：4,012トン（参考　ひらめ：2,545トン）がある上、陸上施設での養殖も行われている。今般、漁業共済の対象に陸上養殖を追加する検討が行われていることから、「その他の魚類養殖」に含まれる「とらふぐ養殖」を分離し、とらふぐ養殖の生産構造の実態を把握するための追加。

③ 字句の修正
国内で養殖されている「まぐろ類」については「くろまぐろ」のみであることから、名称を変更。

① 追加
継続的に漁業経営を行っていくためには、限られた資源や漁場を効率的に利用するとともに、漁業経営体の経営を安定させるため、複数の漁業種類を組み合わせて営むなど、漁業経営にはこれまで以上の工夫が必要となっており、漁業経営において漁業種類をどのように組み合せ、漁業経営の安定化を図っているのか、また、その変化を将来的に捉えるための基準となる統計を整備をするため追加。

② 字句の修正
漁業種類数の変更に伴い番号を変更。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>(3)　過去１年間の漁獲物・収獲物について、魚種別の販売金額の多かった順に３つを下表の魚種番号01～36から選んで記入してください。

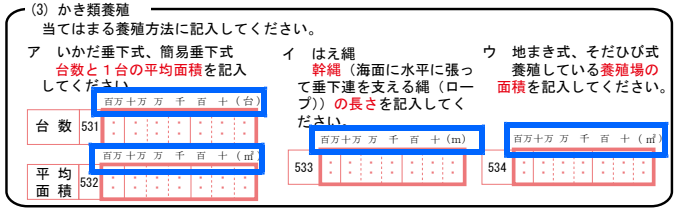
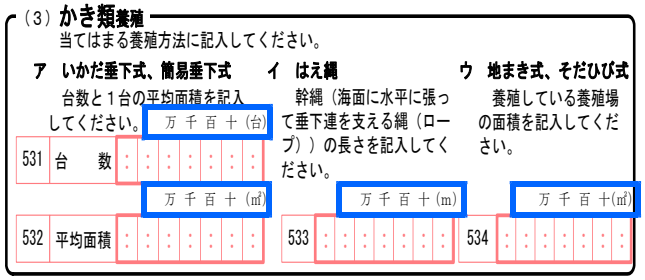
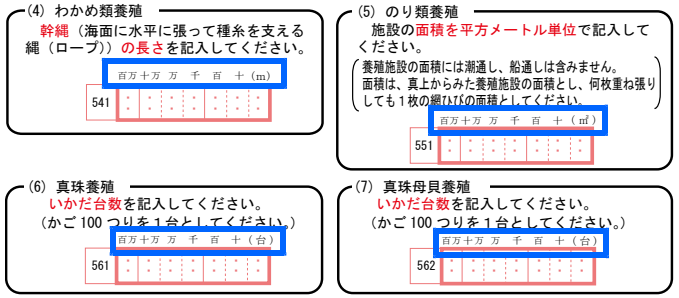
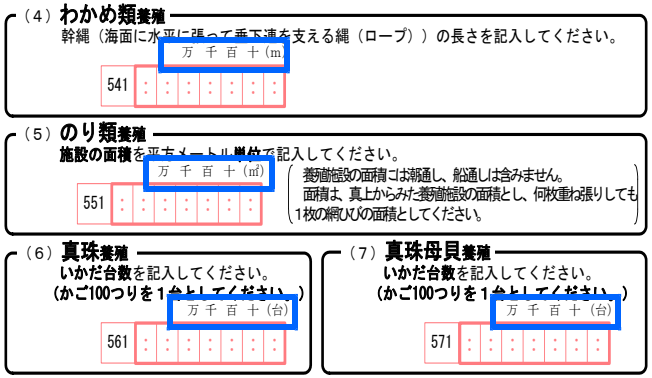
<table>
<tr><th></th><th>１位
171</th><th>２位
172</th><th>３位
173</th></tr>
<tr><td>年間販売金額が多かった魚種番号</td><td>：：</td><td>：：</td><td>：：</td></tr>
</table>
</td>
<td>（新設）</td>
<td>【追加】
資源管理の重要性がますます高まる中、これまで把握していなかった販売金額上位の魚種について１位から３位まで把握することにより、資源管理を進める上で、特定の資源がどのくらいの経営体の経営に影響を与えているのか、そのことによる構造変化にどの程度影響するかなど、魚種と漁業経営体の経営状況の関連を明らかにするための追加。</td>
</tr>
<tr>
<td>２　地方選定漁業種類について
過去１年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、そのすべての漁業種類について記入してください。

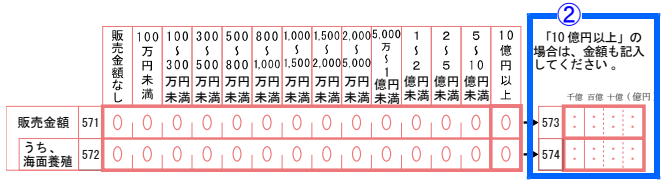
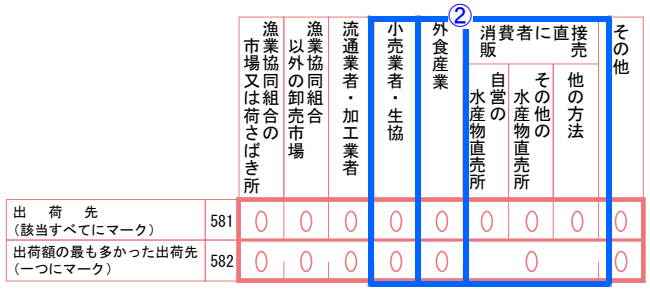
<table>
<tr><th colspan="3">地方選定漁業種類</th><th>該当にマーク</th></tr>
<tr><th>種類名</th><th></th><th>番号</th><th></th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th colspan="3">地方選定漁業種類</th><th>該当にマーク</th></tr>
<tr><th>種類名</th><th></th><th>番号</th><th></th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th colspan="3">地方選定漁業種類</th><th>該当にマーク</th></tr>
<tr><th>種類名</th><th></th><th>番号</th><th></th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td>
<td>２　地方選定漁業種類について
過去１年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、自家漁業で行ったすべての漁業種類を〇で囲んでください。

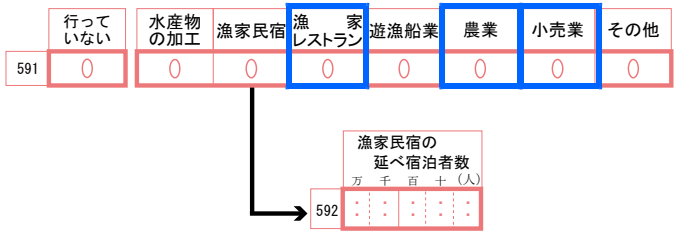
<table>
<tr><th colspan="4">地方選定漁業種類</th><th>○印欄</th></tr>
<tr><th colspan="3">番号</th><th>種類名</th><th></th></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th colspan="4">地方選定漁業種類</th><th>○印欄</th></tr>
<tr><th colspan="3">番号</th><th>種類名</th><th></th></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td>：：：</td><td></td><td>①</td></tr>
</table>
</td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

（具体的な地方選定漁業種類については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）</td>
</tr>
</table>

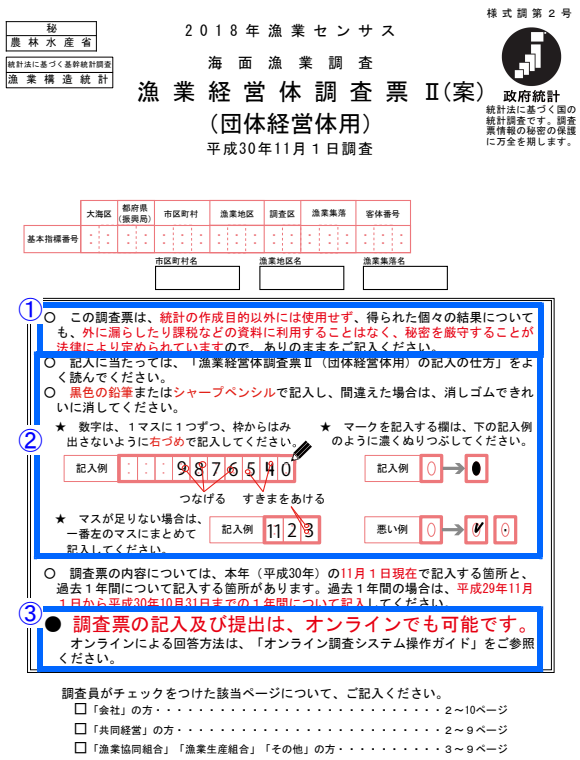
新	旧	変更理由
3　海面養殖業 11月１日現在の養殖の状況について記入してください。 (1) 魚類養殖 養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。 借りている施設の面積も含めます。 ③ 養殖場の施設面積　うち、使用している面積 百万十万 万 千 百 十（㎡）百万十万 万 千 百 十（㎡） 魚類養殖の合計 511 うち、ぶり類 512 うち、まだい 513 うち、ひらめ 514 うち、陸上水槽 515 ① うち、とらふぐ 516 うち、陸上水槽 517 ② うち、くろまぐろ 518	3　海面養殖業 11月１日現在の養殖の状況について記入してください。 （1）魚類養殖 養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。 （m²） 借りている施設の面積も含めます。 ① 養殖場の施設面積　② うち、使用している面積 511 魚類養殖の合計 512 うち、ぶり類 513 うち、まだい 514 うち、ひらめ 515 うち、陸上水槽 516 ② うち、まぐろ類	① 追加 とらふぐ養殖については、一定の収獲量（H.27：4,012トン（参考　ひらめ：2,545トン）がある上、陸上施設での養殖も行われている。今般、漁業共済の対象に陸上養殖を追加する検討が進みつつあることから、営んだ漁業種類と同様に「その他の魚類養殖」に含まれる「とらふぐ養殖」を分離し、とらふぐ養殖の生産構造の実態を把握。 ② 字句の修正 国内で養殖されている「まぐろ類」については「くろまぐろ」のみであることから、名称を変更。 ③ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
(2) ほたてがい養殖 当てはまる養殖方法に記入してください。 ア　いかだ垂下式、簡易垂下式 台数と１台の平均面積を記入してください。 万 千 百 十（台） 台　数 521 万 千 百 十（㎡） 平均面積 522 イ　はえ縄 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 百万 十万 万 千 百 十（m） 523	（2）ほたてがい養殖 当てはまる養殖方法に記入してください。 ア　いかだ垂下式、簡易垂下式 台数と１台の平均面積を記入してください。百 十（台） 521 台　数 百 十（㎡） 522 平均面積 イ　はえ縄 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。 万 千 百 十（m） 523	【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

新	旧	変更理由
		【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
		【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

新	旧	変更理由
4　過去１年間の漁獲物・収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。 ①  	4　過去１年間の漁獲物・収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。 ① 	① 字句の修正 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ② 追加 平均金額に関する統計の作成・提供を施策部局だけでなく、一般のユーザーからも求められているものの、記入者における実金額記入に対する忌避感から記入拒否が増え、調査員等における照会作業の負担が増加するものと考えられることから、これまでどおり金額階層を選択する項目設定とするが、販売金額が最上位階層の場合は実額を把握する。 なお、2013年漁業センサスの結果では、全経営体に占める販売金額10億円以上の経営体の割合は、0.1%となっている。
5　過去１年間のすべての漁獲物・収獲物の出荷先に記入してください。 ① また、出荷額の最も多かった出荷先一つに記入してください。  	5　過去１年間のすべての漁獲物・収獲物の出荷先を○で囲んでください。 ① そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つを○で囲んでください。 	① 字句の修正 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ② 変更 漁業経営体による直接販売の状況をより詳細に把握するとともに、標本調査で実施している６次産業化総合調査の母集団情報として活用するため。 （６次産業化総合調査においては海面漁業経営体が営む直売所と漁協等が運営する直売所では扱いが違い、現行の項目ではその区分ができない。）

新	旧	変更理由
Ⅴ　漁業以外の事業について 　過去１年間に行った漁業以外の事業について、当てはまるものすべてに記入してください。また、漁家民宿の過去１年間の延べ宿泊者数を記入してください。  	（新設）	【追加】 　継続的な漁業経営には、限られた資源や漁場を効率的に利用するとともに、漁業経営体の経営を安定させる必要があり、６次産業化も含めた多角経営の実態をより詳細に把握するため、漁家レストラン、農業、小売業を新規項目として追加。 　なお、「漁家レストラン」は、当省で別途実施している、６次産業化総合調査の母集団として提供する。
（削除）	内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。 記 入 者： 電話番号：	【削除】 　客体名簿で管理することとするため。

Ⅱ　海面漁業調査　漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）

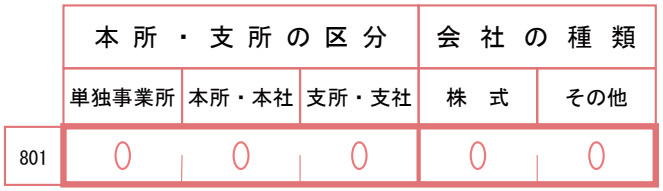
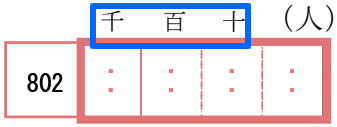
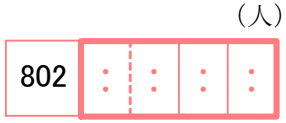
<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td> 
</td>
<td>
</td>
<td>① 字句の修正
利用目的を、記入者により伝わりやすくするための変更。

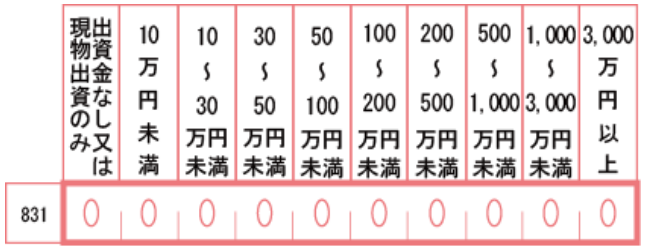
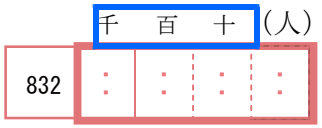
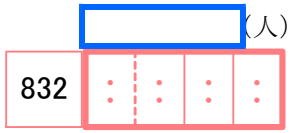
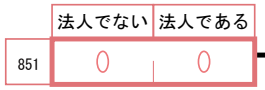
② 変更
ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。
なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。

③ 追加
オンライン調査を導入するため。

④ 削除
別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。

⑤ 削除
客体名簿で管理することとするため。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>会－Ⅰ　事業所の概要
１　本所・支所の区分と会社の種類
それぞれ当てはまるもの一つに記入してください。
 
</td>
<td>会－Ⅰ　事業所の概要
１　本所・支所の区分と会社の種類
それぞれ当てはまる番号を一つ○で囲んでください。
</td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>２　11月１日現在の従業者数
漁業と漁業以外も含めたすべての従業者数を記入してください。
 
</td>
<td>２　11月１日現在の従業者数
漁業と漁業以外も含めたすべての従業者数を記入してください。
 
</td>
<td>【字句の修正】
桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。</td>
</tr>
</table>

新	旧	変更理由
共－Ⅰ　共同経営について １　出資金 現物出資を除く出資金について、当てはまるもの一つに記入してください。  	共－Ⅰ　共同経営について １　出資金 現物出資を除く出資金について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。 	【字句の修正】 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。
２　出資者の人数 出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。  	２　出資者の人数 出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。  	【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
１　法人化していますか。当てはまるもの一つに記入してください。  ２　法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。 	（新設）	【追加】 事業所母集団ＤＢに登録することで、将来的に、他の統計調査結果とのリンケージによる統計の作成等が可能となるよう備えるため、法人番号を把握。

新	旧	変更理由
Ⅰ　漁業の従事者 １　漁業に従事した責任のある者 過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業に従事した人のうち、海上作業や陸上作業に責任のある者（役員（支配人や代理を委任された者を含む。）に限る。）について記入してください。 	Ⅰ　漁業の従事者 （新設）	【追加】 団体経営体における、経営主をはじめとする、責任ある者（役員（支配人や代理を委任された者を含む）に限る）について、男女別、年齢、海上作業従事日数等、個人経営体における世帯員の中で漁業を行った者と同様の情報を把握し、漁業を支える経営側の者についての統計を充実させる。

新	旧	変更理由
2　海上作業に雇った人（３ページの「１漁業に従事した責任のある者」に記入した者を除く。） (1)　11月１日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、項目ごとにその人数を記入してください。① ③ 海上作業に雇った人がいない　201　0 海上作業に雇った人がいる　0 日本人 ①　うち、過去１年以内に漁業を始めた人 ②　外国人 ③ 211　千 百 十（人）　千 百 十（人）　千 百 十（人）	1　海上作業の従事者数 (1)　11月１日現在の海上作業の従事者数を記入してください。① ② （人） ① 計 (②+⑦)　② 日本人 (③+④+⑤)　③ 居住地 同一市町村　④ その他の県内　⑤ 県外　⑥ うち、過去1年以内に漁業を始めた人(新規就業者)　⑦ 外国人 201	① 変更 上記の設問を新設することに伴い、従事者から雇用者のみの把握とするため。 ② 削除 本項目は、2008年漁業センサスにおいて、それまで漁業センサスの１つの調査として実施していた「漁業従事者世帯調査」を通じ把握していた雇われ海上作業従事者に関するデータの連続性を可能な限り担保する目的で設定したものであるが、今回センサスにおいては、記入負担の軽減のため削除。 ③ 追加 11月１日現在の海上作業の雇用者の調査項目については、該当がある場合のみ記入となるが、記入漏れや世帯員を誤って記入した場合に審査を行うすべがないことから、冒頭に有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に人数を回答することとして、記入漏れを防ぐための追加。
(2)　(1)の日本人のうち、役職（漁ろう長、船長、機関長、養殖場長）の者（雇用に限る。）について記入してください。 役職（漁ろう長 ①、船長 ②、機関長 ③、養殖場長 ④）　性別（男 ⑤、女）　出生の年月（該当する元号と年月を記入 ⑥）　漁業従事日数（陸上作業を含みます。）⑦　うち、海上作業日数 ⑧　海上作業日数が多かった漁業種類 1位 ⑨、2位 ⑩、3位 ⑪　陸上作業に従事 ⑫ 該当するすべてにマーク　いずれかにマーク　大正 昭和 平成 年 月　（日）　（日）　全国漁業種類番号を記入　該当にマーク 651　652　653　654　655	（新設）	【追加】 上記の団体経営体における、経営主をはじめとする、責任ある者（役員（支配人や代理を委任された者を含む）に限る）以外の雇用者においても、漁業経営を営む上で不可欠な役職を担う者がいることから、それらの者についても、性別、年齢、海上作業従事日数等、個人経営体における世帯員の中で漁業を行った者と同様の情報を把握し、漁業を支える者についての統計を充実させる。

新

①　　④

(3)　(1)の日本人のうち、(2)の役職以外の者について、過去１年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。

（人）

		男			女		
計	221						
15～19歳	222						
20～24歳	223						
25～29歳	224						
30～34歳	225						
35～39歳	226						
40～44歳	227						
45～49歳	228						
50～54歳	229						
55～59歳	230						
60～64歳	231						
65～69歳	232						
70～74歳	233						
75歳以上	234						

旧

①　　②

(2)　②の日本人のうち、過去１年間（平成24年11月１日～平成25年10月31日）に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。

（人）

		海上作業を行った人数						③うち、居住地が同一市町村					
		男			女			男			女		
211	計												
212	15～19歳												
213	20～24歳												
214	25～29歳												
215	30～34歳												
216	35～39歳												
217	40～44歳												
218	45～49歳												
219	50～54歳												
220	55～59歳												
221	60～64歳												
222	65～69歳												
223	70～74歳												
224	75歳以上												

変更理由

① 変更
上記設問の追加に伴い番号を変更。

② 削除
過去１年間の期間については、上記で追加する項目において明記するため。

③ 削除
本項目は、2008年漁業センサスにおいて、それまで漁業センサスの１つの調査として実施していた「漁業従事者世帯調査」を通じ把握していた雇われ海上作業従事者に関するデータの連続性を可能な限り担保する目的で設定したものであるが、今回センサスにおいては、記入負担の軽減のため削除。

④ 変更
(2)の設問の追加に伴い、雇った人のうち役職者を除いた人数を把握するため。

新	旧	変更理由
① 3　陸上作業に雇った人数 ② 過去１年間の漁業の陸上作業について、最盛期に雇った人数を記入してください。 ③ 千　百　十（人） 計 241 男 242 女 243	① 2　陸上作業の従事者数 ② 過去１年間の漁業の陸上作業について、最盛期の従事者数を記入してください。 （人） 231 計 232 男 233 女	① 字句の修正 上記設問の追加に伴い番号を変更。 ② 変更 責任ある者の設問を新設することに伴い、従事者から雇用者のみの把握とするため、設問の主旨を記入者に確実に伝えるための変更。 ③ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
Ⅱ　漁船 １　② 過去１年間に漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。（借りた漁船を含みます。） また、漁業に使用した漁船のうち、11月１日現在で保有している隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。 ① 漁船を使用していない 301 ○ 漁船を使用した 301 ○ 使用した漁船をすべてマーク　11月1日現在で保有している漁船（隻） 無動力漁船 302 ○ 船外機付漁船 303 ○ 動力漁船 304 ○	Ⅱ　漁船 １　② 過去１年間に漁業に使用した漁船 当てはまる番号をすべて○で囲んでください。（借りた漁船を含みます。） ① 漁船非使用 / 動力漁船 / 船外機付漁船 / 無動力漁船 301 ① ① ① ① ２　無動力漁船と船外機付漁船の隻数 ② 漁業に使用した漁船のうち、11月１日現在で保有している隻数を記入してください。（借りている漁船は含み、貸している漁船は含みません。） （隻） 302 無動力漁船 303 船外機付漁船	① 追加 「漁船非使用」の欄は、記入漏れが多く調査員が調査客体に確認の上、補正することが多いとの意見が前回調査時にあったことから、冒頭に漁船使用の有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に漁船の内容を回答することとして、記入漏れを防ぐための追加。 ② 変更 また、漁船種類ごとの使用の有無と漁船種類ごとの隻数を一体的な項目とし、漏れのない記入を促すための変更。（把握内容は変更なし。）

新

①　②
2　動力漁船【動力漁船についてのみ１隻ごとに記入してください。】

旧

①
3　動力漁船
②【動力漁船についてのみ記入】

変更理由

① 字句の修正
一体的な項目としたことに伴い番号を変更。

② 字句の修正
動力漁船を１隻ごとに記入することから、設問の主旨を記入者に確実に伝えるため明示。

③ 追加
複数の漁業種類を組み合わせて行う場合には、漁業種類により操業のための装備が異なり、装備の変更のためのドック入りが必要となったり、また、資源管理措置などによる操業規制もあることから、動力漁船の漁業種類ごとの出漁日数も変化していくことが考えられ、出漁日数の１位から３位までの漁業種類を把握することで、出漁日数の面からも構造変化を捉えるため追加。

④ 追加
複数の漁業種類を組み合わせて行う場合には、漁業種類により操業のための装備が異なるといった面もあり、安定的な経営を行う上では、少ない投資で、より多くの収入を得る必要があるため、販売金額の１位に加え、２位、３位の漁業種類を把握することで、漁業経営体が漁船ごとにどのような操業形態を選択しているかを構造的に捉えるため追加。

新

Ⅲ　漁業経営について

１　営んだ漁業種類

（1）　過去１年間に行った、すべての漁業種類について記入してください。 ①

《網漁業》

全国漁業種類番号			営んだものすべてにマーク
底びき網	遠洋底びき網	101	○
	以西底びき網	102	○
	沖合底びき網 1そうびき	103	○
	沖合底びき網 2そうびき	104	○
	小型底びき網	105	○
船びき網		106	○
まき網	大中型まき網 1そうまき遠洋かつお・まぐろ	107	○
	大中型まき網 1そうまき近海かつお・まぐろ	108	○
	大中型まき網 1そうまきその他	109	○
	2そうまき	110	○
	中・小型まき網	111	○
刺網	さけ・ます流し網	112	○
	かじき等流し網	113	○
	その他の刺網	114	○
さんま棒受網		115	○
大型定置網		116	○
さけ定置網		117	○
小型定置網		118	○
その他の網漁業		119	○

《はえ縄・釣り・その他漁業》

全国漁業種類番号			営んだものすべてにマーク
はえ縄	遠洋まぐろはえ縄	120	○
	近海まぐろはえ縄	121	○
	沿岸まぐろはえ縄	122	○
	その他のはえ縄	123	○
釣	遠洋かつお一本釣	124	○
	近海かつお一本釣	125	○
	沿岸かつお一本釣	126	○
	遠洋いか釣	127	○
	近海いか釣	128	○
	沿岸いか釣	129	○
	ひき縄釣	130	○
	その他の釣	131	○
小型捕鯨		132	○
潜水器漁業		133	○
採貝・採藻		134	○
その他の漁業		135	○

《海面養殖（種苗養殖含む）》

全国漁業種類番号			営んだものすべてにマーク
魚類養殖	ぎんざけ養殖	136	○
	ぶり類養殖	137	○
	まだい養殖	138	○
	ひらめ養殖	139	○
	とらふぐ養殖	140	○ ②
	くろまぐろ養殖	141	○ ③
	その他の魚類養殖	142	○
ほたてがい養殖		143	○
かき類養殖		144	○
その他の貝類養殖		145	○
くるまえび養殖		146	○
ほや類養殖		147	○
その他の水産動物類養殖		148	○
こんぶ類養殖		149	○
わかめ類養殖		150	○
のり類養殖		151	○
その他の海藻類養殖		152	○
真珠養殖		153	○
真珠母貝養殖		154	○

（2）　過去１年間に行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に３つを(1)の全国漁業種類番号101～154から選んで記入してください。 ②

	１位	２位	３位 ①
	161	162	163
年間販売金額が多かった全国漁業種類番号	1 ： ：	1 ： ：	1 ： ：

旧

Ⅲ　漁業経営について

１　営んだ漁業種類

（1）　過去１年間に行った、すべての漁業種類を○で囲んでください。 ①

【網漁業】

全国漁業種類番号			営んだものすべてに○印
101	底びき網	遠洋底びき網	○
102		以西底びき網	○
103		沖合底びき網 1そうびき	○
104		沖合底びき網 2そうびき	○
105		小型底びき網	○
106	船びき網		○
107	まき網	大中型まき網 1そうまき遠洋かつお・まぐろ	○
108		大中型まき網 1そうまき近海かつお・まぐろ	○
109		大中型まき網 1そうまきその他	○
110		2そうまき	○
111		中・小型まき網	○
112	刺網	さけ・ます流し網	○
113		かじき等流し網	○
114		その他の刺網	○
115	さんま棒受網		○
116	大型定置網		○
117	さけ定置網		○
118	小型定置網		○
119	その他の網漁業		○

【はえ縄、釣、その他漁業】

全国漁業種類番号			営んだものすべてに○印
120	はえ縄	遠洋まぐろはえ縄	○
121		近海まぐろはえ縄	○
122		沿岸まぐろはえ縄	○
123		その他のはえ縄	○
124	釣	遠洋かつお一本釣	○
125		近海かつお一本釣	○
126		沿岸かつお一本釣	○
127		遠洋いか釣	○
128		近海いか釣	○
129		沿岸いか釣	○
130		ひき縄釣	○
131		その他の釣	○
132	小型捕鯨		○
133	潜水器漁業		○
134	採貝・採藻		○
135	その他の漁業		○

【海面養殖（種苗養殖含む）】

全国漁業種類番号			営んだものすべてに○印
136	魚類養殖	ぎんざけ養殖	○
137		ぶり類養殖	○
138		まだい養殖	○
139		ひらめ養殖	○
140		まぐろ類養殖 ③	○
141		その他の魚類養殖	○
142	ほたてがい養殖		○
143	かき類養殖		○
144	その他の貝類養殖		○
145	くるまえび養殖		○
146	ほや類養殖		○
147	その他の水産動物類養殖		○
148	こんぶ類養殖		○
149	わかめ類養殖		○
150	のり類養殖		○
151	その他の海藻類養殖		○
152	真珠養殖		○
153	真珠母貝養殖		○

（2）　過去１年間に行ったすべての漁業種類のうち、販売金額が最も多かったものと、２番目に多かったものを、上記(1)の全国漁業種類番号101～153から選んで記入してください。 ②

161	年間販売金額第１位の漁業種類	1 ： ：
162	年間販売金額第２位の漁業種類	1 ： ：

変更理由

① 字句の修正
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

② 追加
とらふぐ養殖については、一定の収獲量（H.27：4,012トン（参考　ひらめ：2,545トン）がある上、陸上施設での養殖も行われている。今般、漁業共済の対象に陸上養殖を追加する検討が行われていることから、「その他の魚類養殖」に含まれる「とらふぐ養殖」を分離し、とらふぐ養殖の生産構造の実態を把握するため追加。

③ 字句の修正
国内で養殖されている「まぐろ類」については「くろまぐろ」のみであることから、名称を変更。

① 追加
継続的に漁業経営を行っていくためには、限られた資源や漁場を効率的に利用するとともに、漁業経営体の経営を安定させるため、複数の漁業種類を組み合わせて営むなど、漁業経営にはこれまで以上の工夫が必要となっており、漁業経営において漁業種類をどのように組み合せ、漁業経営の安定化を図っているのか、また、その変化を将来的に捉えるための基準となる統計を整備をするため追加。

② 字句の修正
漁業種類数の変更に伴い番号を変更する。

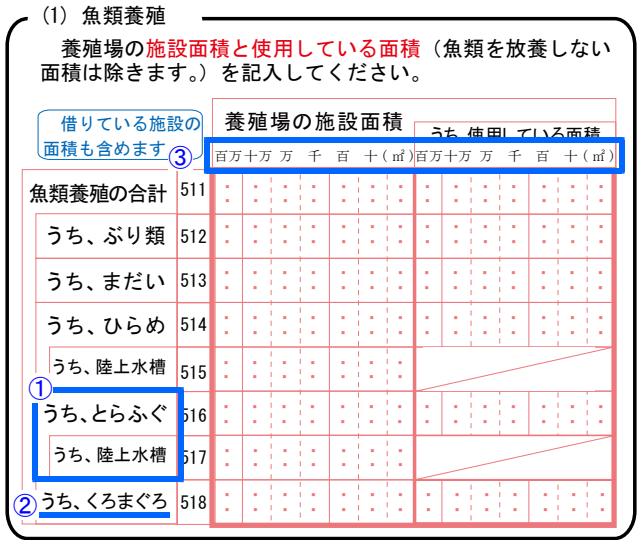
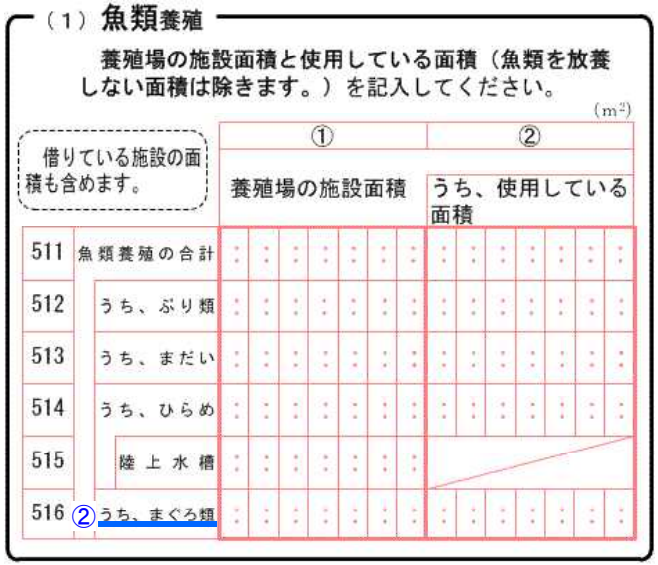
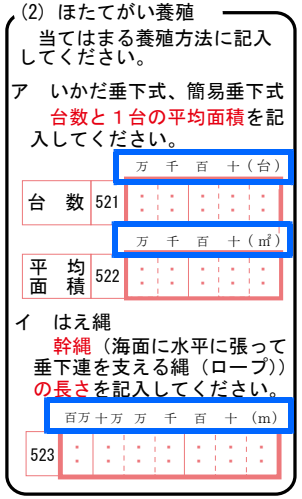
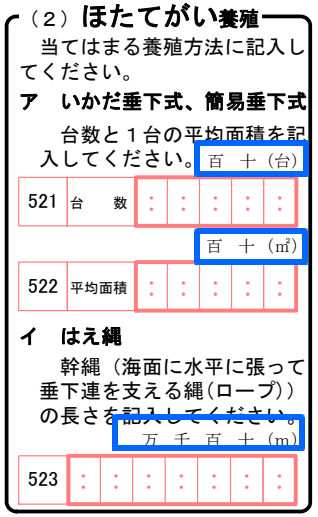
<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>(3)　過去１年間の漁獲物・収獲物について、魚種別の販売金額の多かった順に３つを下表の魚種番号01～36から選んで記入してください。

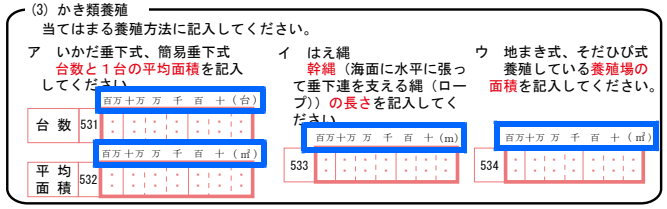
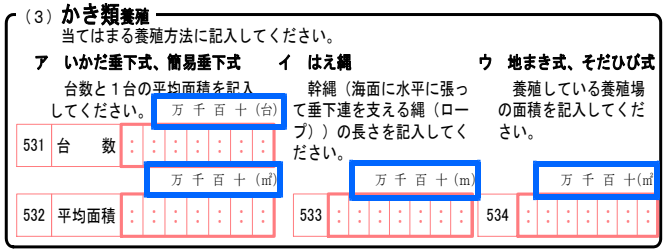
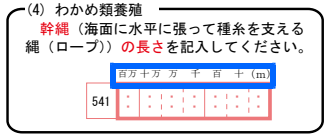
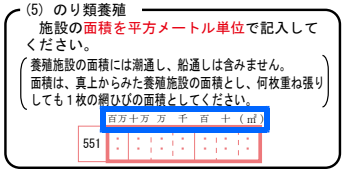
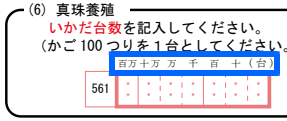
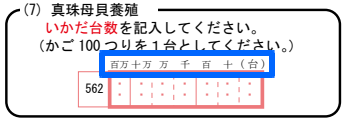
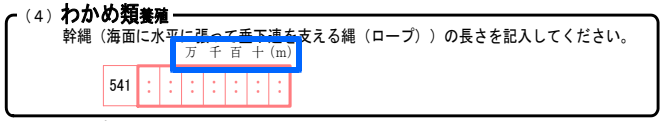
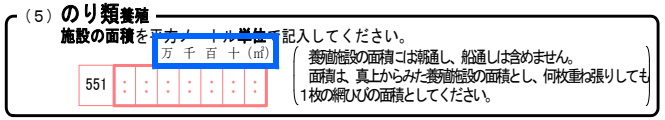
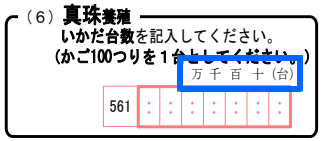
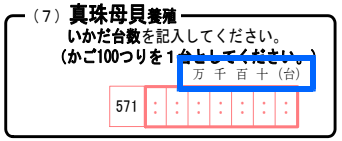
<table>
<tr><th></th><th>１位
171</th><th>２位
172</th><th>３位
173</th></tr>
<tr><td>年間販売金額が多かった魚種番号</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>（新設）</td>
<td>【追加】
資源管理の重要性がますます高まる中、これまで把握していなかった販売金額上位の魚種について１位から３位まで把握することにより、資源管理を進める上で、特定の資源がどのくらいの経営体の経営に影響を与えているのか、そのことによる構造変化にどの程度影響するかなど、魚種と漁業経営体の経営状況の関連を明らかにするための追加。</td>
</tr>
<tr>
<td>２　地方選定漁業種類について
過去１年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、そのすべての漁業種類について記入してください。

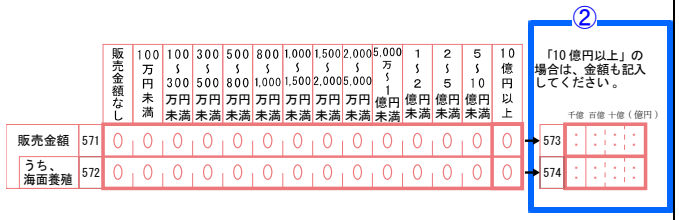
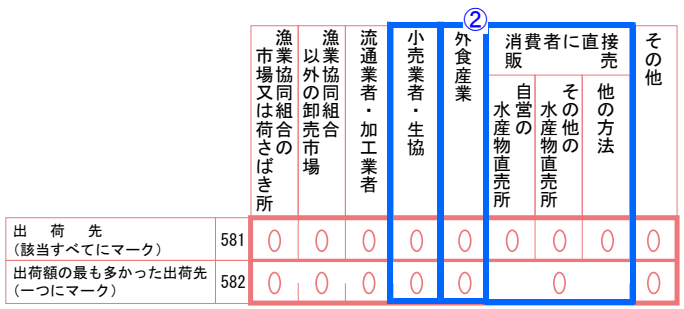
<table>
<tr><th colspan="2">地方選定漁業種類</th><th>該当にマーク</th><th colspan="2">地方選定漁業種類</th><th>該当にマーク</th><th colspan="2">地方選定漁業種類</th><th>該当にマーク</th></tr>
<tr><th>種類名</th><th>番号</th><th></th><th>種類名</th><th>番号</th><th></th><th>種類名</th><th>番号</th><th></th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>
</td>
<td>２　地方選定漁業種類について
過去１年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行ったすべての漁業種類を○で囲んでください。

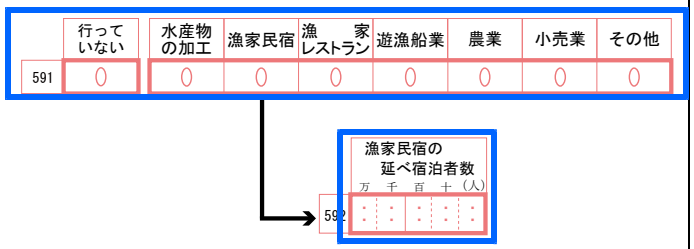
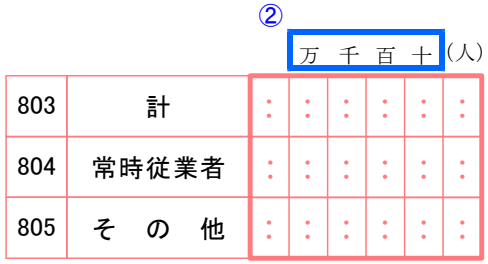
<table>
<tr><th colspan="4">地方選定漁業種類</th><th>○印欄</th><th colspan="4">地方選定漁業種類</th><th>○印欄</th></tr>
<tr><th colspan="3">番号</th><th>種類名</th><th></th><th colspan="3">番号</th><th>種類名</th><th></th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr>
</table>
</td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるため変更。

（具体的な地方選定漁業種類については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）</td>
</tr>
</table>

新	旧	変更理由
3　海面養殖業 11月１日現在の養殖の状況について記入してください。  (1) 魚類養殖 養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。 借りている施設の面積も含めます 養殖場の施設面積 うち、使用している面積 ③ 百万 十万 万 千 百 十（㎡） 百万 十万 万 千 百 十（㎡） 魚類養殖の合計 511 うち、ぶり類 512 うち、まだい 513 うち、ひらめ 514 うち、陸上水槽 515 ① うち、とらふぐ 516 うち、陸上水槽 517 ②うち、くろまぐろ 518	3　海面養殖業 11月１日現在の養殖の状況について記入してください。  （1）魚類養殖 養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。 (m²) 借りている施設の面積も含めます。 ① 養殖場の施設面積 ② うち、使用している面積 511 魚類養殖の合計 512 うち、ぶり類 513 うち、まだい 514 うち、ひらめ 515 陸上水槽 516 ②うち、まぐろ類	① 追加 とらふぐ養殖については、一定の収獲量（H.27：4,012トン（参考　ひらめ：2,545トン）がある上、陸上施設での養殖も行われている。今般、漁業共済の対象に陸上養殖を追加する検討が進みつつあることから、営んだ漁業種類と同様に「その他の魚類養殖」に含まれる「とらふぐ養殖」を分離し、とらふぐ養殖の生産構造の実態を把握。 ② 字句の修正 国内で養殖されている「まぐろ類」については「くろまぐろ」のみであることから、名称を変更。 ③ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
 (2) ほたてがい養殖 当てはまる養殖方法に記入してください。 ア　いかだ垂下式、簡易垂下式 台数と１台の平均面積を記入してください。 万 千 百 十（台） 台　数 521 万 千 百 十（㎡） 平　均 面　積 522 イ　はえ縄 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 百万 十万 万 千 百 十（m） 523	 （2）ほたてがい養殖 当てはまる養殖方法に記入してください。 ア　いかだ垂下式、簡易垂下式 台数と１台の平均面積を記入してください。 百 十（台） 521 台　数 百 十（㎡） 522 平均面積 イ　はえ縄 幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。 万 千 百 十（m） 523	【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

新	旧	変更理由
		【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
   	   	【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

新	旧	変更理由
4　過去１年間の漁獲物・収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。 ①  	4　過去１年間の漁獲物・収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。 ① 	① 字句の修正 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ② 追加 平均金額に関する統計の作成・提供を施策部局だけでなく、一般のユーザーからも求められているものの、記入者における実金額記入に対する忌避感から記入拒否が増え、調査員等における照会作業の負担が増加するものと考えられることから、これまでどおり金額階層を選択する項目設定とするが、販売金額が最上位階層の場合は実額を把握する。 なお、2013年漁業センサスの結果では、全経営体に占める販売金額10億円以上の経営体の割合は、0.1%となっている。
5　過去１年間のすべての漁獲物・収獲物の出荷先に記入してください。 また、出荷額の最も多かった出荷先一つに記入してください。 ①  	5　過去１年間のすべての漁獲物・収獲物の出荷先を○で囲んでください。 そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つを○で囲んでください。 ① 	① 字句の修正 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ② 変更 漁業経営体による直接販売の状況をより詳細に把握するとともに、標本調査で実施している６次産業化総合調査の母集団情報として活用するため。 （６次産業化総合調査においては海面漁業経営体が営む直売所と漁協等が運営する直売所では扱いが違い、現行の項目ではその区分ができない。）

新	旧	変更理由
Ⅳ　漁業以外の事業について 　過去１年間に行った漁業以外の事業について、当てはまるものすべてに記入してください。 　また、漁家民宿の過去１年間の延べ宿泊者数を記入してください。  	（新設）	【追加】 　団体経営体においても、個人経営体同様、水産加工業を始めとする漁業以外から収益をあげるなど、経営の多角化を図りながら企業体を維持しているものと思われることから、その実態を把握するための追加。 　また、「漁家民宿」については、法人化（会社化）している実質家族経営の経営体が営むものもあることから、その利用者数について把握する。
会－Ⅱ　支所・支社も含めた会社全体について １　支所・支社も含めた会社全体の従業者数 ①支所・支社も含めた会社全体の従業者数を記入してください。 	会－Ⅱ　支所・支社も含めた会社全体について １　支所・支社も含めた会社全体の従業者数  	①　字句の修正 　記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。 ②　字句の修正 　桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。 ③　追加 　従業者の把握については、経営者、雇用者を通じ、「常時従業者」と「その他」に区分して把握してきたが、「統計調査における労働者の区分等に関するガイドライン」の趣旨に準じ、「常時従業者」のうち数として「雇用者」を把握することとし、その定義を本ガイドラインにおける「常用労働者」と同義とすることで、他の統計との比較の可能性向上を図る。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>２　資本金
当てはまるもの一つに記入してください。
（株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまるもの一つに記入してください。）
<table><tr><td></td><td>100万円未満</td><td>100～200万円未満</td><td>200～500万円未満</td><td>500～1,000万円未満</td><td>1,000～3,000万円未満</td><td>3,000～5,000万円未満</td><td>5,000万～1億円未満</td><td>1～10億円未満</td><td>10億円以上</td></tr><tr><td>807</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td>
<td>２　資本金
当てはまる番号を一つ○で囲んでください。（株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまる番号を○で囲んでください。）
<table><tr><td></td><td>100万円未満</td><td>100～200万円未満</td><td>200～500万円未満</td><td>500～1,000万円未満</td><td>1,000～3,000万円未満</td><td>3,000～5,000万円未満</td><td>5,000万～1億円未満</td><td>1～10億円未満</td><td>10億円以上</td></tr><tr><td>806</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td></tr></table></td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>３　漁業の専業・兼業
（1）　過去１年間に行った事業が漁業のみの場合は「専業」、他の事業も行った場合は「兼業」に記入してください。
<table><tr><td></td><td>兼業</td><td>専業</td></tr><tr><td>808</td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td>
<td>３　漁業の専業・兼業
（1）　過去１年間に行った事業が漁業のみの場合は「２」、他の事業も行った場合は「１」を○で囲んでください。
<table><tr><td></td><td>兼業</td><td>専業</td></tr><tr><td>807</td><td>①</td><td>②</td></tr></table></td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>（2）　過去１年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまるもの一つに記入してください。①
<table><tr><td></td><td>25%未満</td><td>②
25～50%未満</td><td>50～75%未満</td><td>75%以上</td></tr><tr><td>809</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td>
<td>（2）　過去１年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。①
<table><tr><td></td><td>25%未満</td><td>②
25～</td><td>50～</td><td>75%以上</td></tr><tr><td>808</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr></table></td>
<td>① 字句の修正
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

② 字句の修正
他の項目同様、数値の範囲を明示し、記入者の紛れのない記入を促すための変更。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>(3)　過去１年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。
　そのうち、販売金額が最も多かったものの一つに記入してください。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th></th><th>事業所の数</th><th>販売金額が最も多かったもの一つにマーク</th></tr>
<tr><td rowspan="2">製造業</td><td>水産加工業</td><td>811</td><td>：　：</td><td>()</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>812</td><td>：　：</td><td>()</td></tr>
<tr><td colspan="2">卸売･小売業､飲食業</td><td>813</td><td>：　：</td><td>()</td></tr>
<tr><td colspan="2">サ　ー　ビ　ス　業</td><td>814</td><td>：　：</td><td>()</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>冷蔵倉庫業</td><td>815</td><td>：　：</td><td>()</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>816</td><td>：　：</td><td>()</td></tr>
</table>
</td>
<td>(3)　過去１年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。
　そのうち、販売金額が最も多かったものの一つを〇で囲んでください。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th></th><th>事業所の数</th><th>販売金額が最も多かったもの一つに〇印</th></tr>
<tr><td rowspan="2">811</td><td rowspan="2">製造業</td><td>水産加工業</td><td>：　：</td><td>①</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>：　：</td><td>②</td></tr>
<tr><td>813</td><td colspan="2">卸売・小売業、飲食業</td><td>：　：</td><td>③</td></tr>
<tr><td>814</td><td colspan="2">サ　ー　ビ　ス　業</td><td>：　：</td><td>④</td></tr>
<tr><td>815</td><td rowspan="2">その他</td><td>冷蔵倉庫業</td><td>：　：</td><td>⑤</td></tr>
<tr><td>816</td><td>その他</td><td>：　：</td><td>⑥</td></tr>
</table>
</td>
<td>【字句の修正】
　記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>(4)　自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。（寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数）

<table>
<tr><th></th><th>(工場)</th></tr>
<tr><td>817</td><td>：　：</td></tr>
</table>
</td>
<td>(4)　自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。（寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数）

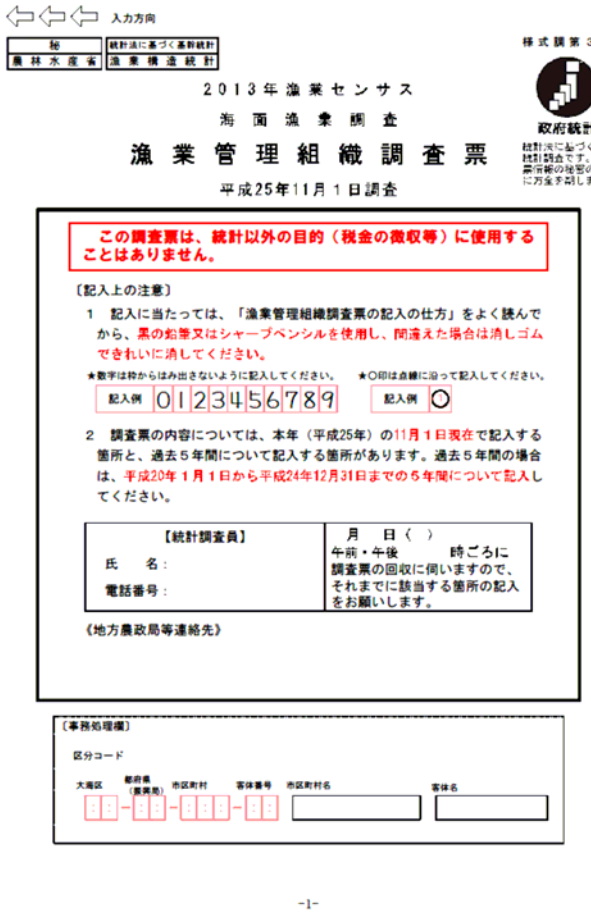
<table>
<tr><td>817</td><td>：　：</td></tr>
</table>
</td>
<td>【字句の修正】
　単位を明示し、記入者の紛れのない記入を促すための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>４　事業別の子会社数
事業別に子会社数を記入してください。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th></th><th>(会社)</th></tr>
<tr><td colspan="2">漁　　業</td><td>821</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td rowspan="2">製造業</td><td>水産加工業</td><td>822</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>823</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td colspan="2">卸売･小売業､飲食業</td><td>824</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td colspan="2">サ　ー　ビ　ス　業</td><td>825</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>冷蔵倉庫業</td><td>826</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>827</td><td>：　：</td></tr>
</table>
</td>
<td>４　事業別の子会社数
事業別に子会社数を記入してください。

<table>
<tr><td>821</td><td colspan="2">漁　　業</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>822</td><td rowspan="2">製造業</td><td>水産加工業</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>823</td><td>その他</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>824</td><td colspan="2">卸売・小売業、飲食業</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>825</td><td colspan="2">サ　ー　ビ　ス　業</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>826</td><td rowspan="2">その他</td><td>冷蔵倉庫業</td><td>：　：</td></tr>
<tr><td>827</td><td>その他</td><td>：　：</td></tr>
</table>
</td>
<td>【字句の修正】
　単位を明示し、記入者の紛れのない記入を促すための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>（削除）</td>
<td>内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：　　電話番号：</td>
<td>【削除】
　客体名簿で管理することとするため。</td>
</tr>
</table>

Ⅲ　海面漁業調査　漁業管理組織調査票

新	旧	変更理由
（削除）	 ⇦⇦⇦ 入力方向 秘 農林水産省 ／ 統計法に基づく基幹統計 漁業構造統計 様式調第３号 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 ２０１３年漁業センサス 海面漁業調査 漁業管理組織調査票 平成25年11月１日調査 この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。 〔記入上の注意〕 １　記入に当たっては、「漁業管理組織調査票の記入の仕方」をよく読んでから、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。　★○印は点線に沿って記入してください。 記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　記入例 ○ ２　調査票の内容については、本年（平成25年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去５年間について記入する箇所があります。過去５年間の場合は、平成20年１月１日から平成24年12月31日までの５年間について記入してください。 【統計調査員】 氏　名： 電話番号： 月　日（　） 午前・午後　　時ごろに調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。 《地方農政局等連絡先》 〔事務処理欄〕 区分コード 大海区 － 都府県（振興局） － 市区町村 － 客体番号　市区町村名　客体名 -1-	これまでは、漁業管理組織調査において、自主的な資源管理を行う漁業者の組織（漁業管理組織として、定義）のうち、漁業協同組合が関与する組織を対象に、管理対象魚種、漁業管理の内容、参加経営体数等の資源管理の取組内容等を調査、一方、海面漁業地域調査において、沿海地区漁協における、漁場環境の変化、遊漁の状況、漁業体験や魚食普及活動等の活性化の取組等を調査。 調査体系のスリム化と利活用状況を踏まえた、新たな資源管理の取組等を把握するため、これまでの漁業管理組織調査を廃止し、海面漁業地域調査に集約することとする。 （以下同じ。）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>Ⅰ　11月１日現在の参加漁業経営体数
１　管理組織に参加している漁業経営体数を記入してください。

（経営体）
101 ： ： ： ：</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>２　管理を行っている漁業種類別の経営体数を記入してください。

（経営体）
111 底びき網 小型底びき網 ： ： ： ：
112 底びき網 上記以外の底びき網 ： ： ： ：
113 船びき網 ： ： ： ：
114 刺網 ： ： ： ：
115 定置網 ： ： ： ：
116 はえ縄 ： ： ： ：
117 釣 ： ： ： ：
118 採貝・採藻 ： ： ： ：
119 その他の漁業 ： ： ： ：
120 海面養殖業 ： ： ： ：
121 漁業種類不特定 ： ： ： ：</td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>３　参加漁業経営体がある地域範囲について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

131 ①１市区町村内 ②複数の市区町村 ③各都道府県内の全域 ④複数の都道府県</td></tr>
</table>

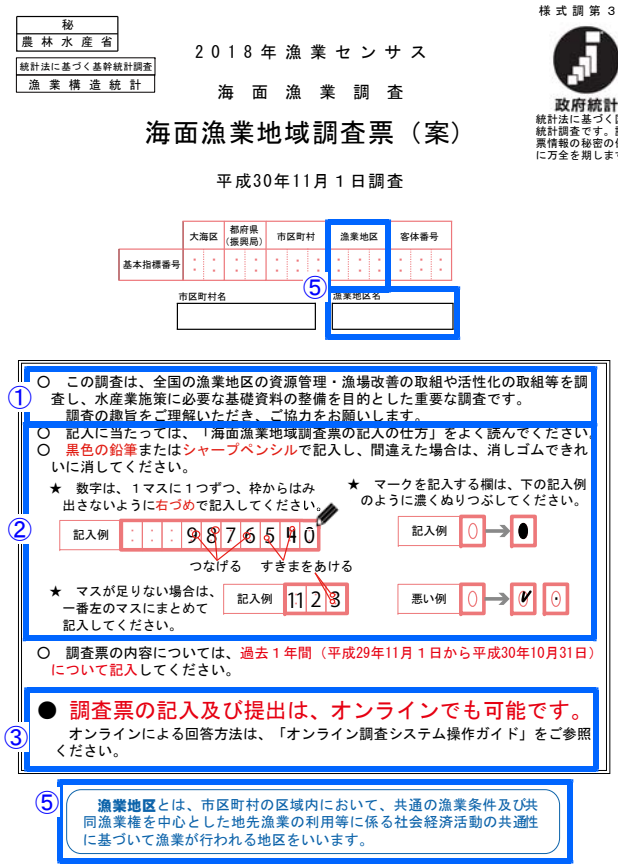
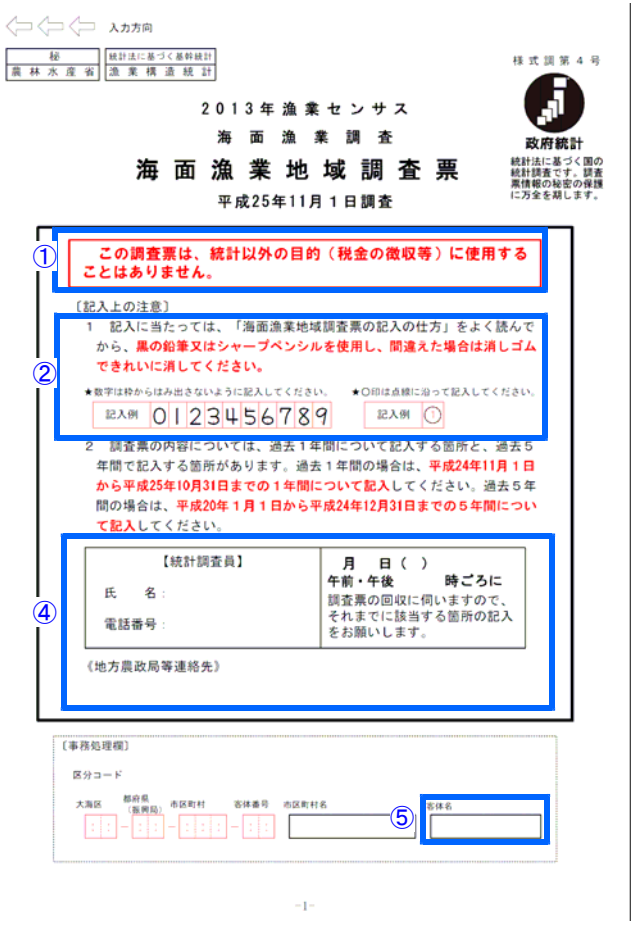
<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>Ⅱ　漁業管理
１　過去５年間（平成20年１月１日～平成24年12月31日）に自主的な漁業管理を行った、すべての管理対象魚種を〇で囲んでください。

<table>
<tr><td>201</td><td>かつお・まぐろ類</td><td>①</td><td>213</td><td>さわら類</td><td>①</td><td>225</td><td>ほたてがい</td><td>①</td></tr>
<tr><td>202</td><td>さけ・ます類</td><td>①</td><td>214</td><td>いかなご</td><td>①</td><td>226</td><td>その他の貝類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>203</td><td>さば類</td><td>①</td><td>215</td><td>ふぐ類</td><td>①</td><td>227</td><td>いか類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>204</td><td>ぶり類</td><td>①</td><td>216</td><td>その他の魚類</td><td>①</td><td>228</td><td>たこ類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>205</td><td>ひらめ</td><td>①</td><td>217</td><td>いせえび</td><td>①</td><td>229</td><td>うに類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>206</td><td>かれい類</td><td>①</td><td>218</td><td>くるまえび</td><td>①</td><td>230</td><td>なまこ類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>207</td><td>すけとうだら</td><td>①</td><td>219</td><td>その他のえび類</td><td>①</td><td>231</td><td>その他の水産動物類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>208</td><td>はたはた</td><td>①</td><td>220</td><td>がざみ類</td><td>①</td><td>232</td><td>こんぶ類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>209</td><td>あなご</td><td>①</td><td>221</td><td>その他のかに類</td><td>①</td><td>233</td><td>その他の海藻類</td><td>①</td></tr>
<tr><td>210</td><td>は　も</td><td>①</td><td>222</td><td>あわび類</td><td>①</td><td>234</td><td>その他</td><td>①</td></tr>
<tr><td>211</td><td>まだい</td><td>①</td><td>223</td><td>さざえ</td><td>①</td><td>235</td><td>魚種不特定</td><td>①</td></tr>
<tr><td>212</td><td>その他のたい類</td><td>①</td><td>224</td><td>あさり類</td><td>①</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>２　過去５年間に行った漁業管理の内容
（1）　漁業資源の管理や漁場の保全・管理の内容について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
　ただし、試験的に行ったものや、継続性の無いものは除きます。

<table>
<tr><th></th><th colspan="4">漁業資源の管理</th><th colspan="8">漁場の保全・管理</th></tr>
<tr><th></th><th>資源量の把握</th><th>漁獲（収獲）枠の設定</th><th>漁業資源の増殖</th><th>その他</th><th>漁場の保全</th><th>うち、藻場・干潟の維持管理</th><th>うち、合成洗剤不使用の取組</th><th>漁場の造成</th><th>漁場利用の取決め</th><th>漁場の監視</th><th>植樹活動、魚つき林の造成</th><th>その他</th></tr>
<tr><td>241</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>(2)　漁獲管理の具体的な規制内容について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
<table><tr><th></th><th></th><th>漁期の規制</th><th>漁法の規制</th><th>漁船隻数の規制</th><th>漁船総トン数・馬力数の規制</th><th>漁具の規制</th><th>出漁日数の規制</th><th>操業時間の規制</th><th>操業人員の規制</th><th>漁獲（収獲）サイズの規制</th><th>漁獲量（収獲量）の規制</th><th>その他</th></tr><tr><td>251</td><td>法制度による規制</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr><tr><td>252</td><td>自　主　規　制</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr></table></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>３　過去５年間に行った漁業管理に係る調整について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
<table><tr><th></th><th>管理組織内の漁業種類間の調整</th><th>漁協地区内の他の漁業種類との調整</th><th>他の漁協地区・市町村等との調整</th><th>遊漁との調整</th></tr><tr><td>261</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。
記入者：　　電話番号：</td></tr>
</table>

Ⅳ　海面漁業調査　海面漁業地域調査票

新	旧	変更理由
 様式調第３号 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計調査 漁業構造統計 ２０１８年漁業センサス 海面漁業調査 海面漁業地域調査票（案） 平成30年11月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 大海区　都府県（振興局）　市区町村　漁業地区　客体番号 基本指標番号 市区町村名　漁業地区名 ① この調査は、全国の漁業地区の資源管理・漁場改善の取組や活性化の取組等を調査し、水産業施策に必要な基礎資料の整備を目的とした重要な調査です。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。 ② ○ 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでください。 ○ 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。 ★ 数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。 ★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。 記入例　9 8 7 6 5 4 0 つなげる　すきまをあける 記入例 ★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。 記入例　1 1 2 3 悪い例 ○ 調査票の内容については、過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）について記入してください。 ③ ● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。 オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。 ⑤ 漁業地区とは、市区町村の区域内において、共通の漁業条件及び共同漁業権を中心とした地先漁業の利用等に係る社会経済活動の共通性に基づいて漁業が行われる地区をいいます。	 入力方向 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 漁業構造統計 様式調第４号 ２０１３年漁業センサス 海面漁業調査 海面漁業地域調査票 平成25年11月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 ① この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。 〔記入上の注意〕 ② １ 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。　★○印は点線に沿って記入してください。 記入例　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　記入例 ２ 調査票の内容については、過去１年間について記入する箇所と、過去５年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成24年11月１日から平成25年10月31日までの１年間について記入してください。過去５年間の場合は、平成20年１月１日から平成24年12月31日までの５年間について記入してください。 ④ 【統計調査員】 氏　名： 電話番号： 月　日（　） 午前・午後　時ごろに 調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。 《地方農政局等連絡先》 〔事務処理欄〕 区分コード 大海区　都府県（振興局）　市区町村　客体番号　市区町村名 ⑤ 客体名 -1-	① 字句の修正 利用目的を、記入者に伝わりやすくするための変更。 ② 変更 ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。 なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。 ③ 追加 オンライン調査を導入するため。 ④ 削除 別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。 ⑤ 変更 漁業地区ごとに調査票を整理することとするための変更。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>Ⅰ　生産条件
１　漁場環境の変化
（1）　漁業協同組合の管轄区域内における過去５年間（平成20年１月１日～平成24年12月31日）の漁業権の放棄面積について、年次別（暦年）に記入してください。
<table><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th>十万</th><th>万</th><th>千</th><th>百</th><th>十</th><th>(㎡)</th></tr><tr><td>101</td><td>平成20年</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td></tr><tr><td>102</td><td>平成21年</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td></tr><tr><td>103</td><td>平成22年</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td></tr><tr><td>104</td><td>平成23年</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td></tr><tr><td>105</td><td>平成24年</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td><td>：</td></tr></table></td><td>【削除】
都道府県で把握している情報であり、記入者負担の軽減を図るため、削除する。</td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>（2）　上記の漁業権放棄の原因について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
また、そのうち、主な原因について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。
<table><tr><th></th><th></th><th colspan="5">埋め立て</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td></td><td>港湾・漁港の建設</td><td>道路建設</td><td>宅地造成</td><td>工業用地造成</td><td>その他</td><td></td></tr><tr><td>111</td><td>原因</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr><tr><td>112</td><td>主な原因</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr></table></td><td>【削除】
都道府県で把握している情報であり、記入者負担の軽減を図るため、削除する。</td></tr>
</table>

新

Ⅰ　資源管理・漁場改善の取組

１　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業地区において漁業協同組合が行った資源管理・漁場改善の取組について、取組ごと（資源管理計画、漁場改善計画、その他）に記入してください。

	① 名称（資源管理計画や漁場改善計画は、計画の名称、自主的な取組は、組織の名称を記入してください。）	取組区分			② 参加漁業経営体数	③ 対象とした漁業資源																
						魚類																
		資源管理計画	漁場改善計画	その他		さけ・ます類	ひらめ	かれい類	たい類	まだい	その他のたい類	その他の魚類	いせえび	その他のえび類	がざみ類	その他のかに類	あわび類	さざえ	あさり類	その他の貝類	いか類	たこ類	うに類
		①			②	③	④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
	名称を記入	いずれか一つにマーク			参加経営体数を記入	該当するすべてにマーク																	
101		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
102		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
103		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
104		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
105		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
106		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
107		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
108		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
109		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
110		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
111		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
112		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
113		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
114		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
115		0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

旧

（新設）

変更理由

① 追加
　資源管理や漁場改善に向けた取組として、国や都道府県が策定する「資源管理指針」に基づき漁業者が作成・実施する資源管理計画や持続的養殖生産確保法（平成11年法律第51号）第４条に基づき漁業者が作成・実施する漁場改善計画だけでなく、これらには至らないものの、同質の取組を実施している場合があることから、これらの取組と「対象とする資源」や「実施した措置」など関係を明らかにする統計を作成する。

② 追加
　これまでの漁業管理組織調査と同様、取組の規模を参加経営体数として把握するための追加。

③ 追加
　これまでの漁業管理組織調査と同様、取組が対象とする資源を把握するための追加。
　なお、選定においては、漁業管理組織調査における出現率を参考に、沿岸漁業で漁獲されるものや養殖魚種への重点化を図り、漁業管理組織調査の35種類から21種類に削減する。

新

③ 他物の類

なまこ類	その他の水産動物類	こんぶ類	その他の海藻類
⑳	㉑	㉒	㉓
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0

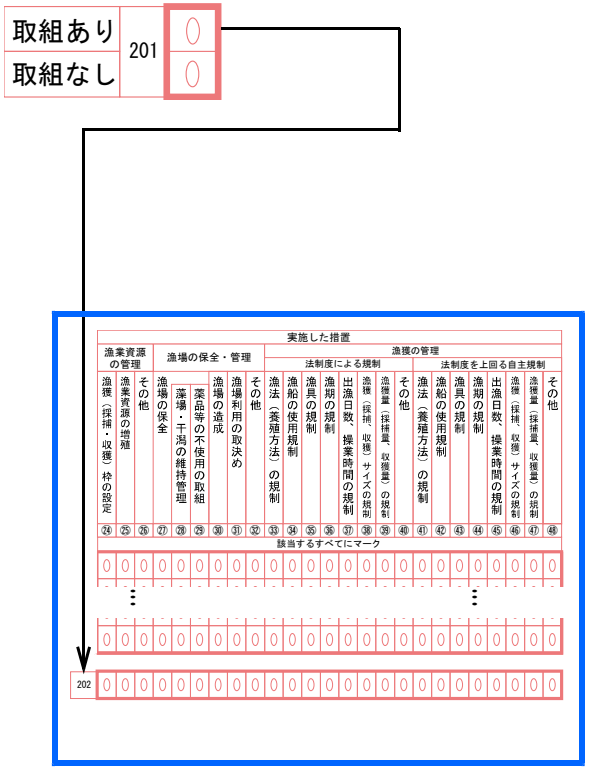
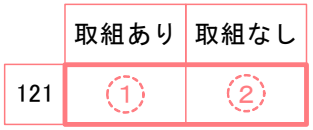
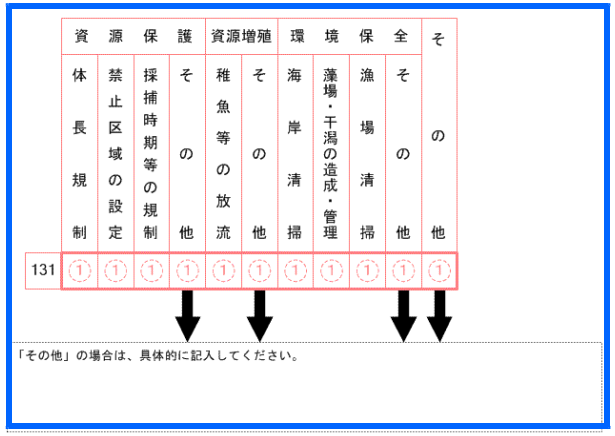
④ 実施した措置

漁業資源の管理			漁場の保全・管理								漁獲の管理																
											法制度による規制									法制度を上回る自主規制							
漁獲（採捕・収獲）枠の設定	漁業資源の増殖	その他	漁場の保全	藻場・干潟の維持管理	薬品等の不使用の取組	漁場の造成	漁場利用の取決め	その他	漁法（養殖方法）の規制	漁船の使用規制	漁具の規制	漁期の規制	出漁日数、操業時間の規制	漁獲（採捕、収獲）サイズの規制	漁獲量（採捕量、収獲量）の規制	その他	漁法（養殖方法）の規制	漁船の使用規制	漁具の規制	漁期の規制	出漁日数、操業時間の規制	漁獲（採捕、収獲）サイズの規制	漁獲量（採捕量、収獲量）の規制	その他
㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽
該当するすべてにマーク																								
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

旧

変更理由

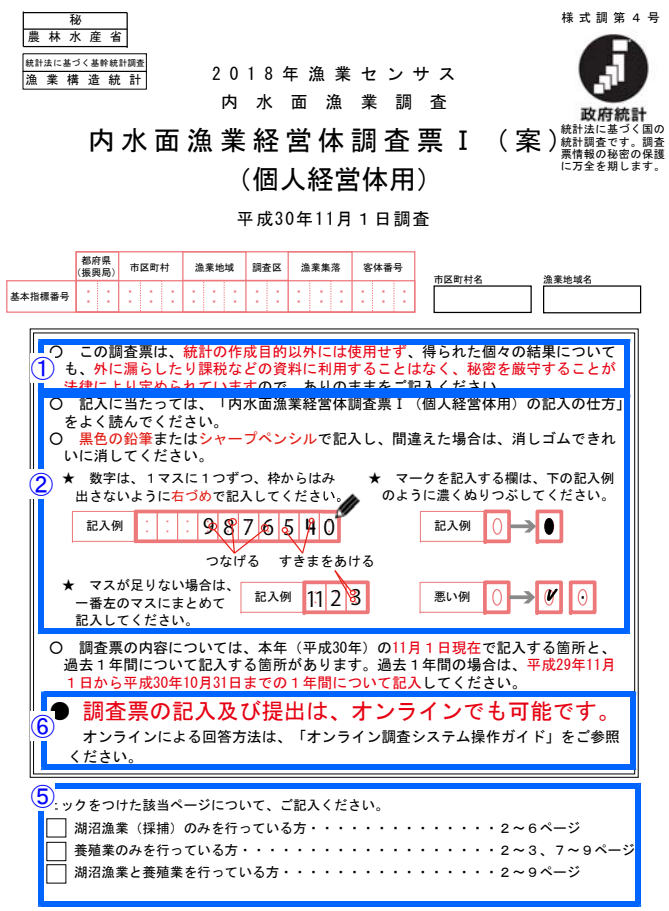
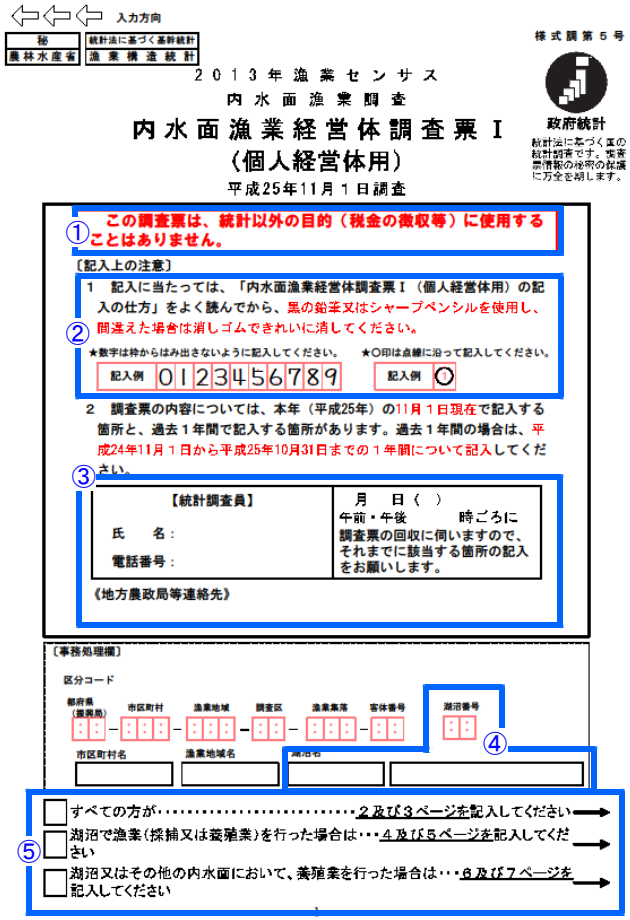
④ 追加
　これまでの漁業管理組織調査と同様、取組の中で実施した具体的な措置を把握するための追加。
　なお、把握する項目は、資源管理計画及び漁場改善計画において盛り込まれる措置との整合性を踏まえ、漁業管理組織調査の34区分から25区分に統合。

新	旧	変更理由
２　過去１年間に漁業地区において漁業協同組合が遊魚関係団体と連携した取組を行った場合は、当てはまるものすべてに記入してください。  	２　遊漁の状況 (1)　過去１年間（平成24年11月１日～平成25年10月31日）の漁業協同組合の管轄区域内における漁業協同組合と遊漁関係団体と連携している取組の有無について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。  	【変更】 記入しやすい回答方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。
	(2)　取組の具体的な内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。（漁業協同組合単独の取組は除きます。）  	【変更】 漁業管理組織調査との統合に伴い、資源管理に係る取組内容との平仄を合わせるための変更。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>
Ⅱ　漁業地区の会合・集会等の開催状況
　過去１年間に漁業協同組合本所・支所が関係する会合・集会等が開催されましたか。
　開催があった場合は、「ある（回数）」欄に開催回数を記入し、その議題について、当てはまるものすべてに記入してください。
<table>
<tr><th colspan="2">会合・集会等の開催
（いずれかに記入）</th></tr>
<tr><td>な　し</td><td>ある
（回数）</td></tr>
<tr><td>301</td><td>302</td></tr>
<tr><td>0</td><td>：　：</td></tr>
</table>
会合・集会等の開催があった場合
<table>
<tr><th colspan="8">会合・集会等の議題（該当するものすべてにマーク）</th></tr>
<tr><td>企業参入（漁業権の問題を含む）</td><td>特定区画漁業権・共同漁業権の変更</td><td>漁業権放棄</td><td>漁業補償</td><td>地元地区の共用財産・共有施設の管理</td><td>自然環境の保全</td><td>地元地区の行事（祭り・イベント等）</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>303</td><td>304</td><td>305</td><td>306</td><td>307</td><td>308</td><td>309</td><td>310</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
</table>
</td>
<td>（新設）</td>
<td>【追加】
新たな水産基本計画において「魚類・貝類養殖業等への企業の参入」や「浜の資源のフル活用」に必要な施策について検討するとされており、その検討の際の基礎データとして、地域における会合・集会の開催状況を把握する。</td>
</tr>
<tr>
<td>
Ⅲ　活性化の取組
１　過去１年間に漁業協同組合本所・支所が関係する活動のうち、当該漁業地区で実施したものすべてに記入してください。
<table>
<tr><th colspan="6">関係する活動（該当するものすべてにマーク）</th></tr>
<tr><td>新規漁業就業者・後継者を確保する取組</td><td>ゴミ（漂着・漂流・海底）の清掃活動</td><td>６次産業化への取組</td><td>ブルー・ツーリズムの取組</td><td>水産に関する伝統的な祭り・文化・芸能の保存</td><td>その他の各種イベントの開催</td></tr>
<tr><td>311</td><td>312</td><td>313</td><td>314</td><td>315</td><td>316</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
</table>
</td>
<td>Ⅱ　活性化の取組
（新設）</td>
<td>【追加】
新たな水産基本計画において「浜の資源のフル活用」に必要な施策について検討するとされていることや、本年３月に閣議決定された漁港漁場整備長期計画において、都市漁村交流人口を概ね100万人増加させることが目標とされ、その実現に向けた各種施策や政策効果を把握するための基礎データとして、地域における活性化取組状況を把握する。</td>
</tr>
</table>

新	旧	変更理由
① 2　過去１年間に漁業協同組合本所・支所が行った都市との交流活動の取組のうち、当該漁業地区で実施した取組の参加人数を記入してください。 ② ③ 参加人数（十万 万 千 百 十 （人）） 漁業体験 321 ：：：：：： 魚食普及活動 322 ：：：：：： その他 323 ：：：：：：	① 1　過去１年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。 ② ③ （万 千 百 十 （人）） 141 漁業体験 ：：：：：： 142 魚食普及活動 ：：：：：： 143 その他 ：：：：：：	① 字句の修正 上記の項目追加に伴い番号を変更。 ② 字句の修正 調査票の整理を、漁業地区単位に変更するための変更。 ③ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
① 3　漁業協同組合の運営する水産物直売所のうち、当該漁業地区の施設数及び過去１年間の利用者数（来場者数）について記入してください。 ② 施設数（施設） ③ 年間利用者数（百万十万 万 千 百 十（人）） 水産物直売所 331 ：：　：：：：：：：0 0	① 2　漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去１年間の利用者数（来場者数）について記入してください。 ② 施設数 ③ 年間利用者数（万 千 百 十 （人）） 151 水産物直売所 ：：　：：：：：0 0	① 字句の修正 上記の項目追加に伴い番号を変更。 ② 字句の修正 調査票の整理を、漁業地区単位に変更するための変更。 ③ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
（削除）	内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。 記入者：　　電話番号：	【削除】 客体名簿で管理することとするため。

Ⅴ　内水面漁業調査　内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）

新	旧	変更理由
 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計調査 漁業構造統計 様式調第４号 ２０１８年漁業センサス 内水面漁業調査 内水面漁業経営体調査票Ⅰ（案） （個人経営体用） 平成30年11月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 都府県（振興局）　市区町村　漁業地域　調査区　漁業集落　客体番号 基本指標番号 市区町村名　漁業地域名 ① ○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。 ② ○　記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。 ○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。 ★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。 ★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。 記入例　9 8 7 6 5 4 0 つなげる　すきまをあける 記入例　○ → ● ★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。 記入例　1 1 2 3 悪い例　○ → ✓ ⊙ ○　調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。 ⑥ ●　調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。 オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。 ⑤ ックをつけた該当ページについて、ご記入ください。 □　湖沼漁業（採捕）のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・２～６ページ □　養殖業のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～３、７～９ページ □　湖沼漁業と養殖業を行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・・２～９ページ	 入力方向 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 漁業構造統計 様式調第５号 ２０１３年漁業センサス 内水面漁業調査 内水面漁業経営体調査票Ⅰ （個人経営体用） 平成25年11月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 ① この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。 〔記入上の注意〕 ② １　記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。　★○印は点線に沿って記入してください。 記入例　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　記入例　○ ２　調査票の内容については、本年（平成25年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間で記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成24年11月１日から平成25年10月31日までの１年間について記入してください。 ③ 【統計調査員】　氏　名：　電話番号： 月　日（　）　午前・午後　時ごろに調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。 《地方農政局等連絡先》 〔事務処理欄〕 区分コード 都府県（振興局）　市区町村　漁業地域　調査区　漁業集落　客体番号　湖沼番号 ④ 市区町村名　漁業地域名　湖沼名 ⑤ □　すべての方が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２及び３ページを記入してください □　湖沼で漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は・・・４及び５ページを記入してください □　湖沼又はその他の内水面において、養殖業を行った場合は・・・６及び７ページを記入してください	① 字句の修正 利用目的を、記入者により伝わりやすくするための変更。 ② 変更 ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。 なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。 ③ 削除 別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。 ④ 削除 客体名簿で管理することとするため。 ⑤ 変更 回答ページの案内について、記入者に伝わりやすくするため。 ⑥ 追加 オンライン調査を導入するため。

新	旧	変更理由
Ⅰ　世帯について （削除）	Ⅰ　世帯について １　世帯員すべての人数 11月１日現在の世帯員の人数を記入してください。 （人） すべての世帯員 / うち、満14歳以下の世帯員 701 男 ： ： ： ： 702 女 ： ： ： ：	【削除】 漁業経営に係る情報の充実に重きを置くこととし、記入負担の軽減を図る。
① １　漁業を行った人　② 満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業を行った人をもれなく記入してください。 ③ 経営主との続柄 ① 続柄番号を記入 / 性別 ② 男 女 いずれかにマーク / 出生の年月 ③ 該当する元号と出生の年月を記入 大正 昭和 平成 年 月 731 0 1 0 0 0 0 0 ： ： ： ： 732 ： ： 0 0 0 0 0 ： ： ： ： 733 ： ： 0 0 0 0 0 ： ： ： ： 734 ： ： 0 0 0 0 0 ： ： ： ： 735 ： ： 0 0 0 0 0 ： ： ： ： 736 ： ： 0 0 0 0 0 ： ： ： ： 737 ： ： 0 0 0 0 0 ： ： ： ： 738 ： ： 0 0 0 0 0 ： ： ： ：	① ４　漁業を行った人　② 満15歳以上の世帯員（平成10年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間に漁業を行った人をもれなく記入してください。 ③ ① 経営主との続柄 / ② 平成25年11月１日現在の満年齢 15～19歳 20～24歳 25～29歳 30～34歳 35～39歳 40～44歳 45～49歳 50～54歳 55～59歳 60～64歳 65～69歳 70～74歳 75歳以上 / ③ 男女の別 男 女 続柄番号を記入 / いずれかに○印 / いずれかに○印 漁業を行った人 731 0 1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ② 732 ： ： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ② 733 ： ： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ② 734 ： ： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ② 735 ： ： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ② 736 ： ： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ② 737 ： ： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ② 738 ： ： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ① ②	① 変更 上記の削除及び全体的な調査票レイアウトに伴い、番号を変更。 ② 字句の修正 2018年漁業センサス用の調査票とするための変更。 ② 変更 漁業者の減少・高齢化の進行など水産物の生産体制の脆弱化が水産施策の課題となる中、経営主、自家漁業就業者等の平均年齢など、その実態を正確に表した統計を作成するため、調査項目を年齢階層別から国勢調査と同様に出生の年月に変更。 なお、集計においては、これまで通りの年齢階層区分で統計表を作成する。

新	旧	変更理由

新

過去1年間にした仕事

① 自家漁業 湖沼漁業 湖上作業	陸上作業	養殖業	自家の湖上作業と養殖業の作業日数	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	過去1年以内に漁業を始めた人	日数が最も多かった仕事	日数がかった方 自家漁業	日数がかった方 他の仕事	② 経営主とともに経営方針の決定に関わっている
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮
該当するすべてにマーク			該当する人に日数を記入（日）	該当するすべてにマーク					下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク		該当にマーク
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	0
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	0
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	0
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	0
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	0
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	0
0	0	0	: : :	0	0	0	0	0	:	0	0	0

旧

過去1年間にした仕事

① 自家の湖沼漁業	うち、陸上作業	自家養殖業	自家の湖上作業と内水面養殖業の作業日数	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	過去1年以内に漁業を始めた人	日数が最も多い仕事	日数の多い方 自家漁業	日数の多い方 ほかの仕事
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
当てはまる人に○印			（日）	当てはまる人に○印					上の当てはまる番号を記入	いずれかに○印	
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②
①	①	①	: : :	①	①	①	①	①	:	①	②

変更理由

① 変更
自家漁業で行っている作業について、明確に区分することにより、記入者に紛れのない記入を促すための変更。

② 追加
水産業における女性の参画促進や「担い手」となる新規漁業就業者の支援・定着を促進している中、漁業の実作業のみでなく、個人経営体における経営主以外の世帯員の関わり方についての統計を整備するため。

新

2　世帯としての収入
世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		711	0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった		0
	自家漁業以外の収入が多かった（不動産による収入を含み、年金は含みません）		0

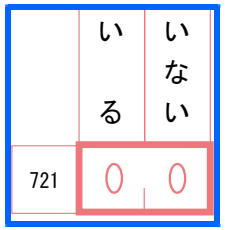
旧

2　世帯としての専業・兼業
(1)　当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	自家漁業専業	兼業 自家漁業が主	兼業 他が主
711	1	2	3

変更理由

【字句の修正】
本調査においては、収入に基づき専兼業を判断していることから、調査項目を記入者が判断しやすいよう説明を交えた項目とし、設問の主旨を記入者に確実に伝えるための変更。
また、記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

新	旧	変更理由
（削除）	(2)　過去１年間の漁業以外の仕事について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。 	【削除】 利活用を踏まえ、記入負担の軽減を図るため削除する。
（削除）	(3)　民宿を行っている場合は、過去１年間の延べ利用者数を記入してください。 	【削除】 民宿を営む内水面の個人経営体は少なくなっており、公表時の秘匿の観点及び記入負担軽減を図る観点から削除する。
３　自家漁業の後継者の有無 当てはまるものに記入してください。  	３　自家漁業の後継者の有無 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。 	【字句の修正】 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

新

Ⅱ　湖沼漁業

１　過去１年間に湖上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、実人数を年齢別に記入してください。

湖上作業に雇った人がいない	201	○
湖上作業に雇った人がいる		○

雇った人がいる場合
湖上作業に雇った人を年齢別に記入

（人）

		男			女		
計	211						
15～19歳	212						
20～24歳	213						
25～29歳	214						
30～34歳	215						
35～39歳	216						
40～44歳	217						
45～49歳	218						
50～54歳	219						
55～59歳	220						
60～64歳	221						
65～69歳	222						
70～74歳	223						
75歳以上	224						

旧

Ⅱ　湖沼漁業

１　過去１年間の湖上作業に雇った人数を記入してください。

（人）

		男			女		
201	計						
202	15～19歳						
203	20～24歳						
204	25～29歳						
205	30～34歳						
206	35～39歳						
207	40～44歳						
208	45～49歳						
209	50～54歳						
210	55～59歳						
211	60～64歳						
212	65～69歳						
213	70～74歳						
214	75歳以上						

変更理由

【追加】

過去１年間の湖上作業の雇用者の調査項目については、該当がある場合のみ記入となるが、記入漏れや世帯員を誤って記入した場合に審査を行うすべがないことから、冒頭に有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に人数を回答することとして、記入漏れを防ぐための追加。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>2　過去１年間に湖上作業を行った日数を記入してください。
（日）
231 ：：：</td>
<td>2　家として、過去１年間に湖上作業を行った日数を記入してください。
（日）
221 ：：：</td>
<td>【字句の修正】
雇用者のみで作業を行った日も含むことがわかるように、表現を適正化するための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>3　漁船
③ 過去１年間に湖沼漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。（借りた漁船を含みます。）
② また、湖沼漁業に使用した漁船のうち、平成30年11月１日現在で持っている隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。
①
漁船を使用していない　241　○
漁船を使用した　241　○
使用した漁船をすべてマーク／使用した動力漁船の合計トン数を記入（トン）／11月１日現在で持っている漁船の隻数（隻）
無動力漁船　242　○　：：
船外機付漁船　243　○　：：
動力漁船　244　○　：：．：　：：</td>
<td>6　漁船
③ (1)　過去１年間に使用した漁船について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。（借りた漁船を含みます。）
②
① 漁船非使用／無動力漁船／漁船船外機付／動力漁船
281　①　①　①　①
(2)　使用した漁船のうち、11月１日現在で持っている隻数を記入してください。（借りている漁船は含み、貸している漁船は含みません。）
②
（隻）
282　無動力漁船　：：
283　船外機付漁船　：：
284　動力漁船　：：
(3)　使用した動力漁船の合計トン数を記入してください。
②
（トン）
285　：：．：
小数点</td>
<td>① 変更
「漁船非使用」の欄は、記入漏れが多く調査員が調査客体に確認の上、補正することが多いとの意見が前回調査時にあったことから、冒頭に漁船使用の有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に漁船の内容を回答することとして、記入漏れを防ぐための変更。
② 字句の修正
漁船種類ごとの使用の有無と漁船種類ごとの隻数を一体的な項目とし、漏れのない記入を促すための変更。
③ 字句の修正
レイアウトを変更するため、調査項目順を変更する。</td>
</tr>
</table>

新

①
4　漁業種類
　過去１年間に、湖沼漁業において行った、すべての漁業種類について記入してください。
②　また、全国共通漁業種類において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

				営んだものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通漁業種類	網漁業	底びき網・船びき網	251	○	○
		刺網	252	○	○
		定置網	253	○	○
		投網	254	○	○
		その他の網漁業	255	○	○
	その他の漁業	釣・はえ縄	256	○	○
		採貝・採藻	257	○	○
		籠類	258	○	○
		その他の漁業	259	○	○
	養殖業	魚類養殖	260	○	○
		その他の養殖	261	○	○

		営んだものすべてにマーク
地方選定漁業種類		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

旧

①
3　漁業種類
(1)　過去１年間に湖沼漁業において行ったすべての漁業種類を○で囲んでください。
②　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。

			営んだものすべてに○印	販売金額の一位のものに○印
231	網漁業	底びき網・船びき網	①	①
232		刺網	①	②
233		定置網	①	③
234		投網	①	④
235		その他の網漁業	①	⑤
236	その他の漁業	釣・はえ縄	①	⑥
237		採貝・採藻	①	⑦
238		籠類	①	⑧
239		その他の漁業	①	⑨
240	養殖業	魚類養殖	①	⑩
241		その他の養殖	①	⑪

(2)　過去１年間に行ったすべての地方選定漁業種類を○で囲んでください。
②

地方選定漁業種類番号			地方選定漁業種類名	○印欄
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①

変更理由

①　字句の修正
　レイアウト変更に伴い、番号を変更。

②　変更
　漁業種類に関しての設問を、全国共通及び地方選定についての一体的なものとして統合する。（把握内容に変更なし）
　また、記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

（具体的な地方選定漁業種類については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）

新

①
5　魚種
　過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したものすべてを記入してください。
②　また、全国共通魚種において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

				② 漁獲したものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通魚種	魚類	こい	271	○	○
		ふな	272	○	○
		あゆ	273	○	○
		うぐい・おいかわ	274	○	○
		わかさぎ	275	○	○
		さけ・ます類	276	○	○
		しらうお	277	○	○
		うなぎ	278	○	○
		はぜ類	279	○	○
		その他の魚類	280	○	○
	貝類	しじみ	281	○	○
		その他の貝類	282	○	○
	水産動物類	えび類	283	○	○
		その他の水産動物類	284	○	○
	その他		285	○	○

旧

①
4　魚種
(1)　過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む）したすべてのものを○で囲んでください。
②　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。

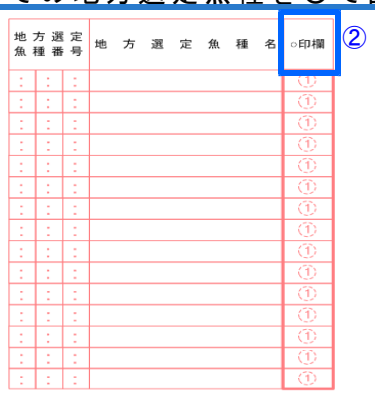
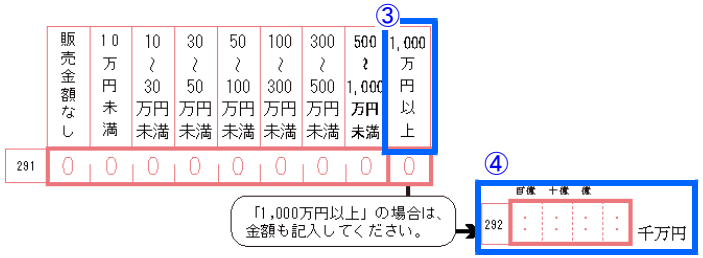
			② この営業のすべて○印	販売金額第一位の○印
251	魚類	こい	①	①
252		ふな	①	②
253		あゆ	①	③
254		うぐい・おいかわ	①	④
255		わかさぎ	①	⑤
256		さけ・ます類	①	⑥
257		しらうお	①	⑦
258		うなぎ	①	⑧
259		はぜ類	①	⑨
260		その他の魚類	①	⑩
261	貝類	しじみ	①	⑪
262		その他の貝類	①	⑫
263	水産動物類	えび類	①	⑬
264		あみ類	①	⑭ ③
265		その他の水産動物類	①	⑮
266	その他		①	⑯

変更理由

① 字句の修正
　レイアウト変更に伴い、番号を変更。

② 変更
　漁業種類に関しての設問を、全国共通及び地方選定についての一体的なものとして統合する。（把握内容に変更なし）
　また、記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。
　（具体的な地方選定魚種については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）

③ 変更
「水産動物類　あみ類」については、販売金額が１位となる経営体は存在せず、漁獲する経営体も減ってきていることから項目から削除し「その他の水産動物類」に含めるための変更。

新	旧	変更理由
② 	(2)　過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したすべての地方選定魚種を〇で囲んでください。②  ②	
① ６　過去１年間の漁獲物（湖沼養殖の収獲物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、②当てはまるもの一つに記入してください。  	① ５　過去１年間の漁獲物（湖沼養殖の収獲物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、②当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。 	①　字句の修正 　レイアウト変更に伴い、番号を変更。 ②　変更 　記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ③　変更 　販売金額階層を、2013年漁業センサス結果に基づく実態にあわせるための変更。 ④　追加 　平均金額に関する統計の作成・提供を施策部局だけでなく、一般のユーザーからも求められているものの、記入者における実金額記入に対する忌避感から記入拒否が増え、調査員等における照会作業の負担が増加するものと考えられることから、これまでどおり金額階層を選択する項目設定とするが、販売金額が最上位階層の場合は実額を把握する。 　なお、2013年漁業センサスの結果では、全経営体に占める販売金額1,000万円以上の経営体の割合は、7.2%となっている。

新

Ⅲ　養殖業 ①

１　過去１年間に養殖業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、実人数を年齢別に記入してください。

養殖業に雇った人がいない	301	○
養殖業に雇った人がいる		○

雇った人がいる場合
養殖業に雇った人を年齢別に記入

（人）

		男			女		
計	311						
15～19歳	312						
20～24歳	313						
25～29歳	314						
30～34歳	315						
35～39歳	316						
40～44歳	317						
45～49歳	318						
50～54歳	319						
55～59歳	320						
60～64歳	321						
65～69歳	322						
70～74歳	323						
75歳以上	324						

旧

Ⅲ　内水面養殖業 ①

１　過去１年間の養殖業に雇った人数を記入してください。

（人）

		男			女		
301	計						
302	15～19歳						
303	20～24歳						
304	25～29歳						
305	30～34歳						
306	35～39歳						
307	40～44歳						
308	45～49歳						
309	50～54歳						
310	55～59歳						
311	60～64歳						
312	65～69歳						
313	70～74歳						
314	75歳以上						

変更理由

① 字句の修正
調査票内の用語の統一を図るための変更。

② 追加
過去１年間の養殖業の雇用者の調査項目については、該当がある場合のみ記入となるが、記入漏れや世帯員を誤って記入した場合に審査を行うすべがないことから、冒頭に有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に人数を回答することとして、記入漏れを防ぐための追加。

新

①
2　養殖種類

（1）　過去１年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
　また、全国共通養殖種類において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。
②

				施設面積	使用面積	販売金額が最も多かったものにマーク
				③ 万 十万 万 千 百 十(㎡)	百万 十万 万 千 百 十(㎡)	
全国共通養殖種類	食用	にじます	331			○
		その他ます類	332			○
		あゆ	333			○
		こい	334			○
		ふなな	335			○
		うなぎ	336			○
		すっぽん	337			○
		海水魚種（ひらめ等）	338			○
		その他	339			○
	種苗用	ますぶ類	340			○
		あゆ	341			○
		こい	342			○
		その他	343			○
	観賞用	錦ごい	344			○
		④ その他	345			○
	真珠		346			○

旧

①
3　養殖種類

（1）　過去１年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。
②

			③ 施設面積	うち 使用面積	販売金額が最も多かったもの一つに○印
			万 千 百 十(㎡)	万 千 百 十(㎡)	
331	食用	にじます			①
332		その他ます類			②
333		あゆ			③
334		こい			④
335		ふなな			⑤
336		うなぎ			⑥
337		すっぽん			⑦
338		海水魚種(ひらめ等)			⑧
339		その他			⑨
340	種苗用	ますぶ類			⑩
341		あゆ			⑪
342		こい			⑫
343		その他			⑬
344		錦ごい			⑭
345		④ きんぎょ			⑮
346	真珠				⑯

変更理由

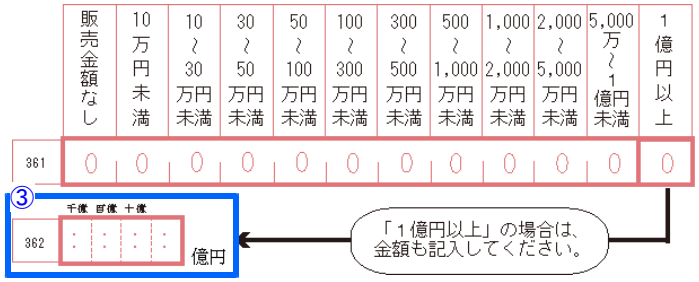
① 字句の修正
　全体的な調査票レイアウトを変更し、番号を変更。

② 字句の修正
　記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

③ 字句の修正
　桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対し紛れのない記入を促すための変更。

④ 変更
　本項目設計当時（2003年漁業センサス）は、観賞用の養殖種類は錦ごいときんぎょが太宗を占めていたが、回を重ねる度に、上記２種ではない観賞用の養殖（例：ミドリガメ）についての取扱に関する問い合わせが増え、便宜的に「きんぎょ」に含める整理をしてきたところ。記入者がきんぎょ以外が含まれる実態がわかるように伝えるため「その他」の標記に変更し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

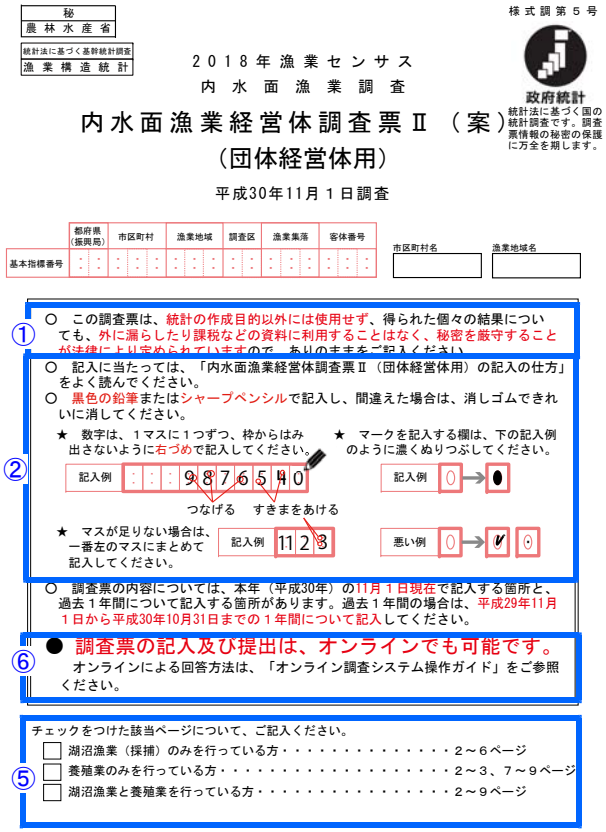
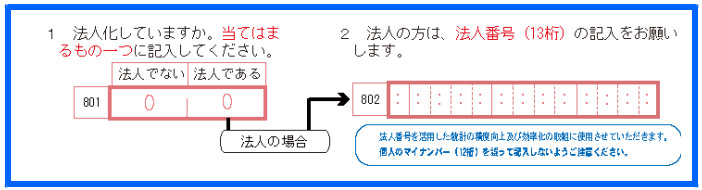
新	旧	変更理由
(2)　過去１年間に養殖した地方選定養殖種類すべてを記入してください。 地方選定養殖種類 ／ 養殖したものすべてにマーク ○	(2)　過去１年間に行ったすべての地方選定養殖種類を○で囲んでください。 地方選定養殖種類番号 ／ 地方選定養殖種類名 ／ ○印欄 ①	【字句の修正】 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 （具体的な地方選定漁業種類については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）
① ３　養殖方法 過去１年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。 また、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください　② ③ 養殖池数（網いけす数、養殖池の区画数）百 十（面） 養殖面積 百万 十万 万 千 百 十（㎡） 販売金額が最も多かったものにマーク 池中養殖 止水式 351 池中養殖 流水式 352 池中養殖 循環式 353 ため池養殖 354 網いけす養殖 355 その他養殖 356 ○	① ４　養殖方法 過去１年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。 そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。② 養殖池数（網いけす数、養殖池の区画数）（面） ③ 養殖面積 万 千 百 十（㎡） 販売金額が最も多かったもの一つに○印 351 池中養殖 止水式 ① 352 池中養殖 流水式 ② 353 池中養殖 循環式 ③ 354 ため池養殖 ④ 355 網いけす養殖 ⑤ 356 その他養殖 ⑥	① 字句の修正 全体的な調査票レイアウトを変更し、番号を変更。 ② 字句の修正 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ③ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>①
4　過去１年間の収獲物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。②
 
</td>
<td>①
2　過去１年間の収獲物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。②
</td>
<td>① 字句の修正
　レイアウト変更に伴い、番号を変更。

② 字句の修正
　記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

③ 追加
　平均金額に関する統計の作成・提供を施策部局だけでなく、一般のユーザーからも求められているものの、記入者における実金額記入に対する忌避感から記入拒否が増え、調査員等における照会作業の負担が増加するものと考えられることから、これまでどおり金額階層を選択する項目設定とするが、販売金額が最上位階層の場合は実額を把握する。
　なお、2013年漁業センサスの結果では、全経営体に占める販売金額１億円以上の経営体の割合は、5.9％となっている。</td>
</tr>
<tr>
<td>（削除）</td>
<td>内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。
記入者：　　電話番号：</td>
<td>【削除】
　客体名簿で管理することとするため。</td>
</tr>
</table>

Ⅵ　内水面漁業調査　内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）

新	旧	変更理由
		① 字句の修正 利用目的を、記入者により伝わりやすくするための変更。 ② 変更 ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。 なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。 ③ 削除 別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。 ④ 削除 客体名簿で管理することとするため。 ⑤ 変更 回答ページの案内について、記入者に伝わりやすくするため。 ⑥ 追加 オンライン調査を導入するため。
	（新設）	【追加】 事業所母集団ＤＢに登録することで、将来的に、他の統計調査結果とのリンケージによる統計の作成等が可能となるよう備えるため、法人番号を把握する。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>①
Ⅱ　湖沼漁業　②
１　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）の湖上作業の従事者について、年齢別に実人数を記入してください。
（人）
<table>
<tr><th></th><th></th><th colspan="3">男</th><th colspan="3">女</th></tr>
<tr><td>計</td><td>211</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>15～19歳</td><td>212</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>20～24歳</td><td>213</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>25～29歳</td><td>214</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>30～34歳</td><td>215</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>35～39歳</td><td>216</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>40～44歳</td><td>217</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>45～49歳</td><td>218</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>50～54歳</td><td>219</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>55～59歳</td><td>220</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>60～64歳</td><td>221</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65～69歳</td><td>222</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>70～74歳</td><td>223</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>75歳以上</td><td>224</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>①
Ⅰ　湖沼漁業　②
１　過去１年間（平成24年11月１日～平成25年10月31日）の湖上作業の従業者数を記入してください。
（人）
<table>
<tr><th></th><th></th><th colspan="3">男</th><th colspan="3">女</th></tr>
<tr><td>201</td><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>202</td><td>15～19歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>203</td><td>20～24歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>204</td><td>25～29歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>205</td><td>30～34歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>206</td><td>35～39歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>207</td><td>40～44歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>208</td><td>45～49歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>209</td><td>50～54歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>210</td><td>55～59歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>211</td><td>60～64歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>212</td><td>65～69歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>213</td><td>70～74歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>214</td><td>75歳以上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>① 字句の修正
上記の変更に伴い、番号を変更。

② 字句の修正
2018年漁業センサス用の調査票とするとともに、実人数であることを明記し、紛れのない記入を促す。</td>
</tr>
</table>

新

③
3　漁船
　過去１年間に湖沼漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。
②（借りた漁船を含みます。）
　また、湖沼漁業に使用した漁船のうち、平成30年11月１日現在で保有している隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。

①

漁船を使用していない	241	○
漁船を使用した		○

		使用した漁船をすべてマーク	使用した動力漁船の合計トン数を記入（トン）	11月１日現在で保有している漁船の隻数（隻）
無動力漁船	242	○		： ：
船外機付漁船	243	○		： ：
動力漁船	244	○	： ： ．：	： ：

旧

③
6　漁船
(1)　過去１年間に使用した漁船について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
②（借りた漁船を含みます。）

①

	漁船非使用	無動力漁船	船外機付漁船	動力漁船
281	①	①	①	①

(2)　使用した漁船のうち、11月１日現在で持っている隻数を記入してください。（借りている漁船は含み、貸している漁船は含みません。）
②

（隻）

282	無動力漁船	：	：
283	船外機付漁船	：	：
284	動力漁船	：	：

(3)　使用した動力漁船の合計トン数を記入してください。
②

（トン）

285	：	：	．	：

小数点

変更理由

① 変更
　「漁船非使用」の欄は、記入漏れが多く調査員が調査客体に確認の上、補正することが多いとの意見が前回調査時にあったことから、冒頭に漁船使用の有無（必須回答項目）を設定し、「有」の場合に漁船の内容を回答することとして、記入漏れを防ぐための変更。

② 字句の修正
　漁船種類ごとの使用の有無と漁船種類ごとの隻数を一体的な項目とし、漏れのない記入を促すための変更。

③ 字句の修正
　レイアウトを変更するため、調査項目順を変更する。

新

①
4　漁業種類
　過去１年間に、湖沼漁業において行った、すべての漁業種類について記入してください。
　また、全国共通漁業種類において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。
②

				営んだものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通漁業種類	網漁業	底びき網・船びき網	251	○	○
		刺網	252	○	○
		定置網	253	○	○
		投網	254	○	○
		その他の網漁業	255	○	○
	その他の漁業	釣・はえ縄	256	○	○
		採貝・採藻	257	○	○
		籠類	258	○	○
		その他の漁業	259	○	○
	養殖業	魚類養殖	260	○	○
		その他の養殖	261	○	○

			営んだものすべてにマーク
地方選定漁業種類			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

旧

①
3　漁業種類
(1)　過去１年間に湖沼漁業において行ったすべての漁業種類を○で囲んでください。
　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。
②

			営んだものすべてに○印	販売金額の一位に○印
231	網漁業	底びき網・船びき網	①	①
232		刺網	①	②
233		定置網	①	③
234		投網	①	④
235		その他の網漁業	①	⑤
236	その他の漁業	釣・はえ縄	①	⑥
237		採貝・採藻	①	⑦
238		籠類	①	⑧
239		その他の漁業	①	⑨
240	養殖業	魚類養殖	①	⑩
241		その他の養殖	①	⑪

(2)　過去１年間に行ったすべての地方選定漁業種類を○で囲んでください。
②

地方選定漁業種類番号			地方選定漁業種類名	○印欄
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①
:	:	:		①

変更理由

①　字句の修正
　レイアウト変更に伴い、番号を変更。

②　変更
　漁業種類に関しての設問を、全国共通及び地方選定についての一体的なものとして統合する。（把握内容に変更なし）
　また、記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

（具体的な地方選定漁業種類については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）

新

①
5　魚種
　過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したものすべてを記入してください。
②　また、全国共通魚種において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

②

				漁獲したものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通魚種	魚類	こい	271	○	○
		ふな	272	○	○
		あゆ	273	○	○
		うぐい・おいかわ	274	○	○
		わかさぎ	275	○	○
		さけ・ます類	276	○	○
		しらうお	277	○	○
		うなぎ	278	○	○
		はぜ類	279	○	○
		その他の魚類	280	○	○
	貝類	しじみ	281	○	○
		その他の貝類	282	○	○
	水産動物類	えび類	283	○	○
		その他の水産動物類	284	○	○
	その他		285	○	○

旧

①
4　魚種
（1）過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したすべてのものを○で囲んでください。
②　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。

②

			営業のすべてに○印	販売金額の一位に○印
251	魚類	こい	①	①
252		ふな	①	②
253		あゆ	①	③
254		うぐい・おいかわ	①	④
255		わかさぎ	①	⑤
256		さけ・ます類	①	⑥
257		しらうお	①	⑦
258		うなぎ	①	⑧
259		はぜ類	①	⑨
260		その他の魚類	①	⑩
261	貝類	しじみ	①	⑪
262		その他の貝類	①	⑫
263	水産動物類	えび類	①	⑬
264		あみ類	①	⑭
265		その他の水産動物類	①	⑮
266	その他		①	⑯

③

変更理由

① 字句の修正
　レイアウト変更に伴い、番号を変更。

② 変更
　漁業種類に関しての設問を、全国共通及び地方選定についての一体的なものとして統合する。（把握内容に変更なし）
　また、記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。
（具体的な地方選定魚種については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）

③ 変更
「水産動物類　あみ類」については、販売金額が１位となる経営体は存在せず、漁獲する経営体も減ってきていることから項目から削除し「その他の水産動物類」に含めるための変更。

新	旧	変更理由
② 漁獲したものすべてにマーク 地方選定魚種 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(2)　過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したすべての地方選定魚種を〇で囲んでください。 ② 地方選定魚種番号　地方選定魚種名　印欄　② ①	
① ６　過去１年間の漁獲物（湖沼養殖の収獲物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、 ②当てはまるもの一つに記入してください。 ③ 販売金額なし　10万円未満　10～30万円未満　30～50万円未満　50～100万円未満　100～300万円未満　300～500万円未満　500～1,000万円未満　1,000万円以上 291　0　0　0　0　0　0　0　0　0 「1,000万円以上」の場合は、金額も記入してください。 ④ 百億　十億　億 292　千万円	① ５　過去１年間の漁獲物（湖沼養殖の収獲物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、 ②当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。 ③ 販売金額なし　10万円未満　10～30万円未満　30～50万円未満　50～100万円未満　100～300万円未満　300～500万円未満　500～1,000万円未満　1,000～2,000万円未満　2,000～5,000万円未満　5,000万～1億円未満　1億円以上 271　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩　⑪　⑫	① 字句の修正 レイアウト変更に伴い、番号を変更。 ② 変更 また、記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ③ 変更 販売金額階層を、2013年漁業センサス結果に基づく実態にあわせるための変更。 ④ 追加 平均金額に関する統計の作成・提供を施策部局だけでなく、一般のユーザーからも求められているものの、記入者における実金額記入に対する忌避感から記入拒否が増え、調査員等における照会作業の負担が増加するものと考えられることから、これまでどおり金額階層を選択する項目設定とするが、販売金額が最上位階層の場合は実額を把握する。 なお、2013年漁業センサスの結果では、全経営体に占める販売金額1,000万円以上の経営体の割合は、7.2%となっている。

新

①
Ⅲ　養殖業

１　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）の養殖業の従事者について、年齢別に実人数を記入してください。②

（人）

		男			女		
計	311						
15～19歳	312						
20～24歳	313						
25～29歳	314						
30～34歳	315						
35～39歳	316						
40～44歳	317						
45～49歳	318						
50～54歳	319						
55～59歳	320						
60～64歳	321						
65～69歳	322						
70～74歳	323						
75歳以上	324						

旧

①
Ⅱ　内水面養殖業

１　過去１年間の養殖業の従業者数を記入してください。②

（人）

		男			女		
301	計						
302	15～19歳						
303	20～24歳						
304	25～29歳						
305	30～34歳						
306	35～39歳						
307	40～44歳						
308	45～49歳						
309	50～54歳						
310	55～59歳						
311	60～64歳						
312	65～69歳						
313	70～74歳						
314	75歳以上						

変更理由

① 字句の修正
調査票内の用語の統一を図るための変更。

② 字句の修正
養殖業のみを行っている記入者に「過去１年間」の期間を明示するとともに、実人数であることを明記し、紛れのない記入を促すための変更。

新

①
2　養殖種類

（1）　過去１年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
　また、全国共通養殖種類において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。　②

③

				施設面積（百万 十万 万 千 百 十（㎡））	使用面積（百万 十万 万 千 百 十（㎡））	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通養殖種類	食用	にじます	331			○
		その他ます類	332			○
		あゆ	333			○
		こい	334			○
		ふな	335			○
		うなぎ	336			○
		すっぽん	337			○
		海水魚種（ひらめ等）	338			○
		その他	339			○
	種苗用	ますぜ類	340			○
		あゆ	341			○
		こい	342			○
		その他	343			○
	観賞用	錦④ごい	344			○
		その他	345			○
	真珠		346			○

旧

①
3　養殖種類

（1）　過去１年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
　そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。　②

③

			施設面積（万 千 百 十（㎡））	うち、使用面積（万 千 百 十（㎡））	販売金額が最も多かったもの一つに○印
331	食用	にじます			○
332		その他ます類			○
333		あゆ			○
334		こい			○
335		ふな			○
336		うなぎ			○
337		すっぽん			○
338		海水魚種(ひらめ等)			○
339		その他			○
340	種苗用	ますぜ類			○
341		あゆ			○
342		こい			○
343		その他			○
344	観賞用	錦④ごい			○
345		きんぎょ			○
346	真珠				○

変更理由

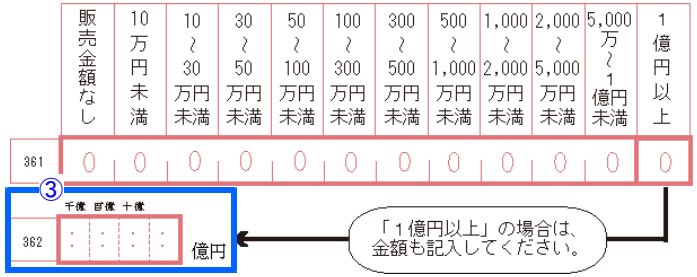
① 字句の修正
　全体的な調査票レイアウトを変更し、番号を変更。

② 字句の修正
　記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

③ 字句の修正
　桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

④ 変更
　本項目設計当時（2003年漁業センサス）は、観賞用の養殖種類は錦ごいときんぎょが太宗を占めていたが、回を重ねる度に、上記２種ではない観賞用の養殖（例：ミドリガメ）についての取扱に関する問い合わせが増え、便宜的に「きんぎょ」に含める整理をしてきたところ。記入者がきんぎょ以外が含まれる実態がわかるように伝えるため「その他」の標記に変更し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

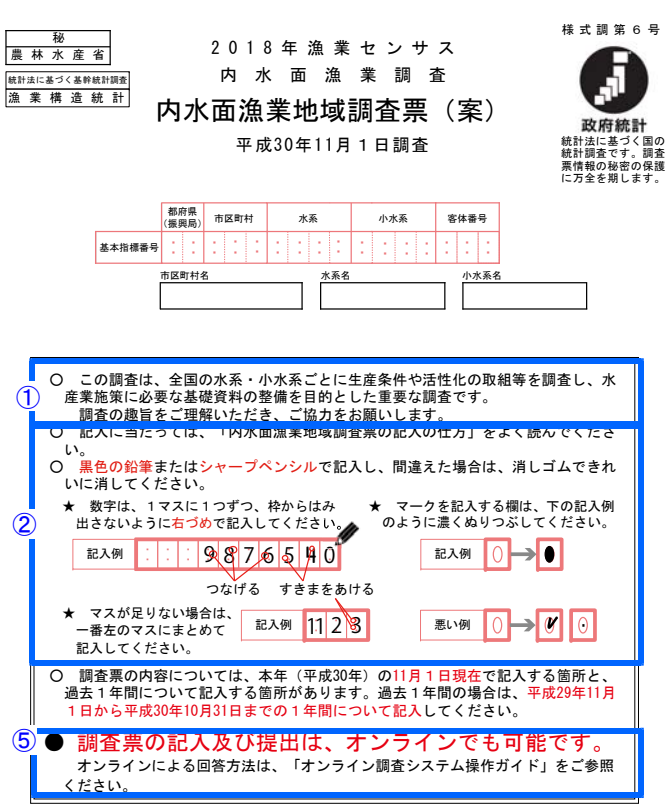
新	旧	変更理由
(2)　過去１年間に養殖した地方選定養殖種類すべてを記入してください。 地方選定養殖種類 ／ 養殖したものすべてにマーク ○	(2)　過去１年間に行ったすべての地方選定養殖種類を○印で囲んでください。 地方選定養殖種類番号 ／ 地方選定養殖種類名 ／ ○印欄 ①	【変更】 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 （具体的な地方選定漁業種類については、2018年漁業センサス実施の前に、2013年漁業センサス時に設定したものから変更について都道府県水産主管課に確認の上、設定する。）
① ３　養殖方法 過去１年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。 また、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。　② ③ 養殖池数（網いけす数、養殖池の区画数）（面）／ 養殖面積（㎡）／ 販売金額が最も多かったものにマーク 池中養殖 止水式 351 ／ 流水式 352 ／ 循環式 353 ／ ため池養殖 354 ／ 網いけす養殖 355 ／ その他養殖 356 ○	① ４　養殖方法 過去１年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。 そのうち、販売金額が最も多かったもの一つを○で囲んでください。　② ③ 養殖池数（網いけす数、養殖池の区画数）（面）／ 養殖面積（㎡）／ 販売金額が最も多かったもの一つに○印 351 池中養殖 止水式 ／ 352 流水式 ／ 353 循環式 ／ 354 ため池養殖 ／ 355 網いけす養殖 ／ 356 その他養殖 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① 字句の修正 全体的な調査票レイアウトを変更し、番号を変更。 ② 字句の修正 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ③ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

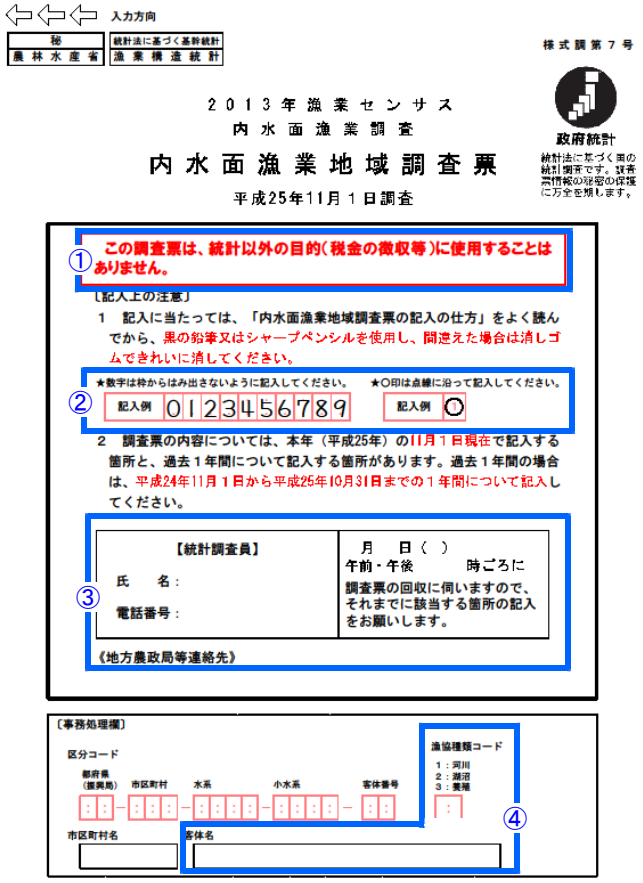
<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>①
4　過去１年間の収獲物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。②
 
</td>
<td>①
2　過去１年間の収獲物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。②
</td>
<td>① 字句の修正
　レイアウト変更に伴い、番号を変更。

② 字句の修正
　記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

③ 追加
　平均金額に関する統計の作成・提供を施策部局だけでなく、一般のユーザーからも求められているものの、記入者における実金額記入に対する忌避感から記入拒否が増え、調査員等における照会作業の負担が増加するものと考えられることから、これまでどおり金額階層を選択する項目設定とするが、販売金額が最上位階層の場合は実額を把握する。
　なお、2013年漁業センサスの結果では、全経営体に占める販売金額１億円以上の経営体の割合は、5.9％となっている。</td>
</tr>
<tr>
<td>（削除）</td>
<td>内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。
記入者：　　電話番号：</td>
<td>【削除】
　客体名簿で管理することとするため。</td>
</tr>
</table>

Ⅶ　内水面漁業調査　内水面漁業地域調査票

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>


</td>
<td>


</td>
<td>
① 字句の修正
利用目的を、記入者により伝わりやすくするための変更。

② 字句の修正
ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。
なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。

③ 削除
別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。

④ 削除
客体名簿で管理することとするため。

⑤ 追加
オンライン調査を導入するため。
</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>Ⅰ　組合員数
11月１日現在の漁業協同組合の正・准組合員数について記入してください。
（人）
万　千　百　十
正　組　合　員　101　：　：　：　：　：
准　組　合　員　102　：　：　：　：　：</td>
<td>Ⅰ　組合員数
11月１日現在の漁業協同組合の正・准組合員数について記入してください。
（人）
101　正　組　合　員　：　：　：　：
102　准　組　合　員　：　：　：　：</td>
<td>【字句の修正】
桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>Ⅱ　生産条件
１　漁場環境
（1）　11月１日現在で漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、当てはまるものすべてに記入してください。
111　堰堤（えんてい）　0　うち、魚道つき　0　魚礁・魚巣ブロック　0　産卵場　0</td>
<td>Ⅱ　生産条件
１　漁場環境
（1）　11月１日現在に漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
111　堰堤（えんてい）　①　うち、魚道つき　①　魚礁・魚巣ブロック　①　産卵場　①</td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>（2）　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業協同組合が行った漁場環境改善への取組について、当てはまるものすべてに記入してください。
①
②
③
121　種苗生産・放流　0　中間育成　0　保護水面の管理　0　産卵場の造成管理　0　魚道の管理　0　魚つき林の造成　0　魚つき林の造成以外の植樹活動　0　河川・湖沼の清掃活動　0</td>
<td>（2）　過去１年間（平成24年11月１日～平成25年10月31日）に漁業協同組合の漁場環境改善への取組について当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
①
②
③
121　種苗生産・放流　①　中間育成　①　保護水面の管理　①　産卵場の造成管理　①　魚道の管理　①　魚つき林の造成　①　魚つき林の造成以外の植樹活動　①　河川・湖沼の清掃活動　①</td>
<td>① 字句の修正
2018年漁業センサス用の調査票とするための変更。
② 字句の修正
記入者に伝わりやすい文章へ変更。
③ 字句の修正
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
</table>

新	旧	変更理由
① (3)　過去１年間に漁業協同組合が生産した種苗の種類について、当てはまるものすべてに記入してください。 ② さけ・ます類：さくらこ性（しろざけ、さくらます、その他）、陸封性（にじます、あまご、やまめ、いわな、その他）、あゆ、こい、ふな、その他 131：○○○○○○○○○○○○	① (3)　過去１年間に漁業協同組合の生産した種苗の種類について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。 ② さけ・ます類：さくらこ性（しろざけ、さくらます、その他）、陸封性（にじます、あまご、やまめ、いわな、その他）、あゆ、こい、ふな、その他 131：①①①①①①①①①①①①	① 字句の修正 記入者に伝わりやすい文章へ変更。 ② 字句の修正 記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。
(4)　過去１年間に漁業協同組合の放流したものについて、数量を記入してください。 ①本年値（億 千万 百万 十万 万 千 百 十 (尾)） ②前回値（平成25年）（億 千万 百万 十万 万 千 百 十 (尾)） さけ・ます類：さくらこ性（しろざけ 141、さくらます 142、その他 143）、陸封性（にじます 144、あまご 145、やまめ 146、いわな 147、その他 148） あゆ 149、こい 150、ふな 151、うなぎ 152、その他の魚類 153 ①わかさぎ卵 154、その他の卵 155（億 千万 百万 十万 万 千 百 十 (粒)） ①貝類 156（千万 万 千 百 十 (kg)） （前回値 十万 万 千 百 十 (kg)）	(4)　過去１年間に漁業協同組合の放流したものについて、数量を記入してください。 ①（百 十 万 万 万 千 百 十 (尾)） 141 さけ・ます類 さくらこ性 しろざけ 142 さけ・ます類 さくらこ性 さくらます 143 さけ・ます類 さくらこ性 その他 144 さけ・ます類 陸封性 にじます 145 さけ・ます類 陸封性 あまご 146 さけ・ます類 陸封性 やまめ 147 さけ・ます類 陸封性 いわな 148 さけ・ます類 陸封性 その他 149 あゆ 150 こい 151 ふな 152 うなぎ 153 その他の魚類 ①（千 百 十 万 万 万 万 千 百 十 (粒)） 154 わかさぎ卵 155 その他の卵 ①（万 千 百 十 (kg)） 156 貝類	① 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。 ② 変更 前回値を参考に、紛れのない回答を促し、記入労力の軽減を図るための変更。

新

2　遊漁の状況　①

（1）　過去１年間における漁業協同組合が発行した遊漁承認証の枚数について、記入してください。

②

				本年値 万 千 百 十（枚）	前回値（平成25年） 万 千 百 十（枚）
遊漁承認証	ます類	年間	171		
		漁期間	172		
		1日	173		
	あゆ	年間	174		
		漁期間	175		
		1日	176		
	こい・ふな類	年間	177		
		漁期間	178		
		1日	179		
	わかさぎ	年間	180		
		漁期間	181		
		1日	182		
	その他	年間	183		
		漁期間	184		
		1日	185		

（2）　過去１年間における漁業協同組合が行った遊漁者への啓発・普及活動の取組について、当てはまるものすべてに記入してください。

①
②

	ポスター、パンフレットの作成	講習会の開催	その他の啓発・普及活動
191	○	○	○

旧

2　遊漁の状況　①

（1）　過去１年間に漁業協同組合の遊漁承認証の発行枚数について記入してください。

		ます類 万 千 百 十（枚）	あゆ 万 千 百 十（枚）	こい・ふな類 万 千 百 十（枚）	わかさぎ 万 千 百 十（枚）	その他 万 千 百 十（枚）
遊漁承認証	年間	171	172	173	174	175
	漁期間	176	177	178	179	180
	1日	181	182	183	184	185

（2）　過去１年間に漁業協同組合の遊漁者への啓発・普及活動の取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

①
②

	ポスター、パンフレットの作成	講習会の開催	その他の啓発・普及活動
191	①	①	①

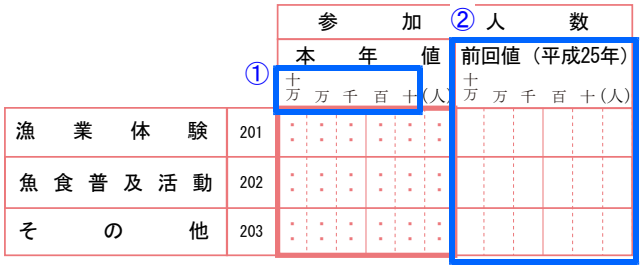
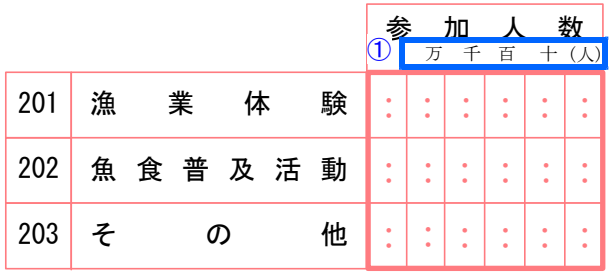
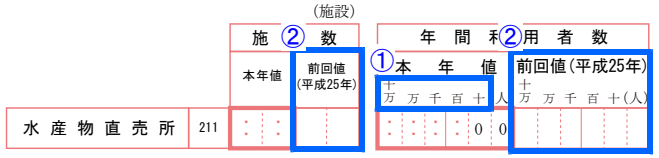
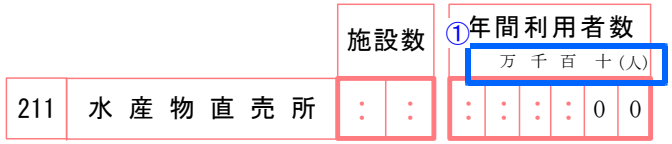
変更理由

① 字句の修正
　記入者に伝わりやすい文章へ変更。

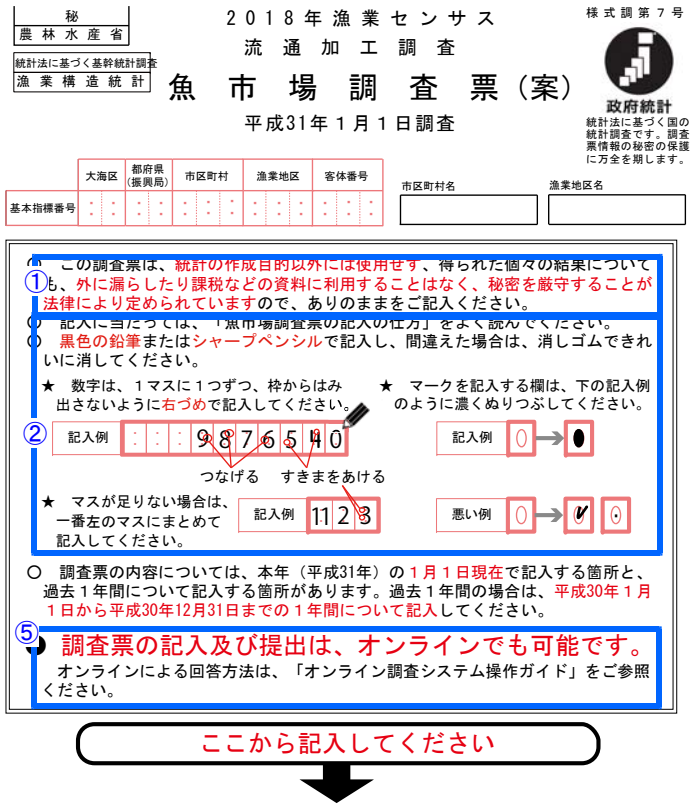
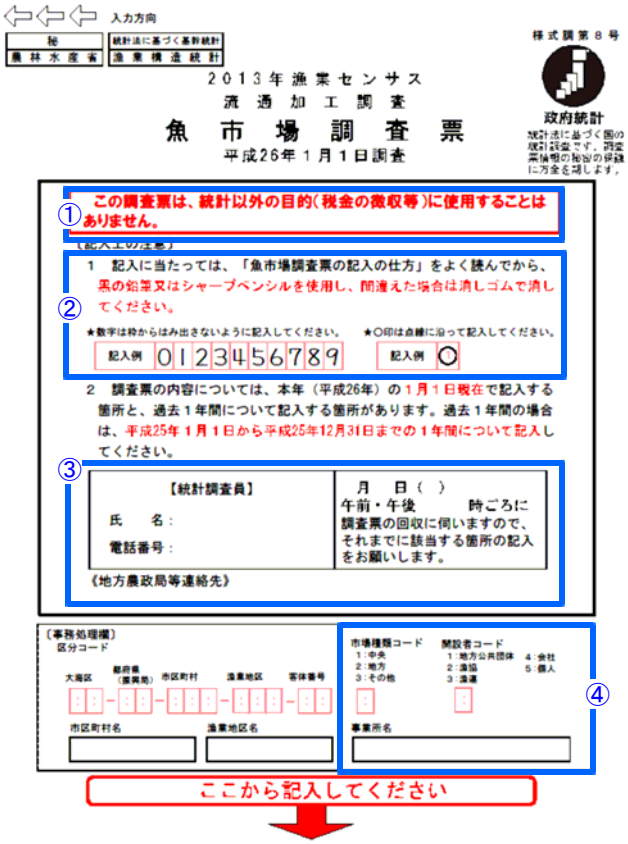
② 変更
　前回値を参考に、紛れのない回答を促し、記入労力の軽減を図るための変更。

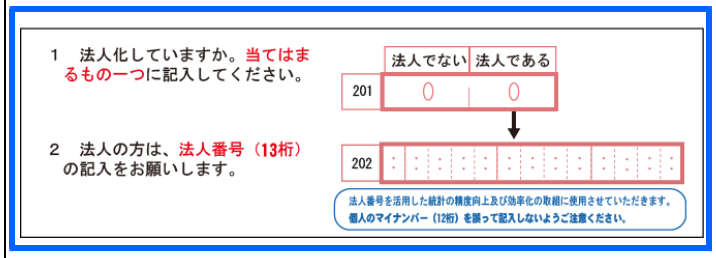
① 字句の修正
　記入者に伝わりやすい文章へ変更。

② 字句の修正
　記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

新	旧	変更理由
Ⅲ　活性化の取組 １　過去１年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。  	Ⅲ　活性化の取組 １　過去１年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。  	① 変更 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。 ② 変更 前回値を参考に、紛れのない回答を促し、記入労力の軽減を図るため。
２　漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去１年間の利用者数（来場者数）について記入してください。  	２　漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去１年間の利用者数（来場者数）について記入してください。  	① 変更 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。 ② 字句の修正 前回値を参考に、紛れのない回答を促し、記入労力の軽減を図るため。
（削除）	内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。 記入者：　　電話番号：	【削除】 客体名簿で管理することとするため。

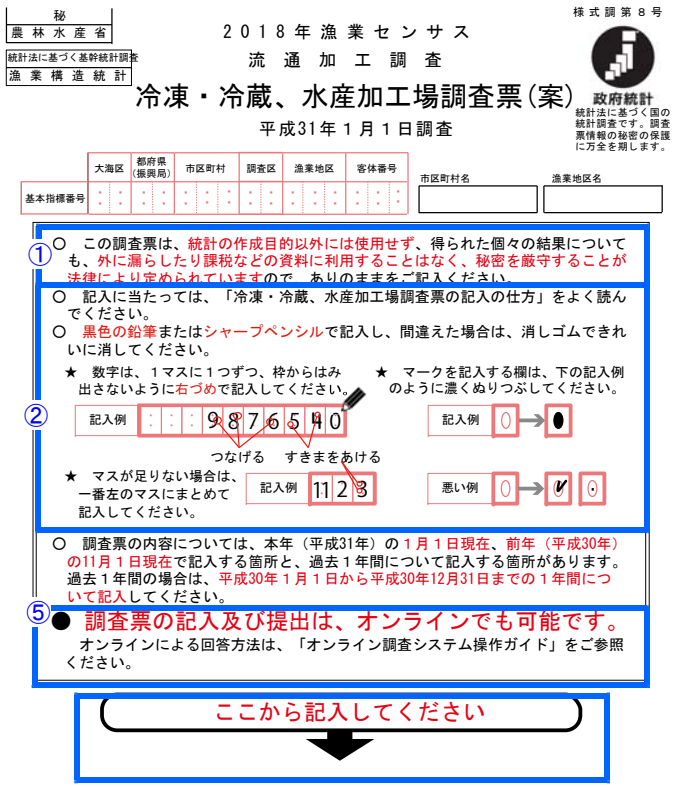
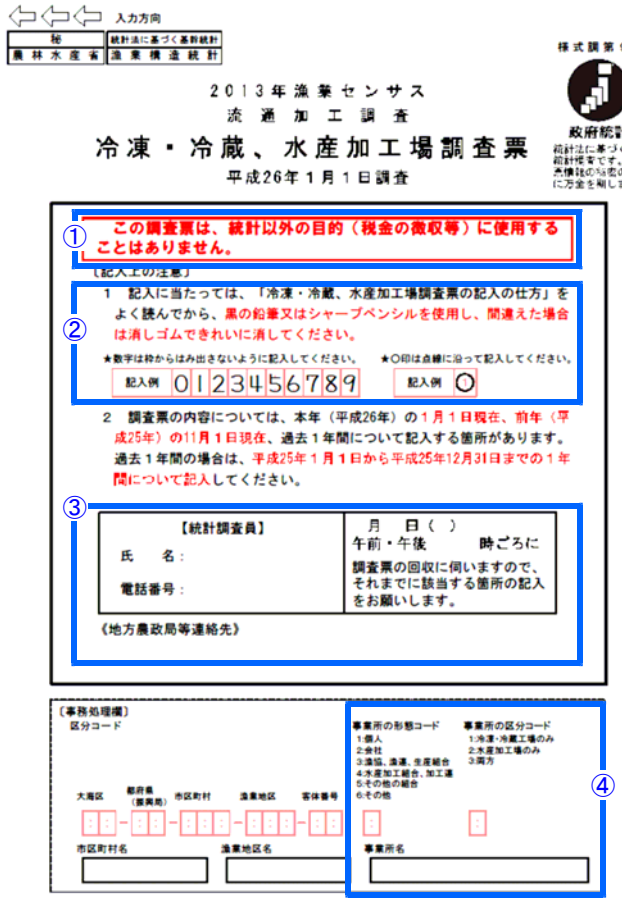
Ⅷ　流通加工調査　魚市場調査票

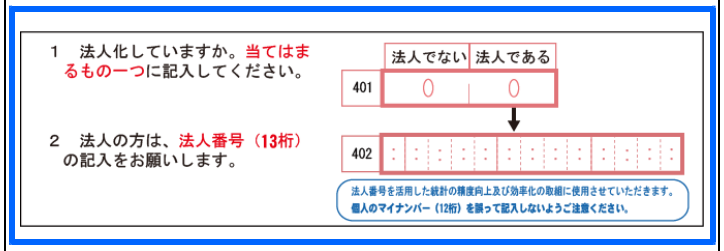
新	旧	変更理由
		① 字句の修正 利用目的を、記入者により伝わりやすくするための変更。 ② 変更 ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。 なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。 ③ 削除 別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。 ④ 削除 客体名簿で管理することとするため。 ⑤ 追加 引き続きオンライン調査に対応するが、オンライン調査の利用率向上を図るため。

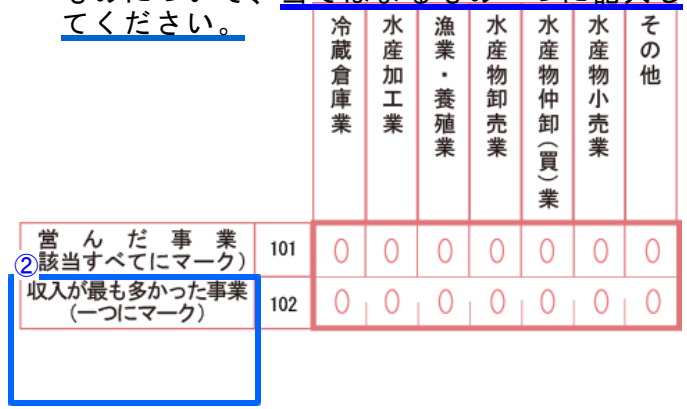
新	旧	変更理由
	（新設）	【追加】 事業所母集団ＤＢに登録することで、将来的に、他の統計調査結果とのリンケージによる統計の作成等が可能となるよう備えるため、法人番号を把握する。
１　魚市場の中で水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入してください。 十万　万　千　百　十　(㎡) 101	１　魚市場の中で水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入してください。 万　千　百　十　(㎡) 101	【字句の修正】 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。
２　１月１日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。 千　百　十（業者） 水産物卸売業者　111 水産物買受人：産地出荷業者　112 水産物買受人：加工業者　113 水産物買受人：その他　114	２　１月１日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。 千　百　十（業者） 111　水産物卸売業者数 112　水産物買受人数	【変更】 「水産物買受人」を「産地出荷業者」、「加工業者」及び「その他」に区分の上、把握し、流通機構の構造把握を充実させることにより、市場の統廃合や買受人の拡大を含む流通機構の改革に向けた方向性の検討に資するための変更。

新	旧	変更理由
３　魚市場における過去１年間（平成30年１月１日から12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額（消費税を含む。）を記入してください。 ① ② ③ 数量（千万 百万 十万 万 千 百 十（トン）） 金額（千億 百億 十億 億 千万 百万 十万（万円）） 総数 ①＋② 121 うち、活魚 122 水揚量 ① 123 搬入量 ② 124 うち、輸入品 125	３　魚市場における過去１年間（平成25年１月１日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額（消費税を含む。）を記入してください。 ① ② ③ （トン）万 千 百 十 121 数量 総数 ①＋② 122 うち、活魚 123 水揚量 ① 124 搬入量 ② 125 うち、輸入品 億 千万 百万 十万 万 千 百 十（円） 126 金額 総額 0 0 0 0 127 うち、活魚 0 0 0 0 128 うち、輸入品 0 0 0 0	① 字句の修正 2018年漁業センサス用の調査票とするための変更。 ② 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。 ③ 変更 取扱数量と同様、取扱金額についても「総数」の内訳となる「水揚量」及び「搬入量」に相当する金額を把握し、流通機構の構造把握を充実させることにより、市場の統廃合や買受人の拡大を含む流通機構の改革に向けた方向性の検討に資する。 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、紛れのない記入を促す。 記入簡素化のため取扱金額にプレプリントしている「０」の表記の仕方を変更し、記入者に対してわかりやすくする。
４　１月１日現在で、魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまるものすべてに記入してください。 海水殺菌装置 / 砕氷・製氷機 / 脱臭装置、排ガス処理装置 / 水産加工機器 / その他 131　○ ○ ○ ○ ○	４　１月１日現在で、魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。 海水殺菌装置 / 砕氷・製氷機 / 脱臭装置、排ガス処理装置 / 水産加工機器 / その他 131　① ① ① ① ①	【字句の修正】 記入しやすい回答方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。
（削除）	内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。 記入者：　　電話番号：	【削除】 客体名簿で管理することとするため。

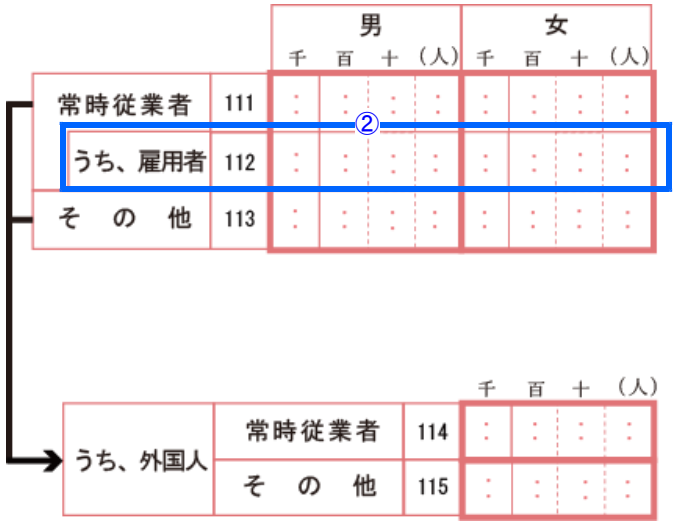
Ⅸ　流通加工調査　冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

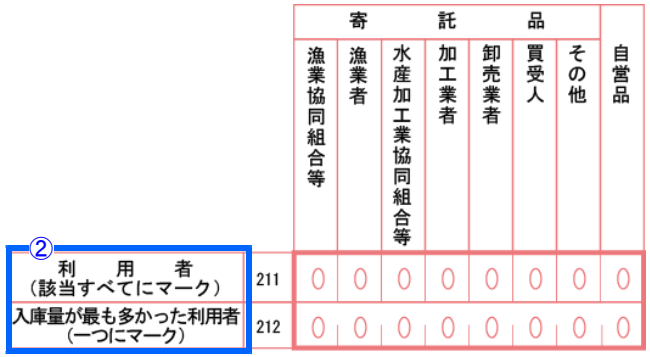
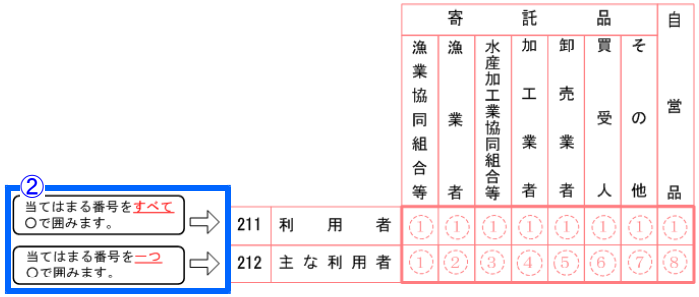
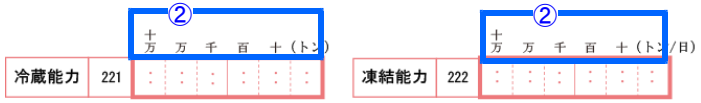
新	旧	変更理由
 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計調査 漁業構造統計 様式調第８号 ２０１８年漁業センサス 流通加工調査 冷凍・冷蔵、水産加工場調査票（案） 平成31年１月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 大海区　都府県（振興局）　市区町村　調査区　漁業地区　客体番号 基本指標番号 市区町村名　漁業地区名 ① ○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。 ○　記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでください。 ○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。 ② ★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。 ★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。 記入例　9 8 7 6 5 4 0 つなげる　すきまをあける 記入例　0 → ● ★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。 記入例　1 1 2 3 悪い例　0 → ✓ ⊙ ○　調査票の内容については、本年（平成31年）の１月１日現在、前年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成30年１月１日から平成30年12月31日までの１年間について記入してください。 ⑤ ●　調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。 オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。 ここから記入してください	 入力方向 秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 漁業構造統計 様式調第９号 ２０１３年漁業センサス 流通加工調査 冷凍・冷蔵、水産加工場調査票 平成26年１月１日調査 政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。 ① この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。 （記入上の注意） ② １　記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでから、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。 ★数字は枠からはみ出さないように記入してください。　★○印は点線に沿って記入してください。 記入例　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9　記入例　○ ２　調査票の内容については、本年（平成26年）の１月１日現在、前年（平成25年）の11月１日現在、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成25年１月１日から平成25年12月31日までの１年間について記入してください。 ③ 【統計調査員】 氏　名： 電話番号： 月　日（　） 午前・午後　時ごろに 調査票の回収に伺いますので、それまでに該当する箇所の記入をお願いします。 （地方農政局等連絡先） （事務処理欄） 区分コード 事業所の形態コード 1.個人 2.会社 3.漁協、漁連、生産組合 4.水産加工組合、加工連 5.その他の組合 6.その他 事業所の区分コード 1.冷凍・冷蔵工場のみ 2.水産加工場のみ 3.両方 ④ 大海区　都府県（振興局）　市区町村　漁業地区　客体番号 市区町村名　漁業地区名　事業所名 -1-	① 字句の修正 利用目的を、記入者により伝わりやすくするための変更。 ② 変更 ＯＣＲ読み取りエラーの少ない記入を促すための変更。 なお、引き続きＯＣＲ対応調査票とするが、該当する場合に○をつける方式から楕円を塗りつぶす方式へ変更し、記入しやすさの向上と読み取りエラーの縮減を図る。 ③ 削除 別途調査対象に配布する協力依頼文に記載することとするため。 ④ 削除 客体名簿で管理することとするため。 ⑤ 追加 引き続きオンライン調査に対応するが、オンライン調査の利用率向上を図るため。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>


</td>
<td>（新設）</td>
<td>【追加】
事業所母集団ＤＢに登録することで、将来的に、他の統計調査結果とのリンケージによる統計の作成等が可能となるよう備えるため、法人番号を把握する。</td>
</tr>
<tr>
<td>Ⅰ　事業所の概要
①
１　過去１年間（平成30年１月１日から平成30年12月31日）に事業所で営んだ事業について当てはまるものすべてに記入してください。
②　また、そのうち事業の収入が最も多かったものについて、当てはまるもの一つに記入してください。
 
</td>
<td>Ⅰ　事業所の概要
①
１　過去１年間（平成25年１月１日～平成25年12月31日）に事業所で営んだ事業について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
②　また、そのうち事業の収入が一番多かったものについて、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。
</td>
<td>① 字句の修正
2018年漁業センサス用の調査票とするための変更。

② 字句の修正
記入しやすい回答方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
</table>

新	旧	変更理由
① ２　平成30年11月１日現在の事業所における従業者数を記入してください。  	① ２　平成25年11月１日現在の事業所における従業者数を記入してください。 	① 字句の修正 2018年漁業センサス用の調査票とするための変更。 ② 追加 従業者の把握については、経営者、雇用者を通じ、「常時従業者」と「その他」に区分して把握してきたが、「統計調査における労働者の区分等に関するガイドライン」の趣旨に準じ、「常時従業者」のうち数として「雇用者」を把握することとし、その定義を本ガイドラインにおける「常用労働者」と同義とすることで、他の統計との比較の可能性向上を図る。
Ⅱ　冷凍・冷蔵工場 １　事業所の冷凍・冷蔵施設の用途について、当てはまるもの一つに記入してください。 	Ⅱ　冷凍・冷蔵工場 １　事業所の冷凍・冷蔵庫の用途について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。 	【字句の修正】 試行調査時に「冷蔵庫」に一般家庭用の冷蔵庫が含まれるのかといった問い合わせがあったため、定義で使用している用語を使用し、記入者の紛れのない記入を促すための変更。 また、記入しやすい回答方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。

新	旧	変更理由
① ２　過去１年間に事業所の冷凍・冷蔵施設を利用した利用者について、当てはまるものすべてに記入してください。② 　また、そのうち入庫量が最も多かった利用者について、当てはまるもの一つに記入してください。②  ② 利用者（該当すべてにマーク） 入庫量が最も多かった利用者（一つにマーク） 211 212 寄託品：漁業協同組合等／漁業者／水産加工業協同組合等／加工業者／卸売業者／買受人／その他 自営品	① ２　過去１年間に事業所の冷凍・冷蔵庫を利用した利用者について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。② 　また、そのうち入庫量が一番多かった利用者について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。②  ② 当てはまる番号をすべて〇で囲みます。 当てはまる番号を一つ〇で囲みます。 211 利用者 212 主な利用者 寄託品：漁業協同組合等／漁業者／水産加工業協同組合等／加工業者／卸売業者／買受人／その他 自営品	① 字句の修正 　試行調査時に「冷蔵庫」に一般家庭用の冷蔵庫が含まれるのかといった問い合わせがあったため、定義で使用している用語を使用し、記入者の紛れのない記入を促すための変更。 ② 字句の修正 　記入しやすい回答方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。
① ３　平成31年１月１日現在の事業所における冷凍・冷蔵施設の冷蔵能力（収容トン数）及び１日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。  ② 冷蔵能力 221 十万 万 千 百 十（トン） 凍結能力 222 十万 万 千 百 十（トン/日）	① ３　事業所の冷凍・冷蔵庫の冷蔵能力（収容トン数）及び１日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。 ② 221 冷蔵能力 万 千 百 十（トン） 222 凍結能力 万 千 百 十（トン/日）	① 字句の修正 　試行調査時に「冷蔵庫」に一般家庭用の冷蔵庫が含まれるのかといった問い合わせがあったため、定義で使用している用語を使用することとするとともに、調査日現在の状態を把握するものであることを明示し、記入者の紛れのない記入を促すための変更。 ② 字句の修正 　桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

新

Ⅲ　水産加工場

１　過去１年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

			301 生産量 千万 百万 十万 万 千 百 十 (kg)
ねり製品	かまぼこ類	1	
	魚肉ハム・ソーセージ類	2	
冷凍食品	魚介類 かに類	3	
	魚介類 その他	4	
	水産物調理食品	5	
素干し品	するめ	6	
	いわし	7	
	その他	8	
塩干品	干しいわし	9	
	干しあじ	10	
	干しさんま	11	
	干しさば	12	
	干しかれい	13	
	干しほっけ	14	
	干しはたはた	15	
	その他	16	

			301 生産量 千万 百万 十万 万 千 百 十 (kg)
煮干し品	煮干しいわし	17	
	しらす干し	18	
	煮干しいかなご・こうなご	19	
	干し貝柱	20	
	その他	21	
塩蔵品	塩蔵いわし	22	
	塩蔵さば	23	
	塩蔵さけ・ます	24	
	塩蔵たら・すけとうだら	25	
	塩蔵さんま	26	
	その他	27	
くん製品		28	
缶・びん詰		29	
寒天		30	
油脂		31	
飼肥料		32	

旧

Ⅲ　水産加工場

１　過去１年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

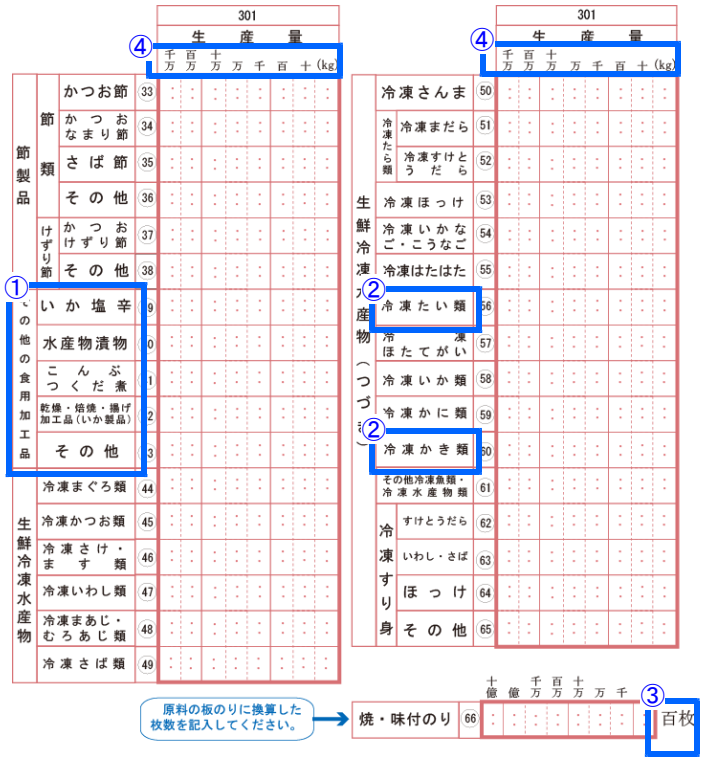
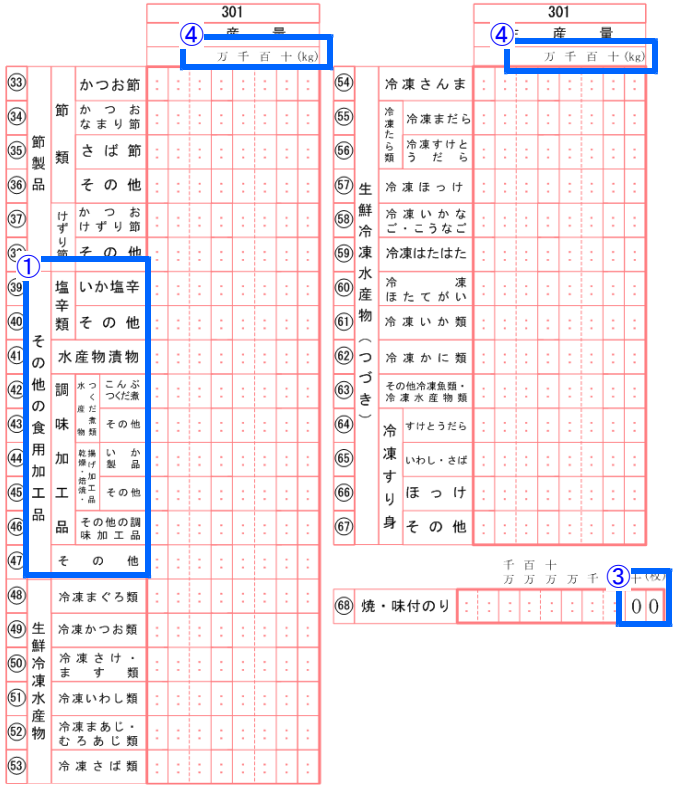
			301 生産量 万 千 百 十 (kg)
① ねり製品	かまぼこ類		
② ねり製品	魚肉ハム・ソーセージ類		
③ 冷凍食品	魚介類 かに類		
④ 冷凍食品	魚介類 その他		
⑤ 冷凍食品	水産物調理食品		
⑥ 素干し品	するめ		
⑦ 素干し品	いわし		
⑧ 素干し品	その他		
⑨ 塩干品	干しいわし		
⑩ 塩干品	干しあじ		
⑪ 塩干品	干しさんま		
⑫ 塩干品	干しさば		
⑬ 塩干品	干しかれい		
⑭ 塩干品	干しほっけ		
⑮ 塩干品	干しはたはた		
⑯ 塩干品	その他		

			301 生産量 万 千 百 十 (kg)
⑰ 煮干し品	煮干しいわし		
⑱ 煮干し品	しらす干し		
⑲ 煮干し品	煮干しいかなご・こうなご		
⑳ 煮干し品	干し貝柱		
㉑ 煮干し品	その他		
㉒ 塩蔵品	塩蔵いわし		
㉓ 塩蔵品	塩蔵さば		
㉔ 塩蔵品	塩蔵さけ・ます		
㉕ 塩蔵品	塩蔵たら・すけとうだら		
㉖ 塩蔵品	塩蔵さんま		
㉗ 塩蔵品	その他		
㉘ くん製品			
㉙ 缶・びん詰			
㉚ 寒天			
㉛ 油脂			
㉜ 飼肥料			

変更理由

【字句の修正】

桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

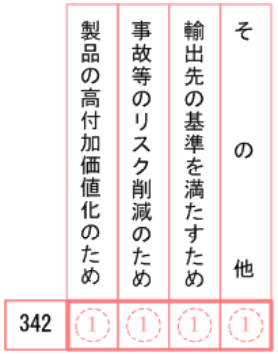
新	旧	変更理由
		① 変更 記入負担の軽減を図る観点から「その他の食用加工品」のうち、「塩辛類」の「その他」、「調味加工品」の「水産物つくだ煮類」の「その他」、「調味加工品」の「乾燥・焙焼・揚げ加工品」の「その他」、「その他の調味加工品」を「その他の食用加工品」の「その他」に分類する。 ② 追加 たい及びかきについては「水産加工業施設改良資金融通臨時措置法」に基づく融資の対象となる魚種に指定されており、その加工品の生産動向の把握が必要なため「生鮮冷凍水産物冷凍たい類」及び「生鮮冷凍水産物冷凍かき類」を水産加工品目に追加。 ③ 字句の修正 記入者に対してわかりやすくするため、「焼・味付けのり」の「00」を「百枚」に変更。 ④ 字句の修正 桁数の多い数値の記入欄には桁を最大桁まで示し、記入者に対して紛れのない記入を促すための変更。

新	旧	変更理由
2　過去１年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記１の番号①～66から一つ選んで記入してください。 年間販売金額第１位の水産加工品の種類　311　：　：	2　過去１年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記１の番号①～68から一つ選んで記入してください。 311　年間販売金額第１位の水産加工品の種類　：　：	【字句の修正】 調査品目数の変更に伴い番号を変更。
3　過去１年間の事業所における水産加工品の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。 ① 321　100万円未満　100～500万円未満　500～1,000万円未満　1,000～5,000万円未満　5,000万円～1億円未満　1～5億円未満　5～10億円未満　10億円以上 0　0　0　0　0　0　0　0 ②「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。 322　千億　百億　十億　（億円） ：　：　：　：	3　過去１年間の事業所における水産加工品の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。 ① 321　100万円未満　100～500万円未満　500～1,000万円未満　1,000～5,000万円未満　5,000万円～1億円未満　1～5億円未満　5～10億円未満　10億円以上 ①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧	① 字句の修正 記入しやすい回答方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。 ② 追加 平均金額に関する統計の作成・提供を施策部局だけでなく、一般のユーザーからも求められているものの、記入者における実金額記入に対する忌避感から記入拒否が増え、調査員等における照会作業の負担が増加するものと考えられることから、これまでどおり金額階層を選択する項目設定とするが、販売金額が最上位階層の場合は実額を把握する。 なお、2013年漁業センサスの結果では、全事業所に占める販売金額10億円以上の割合は、8.2%となっている。
4　過去１年間の事業所における水産加工品の出荷先について、当てはまるものすべてに記入してください。 331　国内向け：漁協、加工協等の組合　加工業者　流通業者　小売業者　外食産業・給食業者等　卸売市場・荷さばき所　自家販売・直売所　その他　海外向け（輸出） 0　0　0　0　0　0　0　0　0	（新設）	【追加】 水産加工品の輸出対策及び流通施策の取組の促進に資するため、水産加工品の輸出を含む具体的な流通先の実態を把握する。

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr>
<td>①
5　過去１年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について
（1）　原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、当てはまるもの一つに記入してください。　②
<table><tr><th></th><th>すべて国産</th><th>70%以上</th><th>50～70%未満</th><th>30～50%未満</th><th>30%未満</th><th>すべて輸入</th></tr><tr><td>341</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td>
<td>①
4　過去１年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について
（1）　原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。　②
<table><tr><th></th><th>すべて国産</th><th>70%以上</th><th>50～70%未満</th><th>30～50%未満</th><th>30%未満</th><th>すべて輸入</th></tr><tr><td>331</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr></table></td>
<td>① 字句の修正
上記の項目追加に伴い、番号を変更。

② 字句の修正
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
<tr>
<td>（2）　事業所における国産原材料の仕入先について、当てはまるものすべてに記入してください。
<table><tr><th></th><th>漁業者</th><th>漁業協同組合</th><th>その他</th></tr><tr><td>342</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td>
<td>（2）　事業所における国産原材料の仕入先について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
<table><tr><th></th><th>漁業者</th><th>漁業協同組合</th><th>その他</th></tr><tr><td>332</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr></table></td>
<td>【字句の修正】
記入しやすい方式に変更することに伴い、記入方法に関する説明を対応させるための変更。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th><th>変更理由</th></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>５　製品製造の工程管理内容について
（1）　１月１日現在で、事業所におけるＨＡＣＣＰ手法の導入状況について当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。（国や業界団体等による第三者認証の他、取引先による二者間認証やＨＡＣＣＰ手法の導入について自己宣言している場合も含めます。）

</td><td rowspan="2">【削除】
水産物の輸出に際して、相手国から求められるＨＡＣＣＰの導入についての現状把握とともに施策の効果検証に活用されてきたが、農林水産省食料産業局所管の「食品製造業におけるＨＡＣＣＰの導入状況実態調査」（一般統計）において水産食料品製造業者を含む食品製造業者のＨＡＣＣＰの導入状況等の実態を把握していることから、本調査においては削除する。</td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>（2）　ＨＡＣＣＰ手法を導入している（導入を決定している。）理由について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
 
</td></tr>
<tr><td>（削除）</td><td>内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。
記入者：　　電話番号：</td><td>【削除】
客体名簿で管理することとするため。</td></tr>
</table>

漁業センサスの必要性等について

１　調査の目的・必要性

漁業センサスは、戦後の我が国の漁業復興下において第一次漁業センサスが1949年（昭和24年）に実施されて以来、５年毎に実施している。

漁業センサスは、我が国漁業の生産構造、就業構造及び漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を明らかにするとともに、我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料の整備及び各種水産統計調査の母集団を整備することを目的とする統計法（平成19年法律第53号）第２条第４項第３号に規定される基幹統計（漁業構造統計）を作成するための基幹統計調査である。

具体的な利活用は以下のとおり。

① 「漁業法」（昭和24年法律第267号）に基づく漁業調整委員会等交付金の算定基礎として利用

② 「地方交付税法」（昭和25年法律第211号）に基づく普通交付税の算定基礎として利用

③ 「水産基本法」（平成13年法律第89号）に基づく新たな水産基本計画策定の際の基礎資料として利用

④ 水産白書作成の際の基礎資料としての利用及び白書データによる長期的動向の整理

⑤ 農林水産省の税制改正要望事項を取りまとめる際の基礎資料として利用

⑥ 水産行政の推進に必要な基礎資料として利用

２　他調査との重複

本調査は、漁業経営体や水産加工場を調査対象とした、漁業の生産構造や就業構造などの水産業の実態を把握しているものである。

漁業経営体や水産加工場を対象とした統計調査としては、本調査の他に海面漁業生産統計調査（基幹統計）、内水面漁業生産統計調査、漁業経営調査、漁業就業動向調査、水産加工統計調査があるが、それぞれの調査内容は以下のとおりであり、本調査との重複はない。

〇海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査・・・漁獲量を把握

〇漁業経営調査・・・漁業経営体の経営収支を把握

〇漁業就業動向調査・・・（漁業センサス実施年次は休止）海面漁業の就業構造を把握

〇水産加工統計調査・・・（漁業センサス実施年次は休止）水産加工品の生産量を把握

３　行政記録情報の利活用

事業所・企業母集団データベース、指定漁業の許可に関する名簿及びうなぎ養殖業許可名簿を客体候補名簿補正に利用するとともに、漁船法（昭和25年法律第178号）第10条第２項に基づき都道府県が保有している漁船登録データがあるが、これを地方自治体の判断で新規客体把握を補完する情報として活用する。

４　事業所母集団データベースを利用した重複排除等

本調査はすべての漁業経営体等を対象とした全数調査であることから、重複排除については実施しない。

なお、団体経営体、魚市場、水産加工場並びに冷凍及び冷蔵施設を営む事業所の調査結果名簿データベース登録については、平成31年９月末までに行う予定である。

別添1

2018年漁業センサス 調査票(案)

海面漁業調査	漁業経営体調査票Ⅰ(個人経営体用)	1
海面漁業調査	漁業経営体調査票Ⅱ(団体経営体用)	11
海面漁業調査	海面漁業地域調査票	23
内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票Ⅰ(個人経営体用)	27
内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票Ⅱ(団体経営体用)	37
内水面漁業調査	内水面漁業地域調査票	45
流通加工調査	魚市場調査票	51
流通加工調査	冷凍・冷蔵、水産加工場調査票	53

0	1	0	1

様式調第１号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

２０１８年漁業センサス

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅰ（案）
（個人経営体用）

平成30年11月１日調査

	大海区	都府県（振興局）	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号							

市区町村名	漁業地区名	漁業集落名

○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。

○　記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。

○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

悪い例　○ → ✓ ⊙

○　調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。

●　**調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

Ⅰ　世帯について

1　漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成15年10月31日までに生まれた人）のうち、過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業を行った人をもれなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については、記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

①続柄番号
01：経営主
02：経営主の配偶者
03：子（満 15 歳以上）
04：子の配偶者
05：経営主の父母
06：経営主の配偶者の父母
07：兄弟姉妹
08：祖父母
09：孫（満 15 歳以上）
10：孫の配偶者
11：その他（上記以外）

	経営主との続柄		性別		出生の年月							過去					
			男	女	該当する元号と出生の年月を記入							自家漁業の従事日数（自家漁業の陸上作業を含みます。）			うち、自家漁業の海上作業日数		
	①		②		③							④			⑤		
	続柄番号を記入		いずれかにマーク		大正	昭和	平成	年		月		日数を記入（日）					
731	0	1	0	0	0	0	0										
732			0	0	0	0	0										
733			0	0	0	0	0										
734			0	0	0	0	0										
735			0	0	0	0	0										
736			0	0	0	0	0										
737			0	0	0	0	0										
738			0	0	0	0	0										

海上作業日数の数え方
- １日のうちに２回以上出漁しても１日と数えます。
- １航海が１夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は１日とします。
- ２夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含みません。

2　世帯としての収入

世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		711	0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった		0
	自家漁業以外の収入が多かった（不動産による収入を含み、年金は含みません。）		0

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

1年間にした仕事													経営主とともに経営方針の決定に関わっている
自家漁業の海上作業日数が多かった漁業種類			10月下旬に行った自家漁業の海上作業	自家漁業の陸上作業	過去1年以内に漁業を始めた人	うち、今年の3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多かった仕事	日数が多かった方	
												自家漁業	他の仕事	
1位	2位	3位												
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱		⑲
全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク								下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク		該当にマーク
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	0
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	0
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	0
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	0
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	0
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	0
1 : :	1 : :	1 : :	0	0	0	0	0	0	0	0	:	0	0	0

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

⑰日数が最も多かった仕事
1：自家漁業
2：自家漁業以外の自営業
3：共同経営の漁業の仕事
4：雇われて漁業の仕事
5：雇われて漁業以外の仕事

過去1年間で次のいずれかの決定に参画した方（経営主を除く）に記入してください。
・漁業種類の選定・操業計画
・養殖種類の選定・規模
・出荷先
・資金調達
・漁船装備・養殖施設などの投資
・雇用の決定・管理

3　自家漁業の後継者の有無

当てはまるものに記入してください。

	いる	いない
721	0	0

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
調査日現在（11月1日）、自家漁業を行っていなくてもかまいません。

Ⅱ　自家漁業に雇った人

1　海上作業に雇った人数

(1)　11月1日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、項目ごとにその人数を記入してください。

海上作業に雇った人がいない	201	0
海上作業に雇った人がいる		0

	日本人	うち、過去1年以内に漁業を始めた人	外国人
	①	②	③
	千 百 十（人）	千 百 十（人）	千 百 十（人）
211			

雇った日本人のうち、30日以上海上作業を行った人を年齢別に記入

ここでは2ページの世帯員ではなく「雇った人数」を記入してください。

(2)　(1)の日本人のうち、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。

（人）

		男	女
計	221		
15～19歳	222		
20～24歳	223		
25～29歳	224		
30～34歳	225		
35～39歳	226		
40～44歳	227		
45～49歳	228		
50～54歳	229		
55～59歳	230		
60～64歳	231		
65～69歳	232		
70～74歳	233		
75歳以上	234		

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。
- 新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む。）
- 他の仕事が主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）

2　陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

		千 百 十（人）
計	241	
男	242	
女	243	

Ⅲ　漁船

1　過去１年間に漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。（借りた漁船を含みます。）

また、漁業に使用した漁船のうち、11 月１日現在で持っている隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。

漁船を使用していない	301	0
漁船を使用した		0

使用していない場合は６ページへ進んでください。

		使用した漁船をすべてマーク	11 月１日現在で持っている漁船（隻）
無動力漁船	302	0	
船外機付漁船	303	0	
動力漁船	304	0	

１台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、１隻を船外機付漁船としてください。

2　動力漁船【動力漁船についてのみ１隻ごとに記入してください。】

	過去１年間に使用した漁船（借りた漁船を含みます。）			11 月１日現在で持っている漁船（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）							
	総トン数（小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。）	11 月１日現在 持っている	11 月１日現在 持っていない	過去１年間の出漁日数	出漁日数が多かった漁業種類 １位	出漁日数が多かった漁業種類 ２位	出漁日数が多かった漁業種類 ３位	販売金額が多かった漁業種類 １位	販売金額が多かった漁業種類 ２位	販売金額が多かった漁業種類 ３位
	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	千 百 十（トン）小数点	いずれかにマーク		それぞれの漁船ごとに日数を記入（日）	全国漁業種類番号を記入					
401		0	0		1	1	1	1	1	1
402		0	0		1	1	1	1	1	1
403		0	0		1	1	1	1	1	1
404		0	0		1	1	1	1	1	1
405		0	0		1	1	1	1	1	1
406		0	0		1	1	1	1	1	1
407		0	0		1	1	1	1	1	1
408		0	0		1	1	1	1	1	1
409		0	0		1	1	1	1	1	1
410		0	0		1	1	1	1	1	1

平成 30 年 11 月１日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「持っている」に記入してください。

６ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

海上作業日数の数え方

- １日のうちに２回以上出漁しても１日と数えます。
- １航海が１夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は１日とします。
- ２夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含みません。

Ⅳ　漁業経営について

1　営んだ漁業種類

(1)　過去１年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類について記入してください。

《網漁業》

		全国漁業種類番号	営んだものすべてにマーク
底びき網	遠洋底びき網	101	○
	以西底びき網	102	○
	沖合底びき網１そうびき	103	○
	沖合底びき網２そうびき	104	○
	小型底びき網	105	○
船びき網		106	○
まき網	大中型まき網 1そうまき遠洋かつお・まぐろ	107	○
	大中型まき網 1そうまき近海かつお・まぐろ	108	○
	大中型まき網 1そうまきその他	109	○
	大中型まき網 2そうまき	110	○
	中・小型まき網	111	○
刺網	さけ・ます流し網	112	○
	かじき等流し網	113	○
	その他の刺網	114	○
さんま棒受網		115	○
大型定置網		116	○
さけ定置網		117	○
小型定置網		118	○
その他の網漁業		119	○

《はえ縄・釣り・その他漁業》

		全国漁業種類番号	営んだものすべてにマーク
はえ縄	遠洋まぐろはえ縄	120	○
	近海まぐろはえ縄	121	○
	沿岸まぐろはえ縄	122	○
	その他のはえ縄	123	○
釣	遠洋かつお一本釣	124	○
	近海かつお一本釣	125	○
	沿岸かつお一本釣	126	○
	遠洋いか釣	127	○
	近海いか釣	128	○
	沿岸いか釣	129	○
	ひき縄釣	130	○
	その他の釣	131	○
小型捕鯨		132	○
潜水器漁業		133	○
採貝・採藻		134	○
その他の漁業		135	○

《海面養殖（種苗養殖含む）》

		全国漁業種類番号	営んだものすべてにマーク
魚類養殖	ぎんざけ養殖	136	○
	ぶり類養殖	137	○
	まだい養殖	138	○
	ひらめ養殖	139	○
	とらふぐ養殖	140	○
	くろまぐろ養殖	141	○
	その他の魚類養殖	142	○
ほたてがい養殖		143	○
かき類養殖		144	○
その他の貝類養殖		145	○
くるまえび養殖		146	○
ほや類養殖		147	○
その他の水産動物類養殖		148	○
こんぶ類養殖		149	○
わかめ類養殖		150	○
のり類養殖		151	○
その他の海藻類養殖		152	○
真珠養殖		153	○
真珠母貝養殖		154	○

３ページⅠの１「漁業を行った人」、５ページⅢの２「動力漁船」及びⅣの７ページ１の(2)「年間販売金額が多かった全国漁業種類番号」については、本ページの「全国漁業種類番号」を使用してください。

(2) 過去１年間に自家漁業で行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に３つを(1) の全国漁業種類番号 101 ～ 154 から選んで記入してください。

	１位	２位	３位
	161	162	163
年間販売金額が多かった全国漁業種類番号	1	1	1

６ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

(3) 過去１年間の漁獲物・収獲物について、魚種別の販売金額の多かった順に３つを下表の魚種番号 01 ～ 36 から選んで記入してください。

	１位	２位	３位
	171	172	173
年間販売金額が多かった魚種番号			

表　魚種番号

名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号
くろまぐろ	01	ひらめ・かれい類	10	いかなご	19	ほたてがい	28
かつお・まぐろ類（くろまぐろを除く）	02	すけとうだら	11	ふぐ類	20	その他の貝類	29
かじき類	03	その他たら類	12	その他の魚類	21	いか類	30
さけ・ます類	04	ほっけ	13	いせえび	22	たこ類	31
いわし類	05	あなご類	14	その他のえび類	23	うに類	32
あじ類	06	たちうお	15	ずわいがに・べにずわいがに	24	なまこ類	33
さば類	07	たい類	16	その他のかに類	25	こんぶ類	34
さんま	08	いさき	17	あわび類・さざえ	26	その他の海藻類	35
ぶり類	09	さわら類	18	あさり類	27	その他	36

2　地方選定漁業種類について

過去１年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、そのすべての漁業種類について記入してください。

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定漁業種類 種類名	番号	該当にマーク
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

地方選定漁業種類 種類名	番号	該当にマーク
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

地方選定漁業種類 種類名	番号	該当にマーク
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

海面養殖を行っていない場合は、次ページへ進んでください。

0108

3　海面養殖業

陸上に設置した水槽に海水を入れ養殖をする場合は、海面養殖に含めます。

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

借りている施設の面積も含めます。

		養殖場の施設面積（百万 十万 万 千 百 十（㎡））	うち、使用している面積（百万 十万 万 千 百 十（㎡））
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
うち、陸上水槽	515		
うち、とらふぐ	516		
うち、陸上水槽	517		
うち、くろまぐろ	518		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア　いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。

		万 千 百 十（台）
台　数	521	

		万 千 百 十（㎡）
平均面積	522	

イ　はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（m）
523	

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア　いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。

		百万 十万 万 千 百 十（台）
台　数	531	

		百万 十万 万 千 百 十（㎡）
平均面積	532	

イ　はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（m）
533	

ウ　地まき式、そだひび式

養殖している養殖場の面積を記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（㎡）
534	

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って種糸を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（m）
541	

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含みません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

	百万 十万 万 千 百 十（㎡）
551	

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

	百万 十万 万 千 百 十（台）
561	

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

	百万 十万 万 千 百 十（台）
562	

4　過去１年間の漁獲物・収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしに記入してください。

		販売金額なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000～5,000万円未満	5,000万～1億円未満	1～2億円未満	2～5億円未満	5～10億円未満	10億円以上
販売金額	571	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち、海面養殖	572	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

		千億	百億	十億	（億円）
販売金額	573				
うち、海面養殖	574				

5　過去１年間のすべての漁獲物・収獲物の出荷先に記入してください。
また、出荷額の最も多かった出荷先一つに記入してください。

		漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者・生協	外食産業	消費者に直接販売 自営の水産物直売所	消費者に直接販売 その他の水産物直売所	消費者に直接販売 他の方法	その他
出荷先（該当すべてにマーク）	581	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出荷額の最も多かった出荷先（一つにマーク）	582	0	0	0	0	0	0			0

消費者に直接販売には、自ら生産した水産物又はそれを使用した加工品を消費者に直接販売しているものが該当します。
自営の水産物直売所には、自らが運営する直売所が該当します。
その他の水産物直売所には、共同で運営している直売所又は他の人が運営している直売所が該当します。
他の方法には、移動販売（行商）等のほか、インターネットや電話等により消費者から直接受注し、販売した場合が該当します。

Ⅴ　漁業以外の事業について

過去１年間に行った漁業以外の事業について、当てはまるものすべてに記入してください。
また、漁家民宿の過去１年間の延べ宿泊者数を記入してください。

	行っていない	水産物の加工	漁家民宿	漁家レストラン	遊漁船業	農業	小売業	その他
591	0	0	0	0	0	0	0	0

漁家民宿の延べ宿泊者数

	万	千	百	十	（人）
592					

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

0	2	0	1

様式調第２号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

２０１８年漁業センサス

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅱ(案)
(団体経営体用)

平成30年11月１日調査

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	大海区	都府県(振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号							

市区町村名　　漁業地区名　　漁業集落名

○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。

○　記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。

○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

悪い例　○ → ✔　⊙

○　調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。

● **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

調査員がチェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。

☐「会社」の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～10ページ

☐「共同経営」の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～９ページ

☐「漁業協同組合」「漁業生産組合」「その他」の方・・・・・・・・・・３～９ページ

会社の方が記入してください

会－Ⅰ　事業所の概要

1　本所・支所の区分と会社の種類
それぞれ当てはまるもの一つに記入してください。

	本所・支所の区分			会社の種類	
	単独事業所	本所・本社	支所・支社	株　式	その他
801	0	0	0	0	0

特例有限会社（旧制度の有限会社を含む。）は、株式会社に含みます。

2　11月１日現在の従業者数
漁業と漁業以外も含めたすべての従業者数を記入してください。
（本所・本社の場合は、支社・支所を含めた従業者数ではなく、本所・本社のみの従業者数を記入してください。）

	千	百	十	（人）
802				

次のページへ

共同経営の方が記入してください

共－Ⅰ　共同経営について

共同経営とは、２経営体（法人を含みます。）以上で、漁船、漁網等の主要生産手段を共有し、共同で漁業経営を行うことをいいます。

1　出資金
現物出資を除く出資金について、当てはまるもの一つに記入してください。

	出資金なし又は現物出資のみ	10万円未満	10～30万円未満	30～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～3,000万円未満	3,000万円以上
831	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

現物出資とは、漁船や漁網などの持ち寄りをいいます。

2　出資者の人数
出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。

	千	百	十	（人）
832				

次のページへ

すべての方

1　法人化していますか。当てはまるもの一つに記入してください。

	法人でない	法人である
851	0	0

2　法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

852													

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようにご注意ください。

Ⅰ　漁業の従事者

1　漁業に従事した責任のある者

過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業に従事した人のうち、海上作業や陸上作業に責任のある者（役員（支配人や代理を委任された者を含む。）に限る。）について記入してください。

本欄に記入するのは、経営主のほか、役員のうち、過去１年間に漁業（管理業務を含む。）に従事した者のみです。役員会に出席するだけの方は、記入する必要はありません。

	経営主	海上作業において責任のある者（役員に限る）					陸上作業において責任のある者（役員に限る）	性別		出生の年月					漁業従事日数（陸上作業を含みます。）	うち、海上作業日数	海上作業日数が多かった漁業種類			10月下旬に海上作業に従事	陸上作業に従事
		漁ろう長	船長	機関長	養殖場長	その他		男	女	該当する元号と年月を記入							１位	２位	３位		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨					⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
	該当するすべてにマーク							いずれかにマーク		大正	昭和	平成	年	月	（日）	（日）	全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク	
601	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
602	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
603	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
604	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
605	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
606	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
607	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
608	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
609	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0
610	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0	0

海上作業日数の数え方
- １日のうちに２回以上出漁しても１日と数えます。
- １航海が１夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は１日とします。
- ２夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含みません。

６ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

2　海上作業に雇った人（３ページの「１　漁業に従事した責任のある者」に記入した者を除く。）

(1)　11月１日現在の海上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、項目ごとにその人数を記入してください。

海上作業に雇った人がいない	201	0
海上作業に雇った人がいる		0

	日本人	うち、過去1年以内に漁業を始めた人	外国人
	①	②	③
	千 百 十（人）	千 百 十（人）	千 百 十（人）
211			

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した人で、以下のいずれかに該当する人です。
- 新たに漁業を始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた人を含む。）
- 他の仕事が主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）

(1)の日本人のうち、役職以外の者で、30日以上海上作業を行った人を年齢別に記入

(1)の日本人のうち、役職の者について記入

(3)　(1)の日本人のうち、(2)の役職以外の者について、過去１年間に30日以上海上作業を行った人数を年齢別に記入してください。

（人）

		男	女
計	221		
15～19歳	222		
20～24歳	223		
25～29歳	224		
30～34歳	225		
35～39歳	226		
40～44歳	227		
45～49歳	228		
50～54歳	229		
55～59歳	230		
60～64歳	231		
65～69歳	232		
70～74歳	233		
75歳以上	234		

(2)　(1)の日本人のうち、役職（漁ろう長、船長、機関長、養殖場長）の者（雇用に限る。）について記入してください。

	役職 漁ろう長	船長	機関長	養殖場長	性別 男	女	出生の年月					漁業従事日数（陸上作業を含みます。）	うち、海上作業日数	海上作業日数が多かった漁業種類 1位	2位	3位	陸上作業に従事
							該当する元号と年月を記入										
	①	②	③	④	⑤		⑥					⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	該当するすべてにマーク				いずれかにマーク		大正	昭和	平成	年	月	（日）	（日）	全国漁業種類番号を記入			該当にマーク
651	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0
652	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0
653	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0
654	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0
655	0	0	0	0	0	0	0	0	0					1	1	1	0

６ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

3　陸上作業に雇った人数

過去１年間の漁業の陸上作業について、最盛期に雇った人数を記入してください。

		千 百 十（人）
計	241	
男	242	
女	243	

Ⅱ　漁船

1　過去１年間に漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。（借りた漁船を含みます。）
　また、漁業に使用した漁船のうち、11 月１日現在で保有している隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。

漁船を使用していない	301	0
漁船を使用した		0

使用していない場合は６ページへ進んでください。

		使用した漁船をすべてマーク	11月1日現在で保有している漁船（隻）
無動力漁船	302	0	
船外機付漁船	303	0	
動力漁船	304	0	

１台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、１隻を船外機付漁船としてください。

2　動力漁船【動力漁船についてのみ１隻ごとに記入してください。】

	過去１年間に使用した漁船（借りた漁船を含みます。）			11 月１日現在で保有している漁船（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）							
	総トン数（小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。）	11 月１日現在		過去１年間の出漁日数	出漁日数が多かった漁業種類			販売金額が多かった漁業種類			
		保有している	保有していない		１位	２位	３位	１位	２位	３位	
	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	千　百　十（トン）　小数点	いずれかにマーク		それぞれの漁船ごとに日数を記入（日）	全国漁業種類番号を記入						
401		0	0		1	1	1	1	1	1	
402		0	0		1	1	1	1	1	1	
403		0	0		1	1	1	1	1	1	
404		0	0		1	1	1	1	1	1	
405		0	0		1	1	1	1	1	1	
406		0	0		1	1	1	1	1	1	
407		0	0		1	1	1	1	1	1	
408		0	0		1	1	1	1	1	1	
409		0	0		1	1	1	1	1	1	
410		0	0		1	1	1	1	1	1	

平成 30 年 11 月１日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「保有している」に記入してください。

６ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

海上作業日数の数え方
- １日のうちに２回以上出漁しても１日と数えます。
- １航海が１夜の場合（夕方出港し、翌朝入港した場合）は１日とします。
- ２夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含みません。

Ⅲ　漁業経営について

1　営んだ漁業種類

(1)　過去１年間に行った、すべての漁業種類について記入してください。

《網漁業》

		全国漁業種類番号	営んだものすべてにマーク
底びき網	遠洋底びき網	101	○
	以西底びき網	102	○
	沖合底びき網１そうびき	103	○
	沖合底びき網２そうびき	104	○
	小型底びき網	105	○
船びき網		106	○
まき網	大中型まき網 1そうまき遠洋かつお・まぐろ	107	○
	大中型まき網 1そうまき近海かつお・まぐろ	108	○
	大中型まき網 1そうまきその他	109	○
	大中型まき網 2そうまき	110	○
	中・小型まき網	111	○
刺網	さけ・ます流し網	112	○
	かじき等流し網	113	○
	その他の刺網	114	○
さんま棒受網		115	○
大型定置網		116	○
さけ定置網		117	○
小型定置網		118	○
その他の網漁業		119	○

《はえ縄・釣り・その他漁業》

		全国漁業種類番号	営んだものすべてにマーク
はえ縄	遠洋まぐろはえ縄	120	○
	近海まぐろはえ縄	121	○
	沿岸まぐろはえ縄	122	○
	その他のはえ縄	123	○
釣	遠洋かつお一本釣	124	○
	近海かつお一本釣	125	○
	沿岸かつお一本釣	126	○
	遠洋いか釣	127	○
	近海いか釣	128	○
	沿岸いか釣	129	○
	ひき縄釣	130	○
	その他の釣	131	○
小型捕鯨		132	○
潜水器漁業		133	○
採貝・採藻		134	○
その他の漁業		135	○

《海面養殖（種苗養殖含む）》

		全国漁業種類番号	営んだものすべてにマーク
魚類養殖	ぎんざけ養殖	136	○
	ぶり類養殖	137	○
	まだい養殖	138	○
	ひらめ養殖	139	○
	とらふぐ養殖	140	○
	くろまぐろ養殖	141	○
	その他の魚類養殖	142	○
ほたてがい養殖		143	○
かき類養殖		144	○
その他の貝類養殖		145	○
くるまえび養殖		146	○
ほや類養殖		147	○
その他の水産動物類養殖		148	○
こんぶ類養殖		149	○
わかめ類養殖		150	○
のり類養殖		151	○
その他の海藻類養殖		152	○
真珠養殖		153	○
真珠母貝養殖		154	○

３ページⅠの１「漁業に従事した責任のある者」、４ページⅠの２の(2)「役職の者」、５ページⅡの２「動力漁船」及び７ページⅢの１の(2)「年間販売金額が多かった全国漁業種類番号」については、本ページの「全国漁業種類番号」を使用してください。

(2) 過去１年間に行ったすべての漁業種類のうち、販売金額の多かった順に３つを (1) の全国漁業種類番号 101 ～ 154 から選んで記入してください。

	１位	２位	３位
	161	162	163
年間販売金額が多かった全国漁業種類番号	1	1	1

６ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

(3) 過去１年間の漁獲物・収獲物について、魚種別の販売金額の多かった順に３つを下表の魚種番号 01 ～ 36 から選んで記入してください。

	１位	２位	３位
	171	172	173
年間販売金額が多かった魚種番号			

表　魚種番号

名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号
くろまぐろ	01	ひらめ・かれい類	10	いかなご	19	ほたてがい	28
かつお・まぐろ類（くろまぐろを除く）	02	すけとうだら	11	ふぐ類	20	その他の貝類	29
かじき類	03	その他たら類	12	その他の魚類	21	いか類	30
さけ・ます類	04	ほっけ	13	いせえび	22	たこ類	31
いわし類	05	あなご類	14	その他のえび類	23	うに類	32
あじ類	06	たちうお	15	ずわいがに・べにずわいがに	24	なまこ類	33
さば類	07	たい類	16	その他のかに類	25	こんぶ類	34
さんま	08	いさき	17	あわび類・さざえ	26	その他の海藻類	35
ぶり類	09	さわら類	18	あさり類	27	その他	36

２　地方選定漁業種類について

過去１年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、そのすべての漁業種類について記入してください。

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定漁業種類		該当にマーク
種類名	番号	
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

地方選定漁業種類		該当にマーク
種類名	番号	
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

地方選定漁業種類		該当にマーク
種類名	番号	
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

海面養殖を行っていない場合は、次ページへ進んでください。

0208

3　海面養殖業

陸上に設置した水槽に海水を入れ養殖をする場合は、海面養殖に含めます。

11 月 1 日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

借りている施設の面積も含めます。

		養殖場の施設面積（百万 十万 万 千 百 十（㎡））	うち、使用している面積（百万 十万 万 千 百 十（㎡））
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
うち、陸上水槽	515		
うち、とらふぐ	516		
うち、陸上水槽	517		
うち、くろまぐろ	518		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア　いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と１台の平均面積を記入してください。

		万 千 百 十（台）
台　数	521	

		万 千 百 十（㎡）
平均面積	522	

イ　はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（m）
523	

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア　いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と１台の平均面積を記入してください。

		百万 十万 万 千 百 十（台）
台　数	531	

		百万 十万 万 千 百 十（㎡）
平均面積	532	

イ　はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（m）
533	

ウ　地まき式、そだひび式

養殖している養殖場の面積を記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（㎡）
534	

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って種糸を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

	百万 十万 万 千 百 十（m）
541	

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含みません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても１枚の網ひびの面積としてください。）

	百万 十万 万 千 百 十（㎡）
551	

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご 100 つりを１台としてください。）

	百万 十万 万 千 百 十（台）
561	

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご 100 つりを１台としてください。）

	百万 十万 万 千 百 十（台）
562	

4　過去１年間の漁獲物・収獲物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしを記入してください。

		販売金額なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000～5,000万円未満	5,000万～1億円未満	1～2億円未満	2～5億円未満	5～10億円未満	10億円以上
販売金額	571	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち、海面養殖	572	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

	千億	百億	十億	（億円）
573				
574				

5　過去１年間のすべての漁獲物・収獲物の出荷先に記入してください。
また、出荷額の最も多かった出荷先一つに記入してください。

		漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者・生協	外食産業	消費者に直接販売			その他
							自営の水産物直売所	その他の水産物直売所	他の方法	
出荷先（該当すべてにマーク）	581	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出荷額の最も多かった出荷先（一つにマーク）	582	0	0	0	0	0	0			0

消費者に直接販売には、自ら生産した水産物又はそれを使用した加工品を消費者に直接販売しているものが該当します。
自営の水産物直売所には、自らが運営する直売所が該当します。
その他の水産物直売所には、共同で運営している直売所又は他の人が運営している直売所が該当します。
他の方法には、移動販売（行商）等のほか、インターネットや電話等により消費者から直接受注し、販売した場合が該当します。

Ⅳ　漁業以外の事業について

過去１年間に行った漁業以外の事業について、当てはまるものすべてに記入してください。
また、漁家民宿の過去１年間の延べ宿泊者数を記入してください。

	行っていない	水産物の加工	漁家民宿	漁家レストラン	遊漁船業	農業	小売業	その他
591	0	0	0	0	0	0	0	0

	漁家民宿の延べ宿泊者数 万	千	百	十	（人）
592					

「会社」以外の方の調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
「会社」の方は次ページへ。

「会社」の方で２ページの本所・支所の区分が「本所・本社」及び「単独事業所」の場合に記入してください。

会－Ⅱ　支所・支社も含めた会社全体について

1　支所・支社も含めた会社全体の従業者数

支所・支社も含めた会社全体の従業者数を記入してください。

		十万	万	千	百	十	（人）
計	803						
常時従業者	804						
うち、雇用者	805						
その他	806						

常時従業者とは、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している者及び研修生を含まない、次の①～③に該当する者をいいます。

① 個人事業主及び無給の家族従事者

② 有給の役員（役員報酬の賃金・給与体系の者）

③ 雇用者（賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人）

・役員の肩書きがあるものの、役員報酬ではなく、雇用者と同じ賃金・給与体系の者

・期間を定めずに従事している者

・１か月以上の期間を定めて従事している者

・出向・派遣受入者

雇用者とは、常時従業者のうち③の「雇用者」に該当する者をいいます。

その他とは、常時従業者以外の従業者をいいます。

・１か月未満の期間を定めて雇用されている人

・日々雇用（日雇い）されている人、など

2　資本金

当てはまるもの一つに記入してください。

（株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまるもの一つに記入してください。）

	100万円未満	100～200万円未満	200～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～3,000万円未満	3,000～5,000万円未満	5,000万～1億円未満	1～10億円未満	10億円以上
807	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3　漁業の専業・兼業

(1)　過去１年間に行った事業が漁業のみの場合は「専業」、他の事業も行った場合は「兼業」に記入してください。

	兼業	専業
808	0	0

本所・本社の場合

漁業専業で単独事業所の場合はここで終わりです。

4　事業別の子会社数

事業別に子会社数を記入してください。

（会社）

漁業		821		
製造業	水産加工業	822		
	その他	823		
卸売･小売業、飲食業		824		
サービス業		825		
その他	冷蔵倉庫業	826		
	その他	827		

(2)　過去１年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまるもの一つに記入してください。

	25%未満	25～50%未満	50～75%未満	75%以上
809	0	0	0	0

(3)　過去１年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

			事業所の数	販売金額が最も多かったもの一つにマーク
製造業	水産加工業	811		0
	その他	812		0
卸売･小売業、飲食業		813		0
サービス業		814		0
その他	冷蔵倉庫業	815		0
	その他	816		0

(4)　自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。（寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数）

（工場）

817	

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

0	3	0	1

様式調第３号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

２０１８年漁業センサス

海面漁業調査

海面漁業地域調査票（案）

平成30年11月１日調査

	大海区	都府県（振興局）	市区町村	漁業地区	客体番号
基本指標番号					

市区町村名

漁業地区名

○　この調査は、全国の漁業地区の資源管理・漁場改善の取組や活性化の取組等を調査し、水産業施策に必要な基礎資料の整備を目的とした重要な調査です。
　調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

○　記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでください。

○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

悪い例　○ → ✓　⊙

○　調査票の内容については、過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）について記入してください。

● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

漁業地区とは、市区町村の区域内において、共通の漁業条件及び共同漁業権を中心とした地先漁業の利用等に係る社会経済活動の共通性に基づいて漁業が行われる地区をいいます。

0302

Ⅰ　資源管理・漁場改善の取組

1　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業地区において漁業協同組合がその他）に記入してください。

	名称 ［資源管理計画や漁場改善計画は、計画の名称、自主的な取組は、組織の名称を記入してください。］	取組区分			参加漁業経営体数	対象とした漁業資源																
						魚類						えび類		かに類		貝類				その他の水産動		
		資源管理計画	漁場改善計画	その他		さけ・ます類	ひらめ	かれい類	たい類 まだい	たい類 その他のたい類	その他の魚類	いせえび	その他のえび類	がざみ類	その他のかに類	あわび類	さざえ	あさり類	その他の貝類	いか類	たこ類	うに類
		①			②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
	名称を記入	いずれか一つにマーク			参加経営体数を記入	該当するすべてにマーク																
101		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
102		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
103		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
104		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
105		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
109		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
110		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
111		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
112		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
113		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
114		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
115		○	○	○	：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2　過去１年間に漁業地区において漁業協同組合が遊漁関係団体と連携した取組を行った場合は、当てはまるものすべてに記入してください。

取組あり	201	○
取組なし		○

行った資源管理・漁場改善の取組について、取組ごと（資源管理計画、漁場改善計画、

				実施した措置																							
他の物類		海藻類		漁業資源の管理			漁場の保全・管理						漁獲の管理														
													法制度による規制								法制度を上回る自主規制						
なまこ類	その他の水産動物類	こんぶ類	その他の海藻類	漁獲（採捕・収獲）枠の設定	漁業資源の増殖	その他	漁場の保全	藻場・干潟の維持管理	薬品等の不使用の取組	漁場の造成	漁場利用の取決め	その他	漁法（養殖方法）の規制	漁船の使用規制	漁具の規制	漁期の規制	出漁日数、操業時間の規制	漁獲（採捕、収獲）サイズの規制	漁獲量（採捕量、収獲量）の規制	その他	漁法（養殖方法）の規制	漁船の使用規制	漁具の規制	漁期の規制	出漁日数、操業時間の規制	漁獲（採捕、収獲）サイズの規制	漁獲量（採捕量、収獲量）の規制	その他
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽
				該当するすべてにマーク																							
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

202	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

取組を行っていない場合は、次ページへ進んでください。

Ⅱ　漁業地区の会合・集会等の開催状況

過去１年間に漁業協同組合本所・支所が関係する会合・集会等が開催されましたか。
開催があった場合は、「ある（回数）」欄に開催回数を記入し、その議題について、当てはまるものすべてに記入してください。

会合・集会等の開催（いずれかに記入）	
なし	ある（回数）
301	302
○	

会合・集会等の開催があった場合

会合・集会等の開催がなかった場合は次に進んでください

会合・集会等の議題（該当するものすべてにマーク）							
企業参入（漁業権の問題を含む）	特定区画漁業権・共同漁業権の変更	漁業権放棄	漁業補償	地元地区の共用財産・共有施設の管理	自然環境の保全	地元地区の行事（祭り・イベント等）	その他
303	304	305	306	307	308	309	310
○	○	○	○	○	○	○	○

Ⅲ　活性化の取組

１　過去１年間に漁業協同組合本所・支所が関係する活動のうち、当該漁業地区で実施したものすべてに記入してください。

関係する活動（該当するものすべてにマーク）					
新規漁業就業者・後継者を確保する取組	ゴミ（漂着・漂流・海底）の清掃活動	６次産業化への取組	ブルー・ツーリズムの取組	水産に関する伝統的な祭り・文化・芸能の保存	その他の各種イベントの開催
311	312	313	314	315	316
○	○	○	○	○	○

２　過去１年間に漁業協同組合本所・支所が行った都市との交流活動の取組のうち、当該漁業地区で実施した取組の参加人数を記入してください。

		参加人数（人）
漁業体験	321	
魚食普及活動	322	
その他	323	

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合については、それぞれに同じ人数を記入してください。

３　漁業協同組合の運営する水産物直売所のうち、当該漁業地区の施設数及び過去１年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		施設数（施設）	年間利用者数（人）
水産物直売所	331		00

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

0401

様式調第４号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

２０１８年漁業センサス

内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅰ（案）

（個人経営体用）

平成30年11月１日調査

	都府県（振興局）	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号						

市区町村名

漁業地域名

○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。

○　記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。

○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

悪い例　○ → ✓ ⊙

○　調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。

● **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

チェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。

- □ 湖沼漁業（採捕）のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・２～６ページ
- □ 養殖業のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～３、７～９ページ
- □ 湖沼漁業と養殖業を行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・・２～９ページ

Ⅰ　世帯について

1　漁業を行った人

満 15 歳以上の世帯員（平成 15 年 10 月 31 日までに生まれた人）のうち、過去 1 年間（平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日）に漁業を行った人をもれなく記入してください。

住居を異にしており、生計を共にしていない人や、住居は共にしているが、生計を共にしていない人については、記入しないでください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

①続柄番号

01：経営主
02：経営主の配偶者
03：子（満 15 歳以上）
04：子の配偶者
05：経営主の父母
06：経営主の配偶者の父母
07：兄弟姉妹
08：祖父母
09：孫（満 15 歳以上）
10：孫の配偶者
11：その他（上記以外）

	経営主との続柄		性別		出生の年月						
			男	女	該当する元号と出生の年月を記入						
	①		②		③						
	続柄番号を記入		いずれかにマーク		大正	昭和	平成	年		月	
731	0	1	0	0	0	0	0	:	:	:	:
732	:	:	0	0	0	0	0	:	:	:	:
733	:	:	0	0	0	0	0	:	:	:	:
734	:	:	0	0	0	0	0	:	:	:	:
735	:	:	0	0	0	0	0	:	:	:	:
736	:	:	0	0	0	0	0	:	:	:	:
737	:	:	0	0	0	0	0	:	:	:	:
738	:	:	0	0	0	0	0	:	:	:	:

4ページ上部に記載された湖沼において、自家漁業（採捕又は養殖）をされている方は、湖沼漁業欄を記入してください。
また、自家において内水面養殖をされている方は、養殖業欄を記入してください。

湖上作業：漁船の航行、漁ろう作業、定置網の網の張り立て、採貝・採藻、湖沼養殖にかかる作業等
陸上作業：真珠養殖の施術作業、貝のむき身作業、漁船・漁網等の修理、出荷、経理・計算事務等

養殖業の作業：給餌、選別、養殖池の管理、出荷、経理・計算事務等、養殖にかかるすべての作業

2　世帯としての収入

世帯としての収入は、自家漁業と自家漁業以外の仕事でどちらが多かったですか。当てはまるものに記入してください。

自家漁業の収入のみ		711	0
自家漁業以外の収入があった	自家漁業の収入が多かった		0
	自家漁業以外の収入が多かった（不動産による収入を含み、年金は含みません）		0

自家漁業には、共同経営や雇われは含みません。

過去1年間にした仕事												経営主とともに経営方針の決定に関わっている
自家漁業			自家の湖上作業と養殖業の作業日数	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	過去1年以内に漁業を始めた人	日数が最も多かった仕事	日数がかった方		
湖沼漁業		養殖業								自家漁業	他の仕事	
湖上作業	陸上作業											
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮
該当するすべてにマーク			該当する人に日数を記入（日）	該当するすべてにマーク					下の当てはまる番号を記入	いずれかにマーク		該当にマーク
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	0
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	0
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	0
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	0
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	0
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	0
0	0	0	： ： ：	0	0	0	0	0	：	0	0	0

過去1年間で次のいずれかの決定に参画した方（経営主を除く）に記入してください。
- 漁業種類の選定・操業計画
- 養殖種類の選定・規模
- 出荷先
- 資金調達
- 漁船装備・養殖施設などの投資
- 雇用の決定・管理

⑬日数が最も多かった仕事
1：自家漁業
2：自家漁業以外の自営業
3：共同経営の漁業の仕事
4：雇われて漁業の仕事
5：雇われて漁業以外の仕事

作業日数の数え方
- １日のうちに２回以上出漁しても１日と数えます。
- １日のうち湖上作業と養殖業の両方の作業を行っても１日と数えます。
- なお、海面及び河川の漁業は含みません。

3　自家漁業の後継者の有無

当てはまるものに記入してください。

	いる	いない
721	0	0

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。現在、自家漁業を行っていなくてもかまいません。

Ⅱ　湖沼漁業

以下の湖沼において、漁業（採捕又は養殖）を行っている場合は、このページから記入してください。

大沼　小沼　蓴菜沼　朱鞠内湖　パンケ沼　クッチャロ湖　ポロ湖　能取湖
網走湖　濤沸湖　藻琴湖　洞爺湖　火散布沼　塘路湖　阿寒湖　トーサムポロ湖

1　過去１年間に湖上作業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、実人数を年齢別に記入してください。

湖上作業に雇った人がいない	201	0
湖上作業に雇った人がいる		0

雇った人がいる場合
湖上作業に雇った人を年齢別に記入

ここでは２ページの世帯員ではなく「雇った人数」を記入してください。

湖上作業に雇った人とは、漁船の航行、漁ろう作業、定置網の網の張り立て、採貝・採藻、湖沼養殖にかかる作業等のために雇った人をいいます。

（人）

		男			女		
計	211						
15～19歳	212						
20～24歳	213						
25～29歳	214						
30～34歳	215						
35～39歳	216						
40～44歳	217						
45～49歳	218						
50～54歳	219						
55～59歳	220						
60～64歳	221						
65～69歳	222						
70～74歳	223						
75歳以上	224						

2　過去１年間に湖上作業を行った日数を記入してください。

湖上作業を行った日数の数え方

- 世帯員又は雇用者が１人で湖上作業を行った場合は、その日数を記入します。
- １日のうちに、２人以上の世帯員及び雇用者が、一緒又は別々に湖上作業を行っても１日と数えます。

（日）

231	

3　漁船

過去１年間に湖沼漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。（借りた漁船を含みます。）

また、湖沼漁業に使用した漁船のうち、平成30年11月１日現在で持っている隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。

漁船を使用していない	241	○
漁船を使用した		○

１台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、１隻を船外機付漁船としてください。

		使用した漁船をすべてマーク	使用した動力漁船の合計トン数を記入（トン）	11月１日現在で持っている漁船の隻数（隻）
無動力漁船	242	○		
船外機付漁船	243	○		
動力漁船	244	○	．．．

5　魚種

過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したものすべてを記入してください。
また、全国共通魚種において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

				漁獲したものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通魚種	魚類	こい	271	○	○
		ふな	272	○	○
		あゆ	273	○	○
		うぐい・おいかわ	274	○	○
		わかさぎ	275	○	○
		さけ・ます類	276	○	○
		しらうお	277	○	○
		うなぎ	278	○	○
		はぜ類	279	○	○
		その他の魚類	280	○	○
	貝類	しじみ	281	○	○
		その他の貝類	282	○	○
	水産動物類	えび類	283	○	○
		その他の水産動物類	284	○	○
	その他		285	○	○

地方選定魚種が記載されていない場合、マークは不要です。

		漁獲したものすべてにマーク
地方選定魚種		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○
		○

6　過去１年間の漁獲物（湖沼養殖の収獲物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

	販売金額なし	10万円未満	10～30万円未満	30～50万円未満	50～100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000万円以上
291	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「1,000万円以上」の場合は、金額も記入してください。

	百億	十億	億	
292				千万円

養殖業を行った方は、次のページへ

養殖業を行っていない方は、ここで終了です。
ご協力ありがとうございました。

Ⅲ　養殖業

湖沼又はその他の内水面において、養殖を行っている場合は記入してください。

1　過去１年間に養殖業に雇った人の有無を記入してください。雇った人がいる場合は、実人数を年齢別に記入してください。

養殖業に雇った人がいない	301	0
養殖業に雇った人がいる		0

雇った人がいる場合
養殖業に雇った人を年齢別に記入

ここでは２ページの世帯員ではなく「雇った人数」を記入してください。

養殖業に雇った人とは、給餌、選別、養殖池の管理、出荷、経理・計算事務等、養殖にかかるすべての作業のために雇った人をいいます。

（人）

		男	女
計	311		
15～19歳	312		
20～24歳	313		
25～29歳	314		
30～34歳	315		
35～39歳	316		
40～44歳	317		
45～49歳	318		
50～54歳	319		
55～59歳	320		
60～64歳	321		
65～69歳	322		
70～74歳	323		
75歳以上	324		

2　養殖種類

(1)　過去１年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
また、全国共通養殖種類において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

面積の単位換

1町＝約 10,000 ㎡　　1坪＝約 3.3 ㎡
1反＝約 1,000 ㎡　　1アール＝100 ㎡
1畝＝約 100 ㎡

				施設面積 (㎡) 百万 十万 万 千 百 十	使用面積 (㎡) 百万 十万 万 千 百 十	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通養殖種類	食用	にじます	331			○
		その他ます類	332			○
		あゆ	333			○
		こい	334			○
		ふな	335			○
		うなぎ	336			○
		すっぽん	337			○
		海水魚種（ひらめ等）	338			○
		その他	339			○
	種苗用	ます類	340			○
		あゆ	341			○
		こい	342			○
		その他	343			○
	観賞用	錦ごい	344			○
		その他	345			○
	真珠		346			○

「観賞用その他」には、「きんぎょ」、「めだか」や「みどりがめ」等の「錦ごい」以外の観賞用のものが含まれます。

(2)　過去１年間に養殖した地方選定養殖種類すべてを記入してください。

地方選定養殖種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定養殖種類			養殖したものすべてにマーク
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

3　養殖方法

過去１年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。
また、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

			養殖池数（網いけす数、養殖池の区画数） 百　十（面）	養殖面積 百万　十万　万　千　百　十（㎡）	販売金額が最も多かったものにマーク
池中養殖	止水式	351			○
池中養殖	流水式	352			○
池中養殖	循環式	353			○
ため池養殖		354			○
網いけす養殖		355			○
その他養殖		356			○

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

【 面積の記入の注意 】

施設面積については、所有（借入を含む。）するすべての養殖施設面積を記入してください。

養殖面積については、**施設面積**のうち、養成池、稚魚池、収獲時の補助池等、魚類の放養が可能な養殖池の面積を記入してください。
（水質浄化用の沈殿池や濾過池等は除きます。）

使用面積については、**養殖面積**のうち、通常使用している（魚類を放養している。）面積を記入してください。

4　過去１年間の収獲物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

	販売金額なし	10万円未満	10～30万円未満	30～50万円未満	50～100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000～5,000万円未満	5,000万～1億円未満	1億円以上
361	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	千億	百億	十億	
362				億円

「１億円以上」の場合は、金額も記入してください。

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

0	5	0	1

様式調第５号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

２０１８年漁業センサス

内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅱ（案）

（団体経営体用）

平成30年11月１日調査

	都府県（振興局）	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号
基本指標番号						

市区町村名

漁業地域名

○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。

○　記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでください。

○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

悪い例　○ → ✓ ⊙

○　調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。

● **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

チェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。

- □ 湖沼漁業（採捕）のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・２～６ページ
- □ 養殖業のみを行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～３、７～９ページ
- □ 湖沼漁業と養殖業を行っている方・・・・・・・・・・・・・・・・・２～９ページ

Ⅰ　共通

1　法人化していますか。当てはまるもの一つに記入してください。

	法人でない	法人である
801	0	0

法人の場合

2　法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

802

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

Ⅱ　湖沼漁業

以下の湖沼において、漁業（採捕又は養殖）を行っている場合は、このページから記入してください。

大沼　小沼　蓴菜沼　朱鞠内湖　パンケ沼　クッチャロ湖　ポロ湖　能取湖
網走湖　濤沸湖　藻琴湖　洞爺湖　火散布沼　塘路湖　阿寒湖　トーサムポロ湖

1　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）の湖上作業の従事者について、年齢別に実人数を記入してください。

（人）

		男	女
計	211		
15～19歳	212		
20～24歳	213		
25～29歳	214		
30～34歳	215		
35～39歳	216		
40～44歳	217		
45～49歳	218		
50～54歳	219		
55～59歳	220		
60～64歳	221		
65～69歳	222		
70～74歳	223		
75歳以上	224		

湖上作業の従事者とは、漁船の航行、漁労作業、定置網の網の張り立て、採貝・採藻、湖沼養殖にかかる作業等を行った者をいいます。

2　過去１年間に湖上作業を行った日数を記入してください。

（日）

231

3　漁船

過去１年間に湖沼漁業に使用した漁船について、当てはまるものすべてを記入してください。（借りた漁船を含みます。）

また、湖沼漁業に使用した漁船のうち、平成30年11月１日現在で保有している隻数（借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。）を記入してください。

漁船を使用していない	241	○
漁船を使用した		○

		使用した漁船をすべてマーク	使用した動力漁船の合計トン数を記入（トン）	11月１日現在で保有している漁船の隻数（隻）
無動力漁船	242	○		： ：
船外機付漁船	243	○		： ：
動力漁船	244	○	： ： ．：	： ：

小数第１位まで記入し、小数第２位を切り下げてください。

小数点

１台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、１隻を船外機付漁船としてください。

平成30年11月１日現在において所有、借入れに関係なく、自らが管理運営している漁船については、「保有している」に記入してください。

4　漁業種類

過去１年間に、湖沼漁業において行った、すべての漁業種類について記入してください。

また、全国共通漁業種類において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

				営んだものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通漁業種類	網漁業	底びき網・船びき網	251	○	○
		刺網	252	○	○
		定置網	253	○	○
		投網	254	○	○
		その他の網漁業	255	○	○
	その他の漁業	釣・はえ縄	256	○	○
		採貝・採藻	257	○	○
		籠類	258	○	○
		その他の漁業	259	○	○
	養殖業	魚類養殖	260	○	○
		その他の養殖	261	○	○

地方選定漁業種類が記載されていない場合、マークは不要です。

			営んだものすべてにマーク
地方選定漁業種類			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

5　魚種

過去１年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したものすべてを記入してください。
また、全国共通魚種において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

				漁獲したものすべてにマーク	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通魚種	魚類	こい	271	0	0
		ふな	272	0	0
		あゆ	273	0	0
		うぐい・おいかわ	274	0	0
		わかさぎ	275	0	0
		さけ・ます類	276	0	0
		しらうお	277	0	0
		うなぎ	278	0	0
		はぜ類	279	0	0
		その他の魚類	280	0	0
	貝類	しじみ	281	0	0
		その他の貝類	282	0	0
	水産動物類	えび類	283	0	0
		その他の水産動物類	284	0	0
	その他		285	0	0

地方選定魚種が記載されていない場合、マークは不要です。

			漁獲したものすべてにマーク
地方選定魚種			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0

6　過去１年間の漁獲物（湖沼養殖の収獲物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

	販売金額なし	10万円未満	10～30万円未満	30～50万円未満	50～100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000万円以上
291	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「1,000万円以上」の場合は、金額も記入してください。

	百億	十億	億		
292					千万円

養殖業を行った方は、次のページへ

養殖業を行っていない方は、ここで終了です。
ご協力ありがとうございました。

Ⅲ　養殖業

湖沼又はその他の内水面において、養殖を行っている場合は記入してください。

1　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）の養殖業の従事者について、年齢別に実人数を記入してください。

（人）

		男			女		
計	311						
15～19歳	312						
20～24歳	313						
25～29歳	314						
30～34歳	315						
35～39歳	316						
40～44歳	317						
45～49歳	318						
50～54歳	319						
55～59歳	320						
60～64歳	321						
65～69歳	322						
70～74歳	323						
75歳以上	324						

養殖業の従事者とは、給餌、選別、養殖池の管理、出荷、経理・計算事務、養殖に係るすべての作業を行った者をいいます。

2　養殖種類

(1)　過去１年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
また、全国共通養殖種類において、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

面積の単位換

１町＝約 10,000 ㎡　　１坪＝約 3.3 ㎡
１反＝約 1,000 ㎡　　１アール＝100 ㎡
１畝＝約 100 ㎡

				施設面積 百万	十万	万	千	百	十 (㎡)	使用面積 百万	十万	万	千	百	十 (㎡)	販売金額が最も多かったものにマーク
全国共通養殖種類	食用	にじます	331													○
		その他ます類	332													○
		あゆ	333													○
		こい	334													○
		ふな	335													○
		うなぎ	336													○
		すっぽん	337													○
		海水魚種（ひらめ等）	338													○
		その他	339													○
	種苗用	ます類	340													○
		あゆ	341													○
		こい	342													○
		その他	343													○
	観賞用	錦ごい	344													○
		その他	345													○
	真珠		346													○

「観賞用その他」には、「きんぎょ」，「めだか」や「みどりがめ」等の「錦ごい」以外の観賞用のものが含まれます。

(2)　過去１年間に養殖した地方選定養殖種類すべてを記入してください。

地方選定養殖種類が記載されていない場合、マークは不要です。

地方選定養殖種類			養殖したものすべてにマーク
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○
			○

3　養殖方法

過去１年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。
また、販売金額が最も多かったもの一つに記入してください。

			養殖池数（網いけす数、養殖池の区画数） 百 十（面）	養殖面積 百万 十万 万 千 百 十（㎡）	販売金額が最も多かったものにマーク
池中養殖	止水式	351			○
池中養殖	流水式	352			○
池中養殖	循環式	353			○
ため池養殖		354			○
網いけす養殖		355			○
その他養殖		356			○

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

【 面積の記入の注意 】

施設面積については、所有（借入を含む。）するすべての養殖施設面積を記入してください。

養殖面積については、**施設面積**のうち、養成池、稚魚池、収獲時の補助池等、魚類の放養が可能な養殖池の面積を記入してください。
（水質浄化用の沈殿池や濾過池等は除きます。）

使用面積については、**養殖面積**のうち、通常使用している（魚類を放養している。）面積を記入してください。

4　過去１年間の収獲物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

	販売金額なし	10万円未満	10～30万円未満	30～50万円未満	50～100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～2,000万円未満	2,000～5,000万円未満	5,000万～1億円未満	1億円以上
361	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	千億 百億 十億	
362		億円

「１億円以上」の場合は、金額も記入してください。

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

0601

様式調第６号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

２０１８年漁業センサス

内水面漁業調査

内水面漁業地域調査票（案）

平成30年11月１日調査

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	都府県（振興局）	市区町村	水系	小水系	客体番号
基本指標番号					

市区町村名	水系名	小水系名

○　この調査は、全国の水系・小水系ごとに生産条件や活性化の取組等を調査し、水産業施策に必要な基礎資料の整備を目的とした重要な調査です。
　調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

○　記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでください。

○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

悪い例　○ → ✔ ⊙

○　調査票の内容については、本年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成29年11月１日から平成30年10月31日までの１年間について記入してください。

● **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**

オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

複数の河川（小水系）を管理している組合の方は、（　）の項目について、河川（小水系）ごとに別調査票で記入してください。
そのほかの項目については、１枚にまとめて記入してください。

Ⅰ　組合員数

11月１日現在の漁業協同組合の正・准組合員数について記入してください。

		万	千	百	十	（人）
正　組　合　員	101					
准　組　合　員	102					

Ⅱ　生産条件

１　漁場環境

(1)　11月１日現在で漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、当てはまるものすべてに記入してください。

	堰堤（えんてい）	うち、魚道つき	魚礁・魚巣ブロック	産卵場
111	○	○	○	○

堰堤…　水流をせき止めたり、調節したりするために、河川の途中や湖沼の出入り口に設けられた仕切り。
魚礁・魚巣ブロック…　河川や湖沼に自然石やブロックを人為的に投入し、又は設置された水産動植物の生息場。
産卵場…　水産動物の産卵を行う場所として、禁漁区の設定、水生植物の保護・造成、河床の整備、浮産卵礁の設置、堆積物の除去等を行っている区画。

(2)　過去１年間（平成29年11月１日から平成30年10月31日）に漁業協同組合が行った漁場環境改善への取組について、当てはまるものすべてに記入してください。

	種苗生産・放流	中間育成	保護水面の管理	産卵場の造成管理	魚道の管理	魚つき林の造成	魚つき林の造成以外の植樹活動	河川・湖沼の清掃活動
121	○	○	○	○	○	○	○	○

魚つき林…　水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類のすむところの確保や繁殖を助ける目的で設けた林。ただし、魚つき保安林として指定されたものは除く。

植樹活動…　森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を殖やす目的で山に木を植え、その保育作業をすること。

(3)　過去１年間に漁業協同組合が生産した種苗の種類について、当てはまるものすべてに記入してください。

放流等のために行う中間育成や蓄養は除きます。

	さけ・ます類								あゆ	こい	ふな	その他
	さく河性			陸封性								
	しろざけ	さくらます	その他	にじます	あまご	やまめ	いわな	その他				
131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)　過去１年間に漁業協同組合の放流したものについて、数量を記入してください。

				本年値 億	千万	百万	十万	万	千	百	十	(尾)	前回値（平成25年） 億	千万	百万	十万	万	千	百	十	(尾)
さけ・ます類	さく河性	しろざけ	141							0	0	0									
		さくらます	142							0	0	0									
		その他	143							0	0	0									
	陸封性	にじます	144							0	0	0									
		あまご	145							0	0	0									
		やまめ	146							0	0	0									
		いわな	147							0	0	0									
		その他	148							0	0	0									
あゆ			149							0	0	0									
こい			150							0	0	0									
ふな			151							0	0	0									
うなぎ			152							0	0	0									
その他の魚類			153							0	0	0									

		億	千万	百万	十万	万	千	百	十	(粒)	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	(粒)
わかさぎ卵	154						0	0	0	0									
その他の卵	155						0	0	0	0									

		十万	万	千	百	十	(kg)	十万	万	千	百	十	(kg)
貝類	156												

2　遊漁の状況

(1)　過去１年間における漁業協同組合が発行した遊漁承認証の枚数について、記入してください。

遊漁承認証の対象魚種が複数魚種の場合は、それぞれの対象魚種に同じ枚数を記入してください。
（例）　あゆ、やまめ及びこいの複数魚種を対象とした遊漁承認証を過去１年間に100枚発行した場合は、あゆ欄に100枚、ます類欄に100枚、こい・ふな類欄に100枚とそれぞれに記入してください。

				本年値					前回値(平成25年)				
				万	千	百	十	(枚)	万	千	百	十	(枚)
遊漁承認証	ます類	年間	171										
		漁期間	172										
		1日	173										
	あゆ	年間	174										
		漁期間	175										
		1日	176										
	こい・ふな類	年間	177										
		漁期間	178										
		1日	179										
	わかさぎ	年間	180										
		漁期間	181										
		1日	182										
	その他	年間	183										
		漁期間	184										
		1日	185										

(2)　過去１年間における漁業協同組合が行った遊漁者への啓発・普及活動の取組について、当てはまるものすべてに記入してください。

	ポスター、パンフレットの作成	講習会の開催	その他の啓発・普及活動
191	○	○	○

Ⅲ　活性化の取組

1　過去１年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合については、それぞれに同じ人数を記入してください。

		参加人数 本年値（十万 万 千 百 十（人））	参加人数 前回値（平成25年）（十万 万 千 百 十（人））
漁業体験	201		
魚食普及活動	202		
その他	203		

2　漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去１年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

（施設）

		施設数 本年値	施設数 前回値（平成25年）	年間利用者数 本年値（十万 万 千 百 十（人））	年間利用者数 前回値（平成25年）（十万 万 千 百 十（人））
水産物直売所	211			0 0	

調査は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

0701

様式調第７号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

2018年漁業センサス
流通加工調査

魚市場調査票（案）

平成31年１月１日調査

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	大海区	都府県（振興局）	市区町村	漁業地区	客体番号
基本指標番号					

市区町村名

漁業地区名

○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
○　記入に当たっては、「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでください。
○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

悪い例　○ → ✓ ⊙

○　調査票の内容については、本年（平成31年）の１月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成30年１月１日から平成30年12月31日までの１年間について記入してください。

● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

ここから記入してください

1　法人化していますか。当てはまるもの一つに記入してください。

	法人でない	法人である
201	○	○

2　法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

202	

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

1　魚市場の中で水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入してください。

	十万	万	千	百	十	(㎡)
101						

2　１月１日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

			千	百	十	(業者)
水産物卸売業者		111				
水産物買受人	産地出荷業者	112				
	加工業者	113				
	その他	114				

水産物買受人とは、水産物卸売業者から買い受ける産地出荷業者、加工業者等です。
産地出荷業者とは、水産物卸売業者から水産物を買い受けて、他の卸売市場へ出荷する業者をいいます。
魚市場内の複数の卸売業者に同一の買受人が登録している場合は、魚市場としての買受人数を記入し、重複させないでください。

3　魚市場における過去１年間（平成30年１月１日から12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額（消費税を含む。）を記入してください。

		数量								金額							
		千万	百万	十万	万	千	百	十	(トン)	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	(万円)
総数 ①＋②	121																
うち、活魚	122																
水揚量 ①	123																
搬入量 ②	124																
うち、輸入品	125																

数量は、過去１年間に魚市場へ上場された水産物（活魚、生鮮品、冷凍品及び加工品）の数量です。また、第１次水揚量（内水面漁業、養殖業による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量及び輸入品を含みます。

金額は、数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額（消費税を含む。）を記入してください。

4　１月１日現在で、魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまるものすべてに記入してください。

	海水殺菌装置	砕氷・製氷機	脱臭装置、排ガス処理装置	水産加工機器	その他
131	○	○	○	○	○

海水殺菌装置とは、海水の殺菌・滅菌を目的とした装置。
砕氷・製氷機とは、氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置。
出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含めません。
脱臭装置、排ガス処理装置とは、建物内の空気の清浄を目的とした装置。
水産加工機器とは、フィレマシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置。

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

0801

様式調第８号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計調査
漁業構造統計

2018年漁業センサス
流通加工調査

冷凍・冷蔵、水産加工場調査票（案）

平成31年１月１日調査

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	大海区	都府県（振興局）	市区町村	調査区	漁業地区	客体番号
基本指標番号						

市区町村名

漁業地区名

○　この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
○　記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでください。
○　黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★　数字は、１マスに１つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

記入例　9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★　マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例　1 1 2 3

★　マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例　○ → ●

悪い例　○ → ✔　⊙

○　調査票の内容については、本年（平成31年）の１月１日現在、前年（平成30年）の11月１日現在で記入する箇所と、過去１年間について記入する箇所があります。過去１年間の場合は、平成30年１月１日から平成30年12月31日までの１年間について記入してください。

● 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。
オンラインによる回答方法は、「オンライン調査システム操作ガイド」をご参照ください。

ここから記入してください

1　法人化していますか。当てはまるもの一つに記入してください。

	法人でない	法人である
401	○	○

2　法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

402	

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

Ⅰ　事業所の概要

1　過去１年間（平成30年１月１日から平成30年12月31日）に事業所で営んだ事業について当てはまるものすべてに記入してください。
　また、そのうち事業の収入が最も多かったものについて、当てはまるもの一つに記入してください。

冷蔵倉庫業とは、冷凍・冷蔵施設で寄託品の保管を行う事業で、倉庫業法（昭和31年法律第121号）に基づくものをいいます。
水産物卸売業とは、水産物を出荷者からの販売委託又は買い受けて卸売りする事業をいいます。
水産物仲卸（買）業とは、水産物を卸売業者から買い、小売店などに販売する事業をいいます。
水産物小売業とは、水産物仲卸（買）業者から水産物を買い、消費者に販売する事業をいいます。

		冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸（買）業	水産物小売業	その他
営んだ事業（該当すべてにマーク）	101	○	○	○	○	○	○	○
収入が最も多かった事業（一つにマーク）	102	○	○	○	○	○	○	○

2　平成30年11月１日現在の事業所における従業者数を記入してください。

		男 千	男 百	男 十	男 （人）	女 千	女 百	女 十	女 （人）
常時従業者	111								
うち、雇用者	112								
その他	113								

			千	百	十	（人）
うち、外国人	常時従業者	114				
	その他	115				

常時従業者とは、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している者及び研修生を含まない、次の①～③に該当する者をいいます。
① 個人事業主及び無給の家族従事者
② 有給の役員（役員報酬の賃金・給与体系の者）
③ 雇用者（賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人）
・役員の肩書きがあるものの、役員報酬ではなく、雇用者と同じ賃金・給与体系の者
・期間を定めずに従事している者
・１か月以上の期間を定めて従事している者
・出向・派遣受入者
雇用者とは、常時従業者のうち③の「雇用者」に該当する者をいいます。
その他とは、常時従業者以外の従業者をいいます。
・１か月未満の期間を定めて雇用されている人
・日々雇用（日雇い）されている人、など
外国人には、「常時従業者」及び「その他」のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入してください。
なお、外国人技能実習制度における雇用契約に基づく技能等修得活動及び修得した技能等を要する業務に従事している場合は従業者に含めますが、講習による知識修得活動期間中の者は従業者に含めません。

Ⅱ　冷凍・冷蔵工場

以下に該当する場合は、このページを記入してください。
該当しない場合は次のページへ進んでください。

主機10馬力（7.5kw）以上の冷凍・冷蔵施設を所有し、調査日前１年間（平成30年１月１日から平成30年12月31日）に水産物を低温保管した事業所又は水産物の凍結作業を行った事業所が対象です。
なお、冷蔵倉庫業の他、水産加工場が所有する主機10馬力（7.5kw）以上の自家用冷凍・冷蔵施設で、加工原料や製品を保管した場合も含めます。

１　事業所の冷凍・冷蔵施設の用途について、当てはまるもの一つに記入してください。

営業用とは、倉庫業法に基づき営業許可を受けた冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、自営品のみを扱った工場であっても、倉庫業法に基づくものは含めます。
自家用とは、倉庫業法に基づかない冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、寄託品を扱っている工場であっても、倉庫業法に基づかないものは含めます。

	営業用	自家用
201	○	○

２　過去１年間に事業所の冷凍・冷蔵施設を利用した利用者について、当てはまるものすべてに記入してください。
また、そのうち入庫量が最も多かった利用者について、当てはまるもの一つに記入してください。

漁業協同組合等には、漁業協同組合の他、漁業生産組合及び漁業協同組合連合会を含めます。
漁業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。
水産加工業協同組合等には、水産加工業協同組合の他、水産加工業協同組合連合会、その他の加工組合（事業協同組合、企業組合等）を含めます。
加工業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。

		寄託品							自営品
		漁業協同組合等	漁業者	水産加工業協同組合等	加工業者	卸売業者	買受人	その他	
利用者（該当すべてにマーク）	211	○	○	○	○	○	○	○	○
入庫量が最も多かった利用者（一つにマーク）	212	○	○	○	○	○	○	○	○

３　平成31年１月１日現在の事業所における冷凍・冷蔵施設の冷蔵能力（収容トン数）及び１日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

		十万	万	千	百	十	（トン）
冷蔵能力	221						

		十万	万	千	百	十	（トン/日）
凍結能力	222						

（冷蔵能力の換算率）　1㎥ ＝ 0.4トン

Ⅲ　水産加工場

以下に該当する場合は、このページ以降を記入してください。
該当しない場合は、終わりです。ご協力ありがとうございました。

調査日前１年間（平成30年１月１日から平成30年12月31日）に、販売を目的として、水産物を原料として加工製造を行った事業所の方が対象です。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、かつ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合も対象となります。

※　水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された食料加工品、飼肥料をはじめ、生鮮水産物を凍結した冷凍水産物のことです。

１　過去１年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

			301 生産量 千万	百万	十万	万	千	百	十	(kg)
ねり製品	かまぼこ類	①								
	魚肉ハム・ソーセージ類	②								
冷凍食品	魚介類 かに類	③								
	魚介類 その他	④								
	水産物調理食品	⑤								
素干し品	するめ	⑥								
	いわし	⑦								
	その他	⑧								
塩干品	干しいわし	⑨								
	干しあじ	⑩								
	干しさんま	⑪								
	干しさば	⑫								
	干しかれい	⑬								
	干しほっけ	⑭								
	干しはたはた	⑮								
	その他	⑯								

			301 生産量 千万	百万	十万	万	千	百	十	(kg)
煮干し品	煮干しいわし	⑰								
	しらす干し	⑱								
	煮干しいかなご・こうなご	⑲								
	干し貝柱	⑳								
	その他	㉑								
塩蔵品	塩蔵いわし	㉒								
	塩蔵さば	㉓								
	塩蔵さけ･ます	㉔								
	塩蔵たら・すけとうだら	㉕								
	塩蔵さんま	㉖								
	その他	㉗								
くん製品		㉘								
缶・びん詰		㉙								
寒天		㉚								
油脂		㉛								
飼肥料		㉜								

				301 生産量 千万 百万 十万 万 千 百 十 (kg)
節製品	節類	かつお節	33	
		かつおなまり節	34	
		さば節	35	
		その他	36	
	けずり節	かつおけずり節	37	
		その他	38	
その他の食用加工品		いか塩辛	39	
		水産物漬物	40	
		こんぶつくだ煮	41	
		乾燥・焙焼・揚げ加工品（いか製品）	42	
		その他	43	
生鮮冷凍水産物		冷凍まぐろ類	44	
		冷凍かつお類	45	
		冷凍さけ・ますす類	46	
		冷凍いわし類	47	
		冷凍まあじ・むろあじ類	48	
		冷凍さば類	49	

				301 生産量 千万 百万 十万 万 千 百 十 (kg)
生鮮冷凍水産物（つづき）		冷凍さんま	50	
	冷凍たら類	冷凍まだら	51	
		冷凍すけとうだら	52	
		冷凍ほっけ	53	
		冷凍いかなご・こうなご	54	
		冷凍はたはた	55	
		冷凍たい類	56	
		冷凍ほたてがい	57	
		冷凍いか類	58	
		冷凍かに類	59	
		冷凍かき類	60	
		その他冷凍魚類・冷凍水産物類	61	
	冷凍すり身	すけとうだら	62	
		いわし・さば	63	
		ほっけ	64	
		その他	65	

原料の板のりに換算した枚数を記入してください。

		十億 億 千万 百万 十万 万 千	
焼・味付のり	66		百枚

2　過去１年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記１の番号①～⑥⑥から一つ選んで記入してください。

年間販売金額第１位の水産加工品の種類	311	

3　過去１年間の事業所における水産加工品の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまるもの一つに記入してください。

	100万円未満	100～500万円未満	500～1,000万円未満	1,000～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1～5億円未満	5～10億円未満	10億円以上
321	○	○	○	○	○	○	○	○

水産加工品以外の製品を販売している場合は、事業所の総販売金額（消費税を含む。）のうち、水産加工品のみの販売金額（消費税を含む。）に該当する区分に記入してください。

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

	千億	百億	十億	（億円）
322	：	：	：	：

製造した水産加工品を自社の他事業所へ加工原料として提供した場合には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

4　過去１年間の事業所における水産加工品の出荷先について、当てはまるものすべてに記入してください。

流通業者は、卸売問屋等に国内向けに出荷している場合をいいます。
小売業者は、スーパー（量販店含む）、生協、鮮魚商等へ出荷している場合をいいます。
自家販売は、自家店舗、通販、インターネット販売、行商などで販売している場合をいいます。
直売所は、直売所や道の駅など場所を借りて販売している場合をいいます。
海外向け（輸出）は、貿易商社を通じるなどして、海外向けに出荷（輸出）している場合をいいます。

	国内向け								海外向け（輸出）
	漁協、加工協等の組合	加工業者	流通業者	小売業者	外食産業・給食業者等	卸売市場・荷さばき所	自家販売・直売所	その他	
331	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5　過去１年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について

(1)　原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、当てはまるもの一つに記入してください。

	すべて国産	70%以上	50～70%未満	30～50%未満	30%未満	すべて輸入
341	○	○	○	○	○	○

これらを選んだ方は(2)もお答えください。

(2)　事業所における国産原材料の仕入先について、当てはまるものすべてに記入してください。

	漁業者	漁業協同組合	その他
342	○	○	○

漁業協同組合には、漁業協同組合が開設する魚市場から仕入れた場合を含めてください。
その他には、漁業を営む事業所・世帯において加工原料を自ら漁獲・収獲している場合も含めてください。

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

別添2

2018年漁業センサス 集計事項一覧（案）

海面漁業調査	漁業経営体調査	1
海面漁業調査	海面漁業地域調査	11
内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査	12
内水面漁業調査	内水面漁業地域調査	14
流通加工調査	魚市場調査	15
流通加工調査	冷凍・冷蔵、水産加工場調査	16

表側 ＼ 表頭		地域等別																									
		全国大海区・都道府県	市区町村・漁業地区	漁業集落	経営体階層	経営組織	販売金額1位の漁業種類	販売金額2位の漁業種類	販売金額1位の漁獲・収獲魚種	販売金額2位の漁獲・収獲魚種	漁獲販売金額規模	専兼業別・基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	自家漁業の漁業従事世帯員数別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	専兼業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層別、従事日数	基幹的漁業従事者が60歳以上の経営体の専兼業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層別	経営主の専兼業別、男女別・年齢階層	漁業従事世帯員数別、専兼業別漁業従事世帯員の専兼業状況	海上作業従事日数1位の漁業種類	海上作業従事日数2位の漁業種類	経営の関わり方別	漁業従事状況別	漁業従事日数別	沿岸漁業層の操業タイプ	沿岸漁業層の個人経営体の販売金額1位の漁業種類	中小・大規模経営体の主従組合せ統計の漁業種類	中小・大規模経営体の経営体階層	魚類養殖全体の養殖面積規模	ぶり類の養殖面積規模
		一覧01	一覧02	一覧03	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
○ 漁業経営体統計																												
1 漁業経営体の基本構成																												
(1)総括	001	○	○	○	◎	◎	◎																					
(2)個人経営体	002	○	○	○	◎																							
(3)会社	003	○	○	○	◎																							
(4)漁業協同組合	004	○	○	○	◎																							
(5)漁業生産組合	005	○	○	○	◎																							
(6)共同経営	006	○	○	○	◎																							
(7)その他	007	○	○	○	◎																							
2 経営体階層別経営体数	008	○	○	○																								
3 販売金額1位の漁業種類別経営体数	009	○	○		◎	◎					◎																	
4 販売金額2位の漁業種類別経営体数	010	○	○		◎	◎	◎				◎																	
5 販売金額3位の漁業種類別経営体数	011	○	○		◎	◎		注			◎																	
6 販売金額1位の漁獲・収獲魚種別経営体数	012	○	○		◎	◎	◎				◎																	
7 販売金額2位の漁獲・収獲魚種別経営体数	013	○	○		◎	◎			◎		◎																	
8 販売金額3位の漁獲・収獲魚種別経営体数	014	○	○		◎	◎				注	◎																	
9 漁獲・収獲魚種数別経営体数	015	○	○		◎	◎		◎			◎																	
10 営んだ漁業種類別経営体数	016	○	○	○	◎	◎	◎																					
(地方選定漁業種類別経営体数)	017		○																									
11 経営組織別経営体数	018	○	○	○	◎		◎																					
12 漁船使用の有無別経営体数	019	○	○		◎																							
13 営んだ漁業種類数別経営体数	020	○	○		◎		◎																					
14 動力漁船保有隻数別経営体数	021	○	○	○	◎		◎																					
15 11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数	022	○	○		◎		◎																					
16 陸上作業最盛期の従事者数別経営体数	023	○	○		◎																							
17 漁獲販売金額別経営体数	024	○	○	○	◎		◎																					
18 海面養殖の販売金額別経営体数	025	○	○		◎		◎																					
19 11月1日現在漁業を営んでいる経営体数と営んでいない経営体数	026	○	○		◎																							
20 11月1日現在の海上作業従事者構成別経営体数	027	○	○		◎																							
21 漁獲物の出荷先別経営体数	028	○	○	○	◎		◎				◎																	
22 主な漁獲物の出荷先別経営体数	029	○	○		◎		◎				◎																	
23 営んだ兼業種類別経営体数(個人経営体＋団体経営体)	030	○	○		◎																							
24 新規就業者の有無別経営体数	031	○	○		◎		◎																					
○ 個人経営体統計																												
1 販売金額1位の漁業種類別経営体数	032	○	○		◎							◎	◎	◎	◎	◎	◎											
2 販売金額2位の漁業種類別経営体数	033	○	○																									
3 販売金額3位の漁業種類別経営体数	034	○	○																									
4 営んだ漁業種類別経営体数	035													◎		◎												
5 営んだ漁業種類数別経営体数	036												◎															
6 11月1日現在の海上作業従事者構成別経営体数	037	○	○		◎							◎																
7 11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数	038											◎			◎		◎											
8 家族・雇用者別11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数																												
(1)家族	039	○	○		◎																							
(2)雇用者	040	○	○		◎																							
9 陸上作業最盛期の最多従事者構成別経営体数	041	○	○		◎							◎																
10 陸上作業最盛期の最多従事者数別経営体数	042	○	○		◎							◎				◎	◎											
11 漁獲販売金額別経営体数	043	○	○		◎							◎	◎	◎	◎	◎	◎											
12 海面養殖の販売金額別経営体数	044	○	○		◎							◎	◎	◎	◎	◎	◎											
13 自家漁業の専兼業別経営体数	045	○	○	○	◎								◎															
14 自家漁業の主従別営んだ兼業種類別経営体数	046	○	○	○	◎																							
15 世代構成別経営体数	047	○	○		◎							◎				◎												
16 兼業経営体の漁業従事世帯員状況別経営体数	048	○	○		◎																							
17 漁業のみの経営体数	049	○	○		◎																							
18 専兼業別・基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層別経営体数	050	○	○	○	◎																							
19 自家漁業に従事した世帯員数別経営体数	051	○	○									◎		◎														
20 経営主の専兼業別男女別・年齢階層別経営体数	052	○	○	○																								
21 漁業従事世帯員の専兼業状況別経営体数	053	○	○																									
22 自営漁業の後継者の有無別経営体数	054	○	○	○	◎							◎				◎	◎											
23 漁業従事者数別経営体数	055	○	○		◎											◎												
24 漁獲物の出荷先別経営体数	056	○	○		◎							◎																
25 漁獲物の主な出荷先別経営体数	057	○	○		◎							◎																
26 営んだ兼業種類別経営体数	058	○	○									◎																
27 自家漁業従事者は漁業のみの経営体数	059	○	○									◎		◎		◎	◎											
28 自家漁業専業以外で漁業のみの経営体数	060	○	○									◎																

漁業経営体調査集計事項一覧表（案）

調査項目別（結果表）

25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	表頭コード
まだいの養殖面積規模	ひらめの養殖面積規模	とらふぐの養殖面積規模	くろまぐろの養殖面積規模	ほたてがいの養殖面積規模	かき類の養殖面積規模	わかめ類の幹縄の長さ規模	のり類の養殖面積規模	真珠のいかだ台数規模	真珠母貝のいかだ台数規模	魚類養殖全体の養殖専主業別養殖面積規模	ぶり類養殖の専主業別養殖面積規模	まだい養殖の専主業別養殖面積規模	ひらめ養殖の専主業別養殖面積規模	とらふぐ養殖の専主業別養殖面積規模	くろまぐろ養殖の専主業別養殖面積規模	ほたてがい養殖の専主業別養殖面積規模	かき類養殖の専主業別養殖面積規模	わかめ類養殖の専主業別幹縄の長さ規模	のり類養殖の専主業別養殖面積規模	真珠養殖の専主業別いかだ台数規模	真珠母貝養殖の専主業別いかだ台数規模	魚類養殖全体の養殖施設の稼働割合	ぶり類養殖の養殖施設の稼働割合	まだい養殖の養殖施設の稼働割合	ひらめ養殖の養殖施設の稼働割合	とらふぐ養殖の養殖施設の稼働割合	くろまぐろ養殖の養殖施設の稼働割合	自営・漁業雇われ区分（漁業就業者）	男女別・年齢階層	漁業従事世帯員の漁業従事状況	自家漁業専兼業	海上作業29日以下の漁業従事世帯員の自営・漁業雇われ別、男女別・年齢階層（漁業従事者）	漁船トン数規模	出漁日数1位の漁業種類	出漁日数2位の漁業種類	販売金額1位の漁業種類別動力漁船	販売金額2位の漁業種類別動力漁船	資本金規模	従業者規模	出資金規模	出資者規模	
																																										001
																																										002
																																							◎			003
																																										004
																																										005
																																								◎	◎	006
																																										007
																																										008
																																										009
																																										010
																																										011
																																										012
																																										013
																																										014
																																										015
																																										016
																																										017
																																										018
																																										019
																																										020
																																										021
																																										022
																																										023
																																										024
																																										025
																																										026
																																										027
																																										028
																																										029
																																										030
																																										031
																																										032
																																										033
																																										034
																																										035
																																										036
																																										037
																																										038
																																										039
																																										040
																																										041
																																										042
																																										043
																																										044
																																										045
																																										046
																																										047
																																										048
																																										049
																																										050
																																										051
																																										052
																																										053
																																										054
																																										055
																																										056
																																										057
																																										058
																																										059
																																										060

表側 ＼ 表頭		地域等別																									
		全国大海区・都道府県	市区町村・漁業地区	漁業集落	経営体階層	経営組織	販売金額1位の漁業種類	販売金額2位の漁業種類	販売金額1位の漁獲・収獲魚種	販売金額2位の漁獲・収獲魚種	漁獲販売金額規模	専兼業別・基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	自家漁業の漁業従事世帯員数別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	専業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層別、従事日数	基幹的漁業従事者が60歳以上の経営体の専兼業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	経営主の専兼業別、男女別・年齢階層	漁業従事世帯員数別、専兼業別漁業従事世帯員の専兼業状況	海上作業従事日数1位の漁業種類	海上作業従事日数2位の漁業種類	経営の関わり方別	漁業従事状況別	漁業従事日数別	沿岸漁業層の操業タイプ	沿岸漁業層の個人経営体の販売金額1位の漁業種類	中小・大規模経営体の主従組合せ統計の漁業種類	中小・大規模経営体の経営体階層	魚類養殖全体の養殖面積規模	ぶり類の養殖面積規模
		一覧01	一覧02	一覧03	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
29 経営体階層別経営体数	061	○	○									◎	◎	◎	◎	◎	◎											
30 専兼業別･基幹的漁業従事者の男女別･年齢階層別経営体数	062	○	○																									
31 漁家民宿を行っている経営体数及び宿泊者数	063	○	○																									
32 漁家民宿延べ宿泊者数別経営体数	064	○	○																									
33 経営主等の平均年齢	065	○	○		◎		◎																					
33 経営方針の決定参画者（経営主を除く）の有無別経営体数	066	○	○		◎		◎				◎	◎																
34 経営方針の決定参画者（経営主を除く）の続柄別経営体数	067	○	○		◎		◎																					
35 経営方針の決定参画者（経営主を除く）の人数別経営体数	068	○	○		◎		◎									◎												
○ 団体経営体に関する統計																												
1 経営体階層別経営体数	069	○																										
2 販売金額1位漁業種類別経営体数	070	○			◎																							
3 営んだ漁業種類別経営体数	071	○			◎																							
4 営んだ漁業種類数別経営体数	072	○			◎																							
5 漁船使用の有無別経営体数	073	○			◎																							
6 動力漁船保有隻数別経営体数	074	○			◎																							
7 漁獲販売金額別経営体数	075	○			◎																							
○ 会社に関する統計																												
1 経営体階層別経営体数	076	○																										
2 販売金額1位の漁業種類別経営体数	077	○			◎																							
3 営んだ漁業種類別経営体数	078	○			◎																							
4 営んだ漁業種類数別経営体数	079	○			◎																							
5 漁船使用の有無別経営体数	080	○			◎																							
6 動力漁船保有隻数別経営体数	081	○			◎																							
7 漁獲販売金額別経営体数	082	○			◎																							
8 本所･支所の区分別経営体数	083	○			◎																							
9 会社の種類別経営体数	084	○			◎																							
10 従業者規模別経営体数	085	○			◎																							
11 会社全体の従業者数	086	○																										
12 会社全体の従業者規模別経営体数	087	○																										
13 会社全体の常時労働者規模別経営体数	088	○																										
14 会社全体の臨時労働者規模別経営体数	089	○																										
15 資本金階層別経営体数	090	○																										
16 漁業の専業･兼業別経営体数	092	○																										
17 兼業種類別経営体数	092	○																										
18 主とする兼業種類別経営体数	093	○																										
19 兼業事業所別経営体数	094	○																										
20 自社用の冷凍･冷蔵工場を保有する経営体数及び自社用工場数	095	○																										
21 事業所別子会社数	096	○																										
22 子会社数別経営体数	097	○																										
○ 共同経営に関する統計																												
1 経営体階層別経営体数	098	○																										
2 販売金額1位の漁業種類別経営体数	099	○			◎																							
3 営んだ漁業種類別経営体数	100	○			◎																							
4 営んだ漁業種類数別経営体数	101	○			◎																							
5 漁船使用の有無別経営体数	102	○			◎																							
6 動力漁船保有隻数別経営体数	103	○			◎																							
7 漁獲販売金額別経営体数	104	○			◎																							
8 出資金規模別経営体数	105	○			◎																							
9 出資者規模別経営体数	106	○			◎																							
○ 操業漁業種類数別統計																												
1 単一操業経営体																												
(1)漁業経営体の基本構成	107				◎		◎																					
(2)経営体階層別経営体数	108						◎																					
(3)漁獲販売金額別経営体数	109						◎																					
(4)専兼業別経営体数(個人経営体のみ)	110						◎																					
2 2種類操業経営体																												
(1)漁業経営体の基本構成	111				◎		◎																					
(2)経営体階層別経営体数	112						◎																					
(3)漁獲販売金額別経営体数	113						◎																					
(4)専兼業別経営体数(個人経営体のみ)	114						◎																					
3 3種類操業経営体																												
(1)漁業経営体の基本構成	115				◎		◎																					
(2)経営体階層別経営体数	116						◎																					
(3)漁獲販売金額別経営体数	117						◎																					

漁業経営体調査集計事項一覧表（案）

調査項目別（結果表）

25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	表頭コード
まだいの養殖面積規模	ひらめの養殖面積規模	とらふぐの養殖面積規模	くろまぐろの養殖面積規模	ほたてがいの養殖面積規模	かき類の養殖面積規模	わかめ類の幹縄の長さ規模	のり類の養殖面積規模	真珠のいかだ台数規模	真珠母貝のいかだ台数規模	魚類養殖全体の養殖専主業別養殖面積規模	ぶり類養殖の専主業別養殖面積規模	まだい養殖の専主業別養殖面積規模	ひらめ養殖の専主業別養殖面積規模	とらふぐ養殖の専主業別養殖面積規模	くろまぐろ養殖の専主業別養殖面積規模	ほたてがい養殖の専主業別養殖面積規模	かき類養殖の専主業別養殖面積規模	わかめ類養殖の専主業別幹縄の長さ規模	のり類養殖の専主業別養殖面積規模	真珠養殖の専主業別いかだ台数規模	真珠母貝養殖の専主業別いかだ台数規模	魚類養殖全体の養殖施設の稼働割合	ぶり類養殖の養殖施設の稼働割合	まだい養殖の養殖施設の稼働割合	ひらめ養殖の養殖施設の稼働割合	とらふぐ養殖の養殖施設の稼働割合	くろまぐろ養殖の養殖施設の稼働割合	自営・漁業雇われ区分（漁業就業者）	男女別・年齢階層	漁業従事世帯員の漁業従事状況	自家漁業専業	海上作業29日以下の漁業従事世帯員の自営・漁業雇われ別、男女別・年齢階層（漁業従事者）	漁船トン数規模	出漁日数1位の漁業種類	出漁日数2位の漁業種類	販売金額1位の漁業種類別動力漁船	販売金額2位の漁業種類別動力漁船	資本金規模	従業者規模	出資金規模	出資者規模	
																																										061
																																										062
																																										063
																																										064
																																										065
																																										066
																																										067
																																										068
																																										069
																																										070
																																										071
																																										072
																																										073
																																										074
																																										075
																																										076
																																							◎			077
																																							◎			078
																																							◎			079
																																							◎			080
																																							◎			081
																																							◎			082
																																							◎			083
																																							◎			084
																																										085
																																						◎				086
																																						◎				087
																																						◎				088
																																						◎				089
																																										090
																																						◎				092
																																						◎				092
																																						◎				093
																																						◎				094
																																						◎				095
																																						◎				096
																																						◎				097
																																										098
																																								◎	◎	099
																																								◎	◎	100
																																								◎	◎	101
																																								◎	◎	102
																																								◎	◎	103
																																								◎	◎	104
																																										105
																																								◎		106
																																										107
																																										108
																																										109
																																										110
																																										111
																																										112
																																										113
																																										114
																																										115
																																										116
																																										117

表側 ＼ 表頭		地域等別 全国大海区・都道府県 一覧01	市区町村・漁業地区 一覧02	漁業集落 一覧03	01 経営体階層	02 経営組織	03 販売金額1位の漁業種類	04 販売金額2位の漁業種類	05 販売金額1位の漁獲・収獲魚種	06 販売金額2位の漁獲・収獲魚種	07 漁獲販売金額規模	08 専兼業別・基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	09 自家漁業の漁業従事世帯員数別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	10 専業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層別、従事日数	11 基幹的漁業従事者が60歳以上の経営体の専兼業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	12 経営主の専兼業別、男女別・年齢階層	13 漁業従事世帯員数別、専兼業別漁業従事世帯員の専兼業状況	14 海上作業従事日数1位の漁業種類	15 海上作業従事日数2位の漁業種類	16 経営の関わり方別	17 漁業従事状況別	18 漁業従事日数別	19 沿岸漁業層の操業タイプ	20 沿岸漁業層の個人経営体の販売金額1位の漁業種類	21 中小・大規模経営体の主従組合せ統計の漁業種類	22 中小・大規模経営体の経営体階層	23 魚類養殖全体の養殖面積規模	24 ぶり類の養殖面積規模
(4)専兼業別経営体数(個人経営体のみ)	118						◎																					
4 4種類以上操業経営体																												
(1)漁業経営体の基本構成	119				◎		◎																					
(2)経営体階層別経営体数	120						◎																					
(3)漁獲販売金額別経営体数	121						◎																					
(4)専兼業別経営体数(個人経営体のみ)	122						◎																					
5 複数操業経営体の販売金額2位の漁業種類別経営体数	123						◎																					
6 複数操業経営体の販売金額3位の漁業種類別経営体数	124							注																				
○ 沿岸漁業層の操業タイプ別統計																												
1 漁業経営体の基本構成	125																					◎						
2 経営体階層別経営体数	126																					◎						
3 経営組織別経営体数	127																					◎						
4 11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数	128																					◎						
5 動力漁船保有隻数別経営体数	129																					◎						
6 営んだ漁業種類数別経営体数	130																					◎						
7 漁獲販売金額別経営体数	131																					◎						
8 海面養殖の販売金額別経営体数	132																					◎						
9 専兼業別経営体数(個人経営体のみ)	133																					◎						
10 沿岸漁業層の操業タイプ別経営体数	134	○																				◎						
○ 沿岸漁業層の個人経営体の販売金額1位の漁業種類別統計																												
1 漁業経営体の基本構成	135																						◎					
2 販売金額2位の漁業種類の組合せ別経営体数	136																						◎					
3 経営体階層別経営体数	137																						◎					
4 漁獲販売金額別経営体数	138																						◎					
5 自家漁業の専兼業別経営体数	139																						◎					
6 複数操業経営体																												
(1)経営体階層別経営体数	140																						◎					
(2)漁獲販売金額別経営体数	141																						◎					
(3)自家漁業の専兼業別経営体数	142																						◎					
○ 中小･大規模経営体統計																												
1 販売金額1位の漁業種類と販売金額2位の漁業種類の組み合わせ別経営体数	143																							◎				
2 営んだ漁業種類別経営体階層別統計																												
(1)動力漁船保有隻数別経営体数	144																								◎			
(2)11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数	145																								◎			
(3)漁獲販売金額別経営体数	146																								◎			
3 単一操業経営体の漁業種類別経営体階層別統計																												
(1)動力漁船保有隻数別経営体数	147																								◎			
(2)11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数	148																								◎			
(3)漁獲販売金額別経営体数	149																								◎			
4 複数操業経営体の販売金額1位の漁業種類別経営体階層別統計																												
(1)動力漁船保有隻数別経営体数	150																								◎			
(2)11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数	151																								◎			
(3)漁獲販売金額別経営体数	152																								◎			
(4)営んだ漁業種類数別経営体数	153																								◎			
○ 海面養殖業経営体統計																												
1 魚類養殖全体																												
(1)採捕･養殖の組合せ別経営体数	154	○	○																							◎		
(2)養殖面積	155	○	○																							◎		
(3)魚類養殖の組合せ別経営体数	156	○	○																							◎		
(4)養殖施設の稼働割合別経営体数	157	○	○																							◎		
2 ぶり類養殖																												
(1)採捕･養殖の組合せ別経営体数	158	○	○																									◎
(2)養殖面積	159	○	○																									◎
(3)養殖施設の稼働割合別経営体数	160	○	○																									◎
3 まだい養殖																												
(1)採捕･養殖の組合せ別経営体数	161	○	○																									
(2)養殖面積	162	○	○																									
(3)養殖施設の稼働割合別経営体数	163	○	○																									
4 ひらめ養殖																												
(1)採捕･養殖の組合せ別経営体数	164	○	○																									
(2)養殖施設	165	○	○																									
(3)養殖面積	166	○	○																									
(4)養殖施設の稼働割合別経営体数	167	○	○																									
5 とらふぐ養殖																												

漁業経営体調査集計事項一覧表（案）

| 調査項目別（結果表） | | |

表側 ＼ 表頭		地域等別 全国大海区・都道府県	市区町村・漁業地区	漁業集落	経営体階層	経営組織	販売金額1位の漁業種類	販売金額2位の漁業種類	販売金額1位の漁獲・収獲魚種	販売金額2位の漁獲・収獲魚種	漁獲販売金額規模	専兼業別・基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	自家漁業の漁業従事世帯員数別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	専兼業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層別、従事日数	基幹的漁業従事者が60歳以上の経営体の専兼業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	経営主の専兼業別、男女別・年齢階層	漁業従事世帯員数別、専兼業別漁業従事世帯員の専兼業状況	海上作業従事日数1位の漁業種類	海上作業従事日数2位の漁業種類	経営の関わり方別	漁業従事状況別	漁業従事日数別	沿岸漁業層の操業タイプ	沿岸漁業層の個人経営体の販売金額1位の漁業種類	中小・大規模経営体の主従組合せ統計の漁業種類	中小・大規模経営体の経営体階層	魚類養殖全体の養殖面積規模	ぶり類の養殖面積規模
		一覧01	一覧02	一覧03	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体	168	○	○																									
(2)養殖施設	169	○	○																									
(3)養殖面積	170	○	○																									
(4)養殖施設の稼働割合別経営体数	171	○	○																									
6 くろまぐろ養殖																												
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体数	172	○	○																									
(2)養殖面積	173	○	○																									
(3)養殖施設の稼働割合別経営体数	174	○	○																									
7 ほたてがい養殖																												
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体数	175	○	○																									
(2)養殖面積	176	○	○																									
8 かき類養殖																												
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体数	177	○	○																									
(2)養殖面積	178	○	○																									
9 わかめ類養殖																												
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体数	179	○	○																									
(2)幹縄の長さ	180	○	○																									
10 のり類養殖																												
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体数	181	○	○																									
(2)養殖面積	182	○	○																									
11 真珠養殖																												
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体数	183	○	○																									
(2)いかだ台数	184	○	○																									
12 真珠母貝養殖																												
(1)採捕・養殖の組合せ別経営体数	185	○	○																									
(2)いかだ台数	186	○	○																									
13 海面養殖を主とする経営体(経営規模別)																												
(1)11月1日現在の海上作業従事者数別経営体数	187																											
(2)漁獲金額別経営体数	188																											
14 養殖施設の稼働割合別経営体数[個人経営体]																												
(1)専兼業別漁業経営体数	189																											
(2)漁獲金額別経営体数	190																											
○ 総合的な漁業労働力に関する統計																												
1 男女別年齢階層別責任のある者数	191	○	○																◎	◎	◎							
2 責任のある者の漁業従事状況別責任のある者数	192	○	○																◎	◎	◎							
3 漁業従事日数別責任のある者数	193	○	○																◎	◎	◎							
4 海上作業従事日数別責任のある者数	194	○	○																◎	◎	◎							
5 海上作業従事日数1位の漁業種類別責任のある者数	195	○	○																◎	◎	◎							
6 海上作業従事日数2位の漁業種類別責任のある者数	196	○	○														◎		◎	◎	◎							
7 海上作業従事日数3位の漁業種類別責任のある者数	197	○	○															注	◎	◎	◎							
8 従事した漁業種類別責任のある者数	198	○	○																◎	◎	◎							
9 団体経営体における一定の者及び役職者[団体経営体]	199	○	○																									
10 責任のある者の人数別経営体数	200	○	○		◎	◎	◎																					
11 海上作業における責任のある者と雇用者の組み合わせ別経営体数	201	○	○		◎	◎	◎																					
○ 漁業就業者統計																												
1 自営・雇われ別漁業就業者数	202	○	○																									
2 男女別・年齢階層別漁業就業者数	203	○	○	○																								
3 自営・雇われ別、男女別・年齢階層別漁業就業者数	204	○	○		◎	◎	◎																					
4 個人経営体出身で自家漁業のみの漁業層別漁業就業者数	205	○	○																									
7 個人経営体出身で自家漁業のみの主として従事した漁業種類別漁業就業者数	206	○	○																									
8 個人経営体出身で自家漁業のみの漁業のみに従事した漁業就業者数	207	○	○	○	◎																							
9 個人経営体出身で自家漁業の主従別兼業種類別漁業就業者数	208	○	○																									
10 個人経営体出身で自家漁業のみの海上作業従事日数別漁業就業者数	209	○	○		◎																							
11 個人経営体出身で自家漁業とそれ以外の仕事との主従別漁業就業者数	210	○	○		◎																							
12 個人経営体出身で自家漁業のみの男女別・年齢階層別漁業就業者数	211	○	○		◎																							
13 個人経営体出身で自家漁業のみの男女別・年齢階層別新規就業者数	212	○	○		◎																							
14 個人経営体出身で自家漁業のみの新規学卒就業者数	213	○	○		◎																							
○ 11月1日現在の漁業従事者統計																												
家族・雇用者別漁業従事者数	214	○	○	○	◎																							
○ 漁船に関する統計																												
1 漁船隻数・動力漁船トン数規模別隻数	215	○	○	○	◎																							
2 動力漁船隻数・トン数	216	○	○	○	◎																							
3 出漁日数別動力漁船隻数	217	○	○	○																								
4 出漁日数1位の漁業種類別動力漁船隻数	218	○	○																									

漁業経営体調査集計事項一覧表（案）

調査項目別（結果表）

25 まだいの養殖面積規模	26 ひらめの養殖面積規模	27 とらふぐの養殖面積規模	28 くろまぐろの養殖面積規模	29 ほたてがいの養殖面積規模	30 かき類の養殖面積規模	31 わかめ類の幹縄の長さ規模	32 のり類の養殖面積規模	33 真珠のいかだ台数規模	34 真珠母貝のいかだ台数規模	35 魚類養殖全体の養殖専主業別養殖面積規模	36 ぶり類養殖の専主業別養殖面積規模	37 まだい養殖の専主業別養殖面積規模	38 ひらめ養殖の専主業別養殖面積規模	39 とらふぐ養殖の専主業別養殖面積規模	40 くろまぐろ養殖の専主業別養殖面積規模	41 ほたてがい養殖の専主業別養殖面積規模	42 かき類養殖の専主業別養殖面積規模	43 わかめ類養殖の専主業別幹縄の長さ規模	44 のり類養殖の専主業別養殖面積規模	45 真珠養殖の専主業別いかだ台数規模	46 真珠母貝養殖の専主業別いかだ台数規模	47 魚類養殖全体の養殖施設の稼働割合	48 ぶり類養殖の養殖施設の稼働割合	49 まだい養殖の養殖施設の稼働割合	50 ひらめ養殖の養殖施設の稼働割合	51 とらふぐ養殖の養殖施設の稼働割合	52 くろまぐろ養殖の養殖施設の稼働割合	53 自営・漁業雇われ区分（漁業就業者）	54 男女別・年齢階層	55 漁業従事世帯員の漁業従事状況	56 自家漁業専業	57 海上作業29日以下の漁業従事世帯員の自営・漁業雇われ別、男女別・年齢階層（漁業従事者）	58 漁船トン数規模	59 出漁日数1位の漁業種類	60 出漁日数2位の漁業種類	61 販売金額1位の漁業種類別動力漁船	62 販売金額2位の漁業種類別動力漁船	63 資本金規模	64 従業者規模	65 出資金規模	66 出資者規模	表頭コード
		◎																																										168
		◎																																										169
		◎																																										170
		◎																																										171
			◎																																									172
			◎																																									173
			◎																																									174
				◎																																								175
				◎																																								176
					◎																																							177
					◎																																							178
						◎																																						179
						◎																																						180
							◎																																					181
							◎																																					182
								◎																																				183
								◎																																				184
									◎																																			185
									◎																																			186
										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																						187
										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																						188
																						○	○	○	○	○	○																	189
																						○	○	○	○	○	○																	190
																																												191
																																												192
																																												193
																																												194
																																												195
																																												196
																																												197
																																												198
																																												199
																																												200
																																												201
																																												202
																															◎													203
																																												204
																																◎												205
																																◎												206
																																◎												207
																																◎												208
																																												209
																																												210
																																												211
																																												212
																																												213
																																												214
																																						◎						215
																																						◎	◎					216
																																						◎	◎					217
																																						◎						218

表側 ＼ 表頭		地域等別																									
		全国大海区・都道府県	市区町村・漁業地区	漁業集落	経営体階層	経営組織	販売金額1位の漁業種類	販売金額2位の漁業種類	販売金額1位の漁獲・収獲魚種	販売金額2位の漁獲・収獲魚種	漁獲販売金額規模	専業業別・基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	自家漁業の漁業従事世帯員数別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	専業業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層別、従事日数	基幹的漁業従事者が60歳以上の経営体の専業業別、基幹的漁業従事者の男女別・年齢階層	経営主の専業業別、男女別・年齢階層	漁業従事世帯員数別、専業業別漁業従事世帯員の専業状況	海上作業従事日数1位の漁業種類	海上作業従事日数2位の漁業種類	経営の関わり方別	漁業従事状況別	漁業従事日数別	沿岸漁業層の操業タイプ	沿岸漁業層の個人経営体の販売金額1位の漁業種類	中小・大規模経営体の主従組合せ統計の漁業種類	中小・大規模経営体の経営体階層	魚類養殖全体の養殖面積規模	ぶり類の養殖面積規模
		一覧01	一覧02	一覧03	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
5 出漁日数2位の漁業種類別動力漁船隻数	219	○	○																									
6 出漁日数3位の漁業種類別動力漁船隻数	220	○	○																									
7 販売金額1位の漁業種類別動力漁船隻数	221	○	○																									
8 販売金額2位の漁業種類別動力漁船隻数	222	○	○																									
9 販売金額3位の漁業種類別動力漁船隻数	223	○	○																									
10 使用した漁業種類数別動力漁船隻数	224	○	○																									
○ 漁業世帯員(個人経営体出身)統計																												
1 15歳以上の漁業従事世帯員の主とする就業状況別世帯員数	225	○	○		◎																							
2 自家漁業･漁業雇われ別漁業(海上作業)のみに従事した世帯員数	226	○	○		◎																							
3 自家漁業従事日数別世帯員数	227	○	○		◎																							
4 男女別･年齢階層別新規就業世帯員数	228	○	○																									
5 海上作業29日以下の漁業従事世帯員																												
(1)主として従事した漁業種類別漁業の海上作業に従事した15歳以上の世帯員数	229	○	○																									
(2)自家漁業･漁業雇われ専兼業別漁業の海上作業に従事した15歳以上の世帯員数	230	○	○																									
(3)男女別･年齢階層別新規就業世帯員数	231	○	○																									

調査項目別の集計範囲
◎：全国、都道府県、大海区、市区町村
○：全国、都道府県、大海区
注：２位と３位の結果表を１位の漁業種類や魚種ごとに作成

漁業経営体調査集計事項一覧表（案）

調査項目別（結果表）

| 表頭コード | 出資者規模 | 出資金規模 | 従業者規模 | 資本金規模 | 販売金額2位の漁業種類別動力漁船 | 販売金額1位の漁業種類別動力漁船 | 出漁日数2位の漁業種類 | 出漁日数1位の漁業種類 | 漁船トン数規模 | 海上作業29日以下の漁業従事世帯員の自営・漁業雇われ別、男女別・年齢階層（漁業従事者） | 自家漁業専業 | 漁業従事世帯員の漁業従事状況 | 男女別・年齢階層 | 自営・漁業雇われ区分（漁業就業者） | くろまぐろ養殖の養殖施設の稼働割合 | とらふぐ養殖の養殖施設の稼働割合 | ひらめ養殖の養殖施設の稼働割合 | まだい養殖の養殖施設の稼働割合 | ぶり類養殖の養殖施設の稼働割合 | 魚類養殖全体の養殖施設の稼働割合 | 真珠母貝養殖の専主業別いかだ台数規模 | 真珠養殖の専主業別いかだ台数規模 | のり類養殖の専主業別養殖面積規模 | わかめ類養殖の専主業別幹縄の長さ規模 | かき類養殖の専主業別養殖面積規模 | ほたてがい養殖の専主業別養殖面積規模 | くろまぐろ養殖の専主業別養殖面積規模 | とらふぐ養殖の専主業別養殖面積規模 | ひらめ養殖の専主業別養殖面積規模 | まだい養殖の専主業別養殖面積規模 | ぶり類養殖の専主業別養殖面積規模 | 魚類養殖全体の養殖専主業別養殖面積規模 | 真珠母貝のいかだ台数規模 | 真珠のいかだ台数規模 | のり類の養殖面積規模 | わかめ類の幹縄の長さ規模 | かき類の養殖面積規模 | ほたてがいの養殖面積規模 | くろまぐろの養殖面積規模 | とらふぐの養殖面積規模 | ひらめの養殖面積規模 | まだいの養殖面積規模 |
|---|---|---

2018年漁業センサス

海面漁業地域調査　集計事項一覧表（案）

表側 ＼ 表頭		地域等別（一覧表）			調査項目別（結果表）	
		全国大海区・都道府県	市区町村	漁業地区別	資源管理のタイプ別	参加経営体数規模別
		一覧 01	一覧 02	一覧 03	01	02
1　資源管理・漁場改善の取組						
（1）資源管理の取組数規模別漁業地区数	001	○	○	○		
（2）資源管理のタイプ別取組数	002	○	○	○		
（3）参加漁業経営体数別取組数	003	○	○	○	○	
（4）管理対象魚種別延べ取組数	004	○	○	○	○	○
（5）漁業資源の管理を行った取組数	005	○	○	○	○	○
（6）漁場の保全・管理を行った取組数	006	○	○	○	○	○
（7）漁獲の管理を行った取組数	007	○	○	○	○	○
（8）遊漁関係団体との連携の有無別漁業地区数	008	○	○			
（9）遊漁関係団体との連携の具体的な取組別漁業地区数	009	○	○			
2　漁業地区の会合・集会の開催状況						
（1）過去1年間に開催された会合・集会等の回数別漁業地区数	010	○	○			
（2）会合・集会等の議題別漁業地区数	011	○	○			
3　活性化の取組						
（1）漁業協同組合が関係する活動別漁業地区数	012	○	○			
（2）漁業体験を行った参加人数規模別漁業地区数及び年間延べ参加者数	013	○	○			
（3）魚食普及活動への参加人数規模別漁業地区数及び年間延べ参加人数	014	○	○			
（4）その他活性化の取組活動への参加人数規模別漁業地区数及び年間延べ参加人数	015	○	○			
（5）水産物直売所の利用者規模別漁業地区数、施設数及び年間延べ利用者数	016	○	○			

内水面漁業経営体　集計事項一覧

表側 ＼ 表頭		地域等別（一覧表）					調査項目別（結果表）										
		全国・都道府県	市区町村	湖沼・道県	湖沼・市区町村	内水面漁業地域・内水面漁業集落	経営組織	主とする養殖種類	営んだ養殖種類	養殖施設の稼働割合	養殖業従事者規模	専兼業	男女別・年齢階層	世帯員の漁業従事状況	経営体階層（湖沼漁業）	主とする漁業種類（湖沼漁業）	湖上作業従事者規模
		一覧01	一覧02	一覧03	一覧04	一覧05	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
○　内水面漁業経営体に関する統計（総括）																	
内水面漁業経営体数	001	○	○			○	◎										
○　内水面養殖業に関する統計																	
1　養殖業の基本構成																	
（1）経営体数	002	○	○			○		◎									
（2）養殖池数	003	○	○			○		◎									
（3）養殖面積	004	○	○			○		◎									
2　経営体																	
（1）経営組織別経営体数	005	○	○			○		○									
（2）営んだ養殖種類別経営体数	006	○	○			○		○									
（地方選定養殖種類）	007	○	○					○									
（3）主とする養殖種類別経営体数	008	○	○														
（4）主とする養殖方法別経営体数	009	○	○					◎									
（5）営んだ養殖方法別経営体数	010	○	○			○		○									
（6）主とする養殖方法別養殖面積規模別経営体数及び1経営体平均面積	011	○	○					○			○						
（7）営んだ養殖面積規模別経営体数	012	○							○								
（8）養殖施設の稼働割合別経営体数	013	○	○					○									
（9）過去1年間の養殖業従事者数別経営体数	014	○	○					○				○					
（10）過去1年間の収獲物の販売金額別経営体数	015	○	○			○		◎			○	○					
3　個人経営体																	
（1）自家漁業の専兼業別経営体数	016	○	○			○		◎				○					
（2）自家漁業の経営主の専兼業別経営体数	018	○	○					○				○					
（3）自家漁業の経営主の年齢階層別経営体数	019	○	○														
（4）経営主等の平均年齢	020	○	○					○				○					
（5）経営方針の決定参画者（経営主を除く）の有無別経営体数	021	○	○														
（6）経営方針の決定参画者（経営主を除く）の人数別経営体数	022	○	○														
（7）自家養殖業従事世帯員数別経営体数	023	○	○					○				○					
（8）過去1年間の自家養殖業従事者構成別経営体数	024	○	○					○									
（9）自家養殖業の後継者の有無別経営体数	025	○	○			○		○				○					
（10）自家漁業の世代構成別経営体数	026	○	○			○		○				○					
4　養殖方法別養殖池数及び面積	027	○	○					○									
5　養殖業従事者の男女別・年齢別従事者数	028	○	○			○		○									
6　新規就業者数	029	○	○					○									
7　自家養殖業従事者																	
（1）自家漁業とそれ以外の仕事との主従別自家養殖業従事者数	030	○	○					◎					◎	◎			
（2）兼業種類別延べ自家養殖業従事者数	031	○	○					◎					○				
（3）男女別・主な仕事の種類別自家養殖業従事者数	032	○	○					○					○				
（4）従事日数別自家養殖業従事者数	033	○	○					○					○				
（5）男女別・年齢別自家養殖業従事者数	034	○	○											◎			
8　○○養殖を主とする経営体（にじます～海水魚種）																	
（1）経営組織別経営体数	035	○								○							
（2）過去1年間の販売金額別経営体数	036	○								○							
（3）過去1年間の養殖業従事者数別経営体数	037	○								○							

調査項目別の集計範囲
◎：都道府県、市区町村　○：都道府県
◇：都道府県　◆：都道府県、市区町村別

内水面漁業経営体　集計事項一覧

表頭＼表側		地域等別（一覧表）					調査項目別（結果表）										
		全国・都道府県	市区町村	湖沼・道県	湖沼・市区町村	内水面漁業地域・内水面漁業集落	経営組織	主とする養殖種類	営んだ養殖種類	養殖施設の稼働割合	養殖業従事者規模	専兼業	男女別・年齢階層	世帯員の漁業従事状況	経営体階層（湖沼漁業）	主とする漁業種類（湖沼漁業）	湖上作業従事者規模
		一覧01	一覧02	一覧03	一覧04	一覧05	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
○ 湖沼漁業に関する統計																	
1 漁業経営体の基本構成																	
（1）経営体数	038	○	○	○	○	○									◆	◆	
（2）保有漁船隻数及び使用動力漁船合計トン数	039	○	○	○	○	○									◆	◆	
2 経営体																	
（1）経営組織別経営体数	040	○	○	○	○	○									◇	◇	
（2）主とする漁業種類別経営体数	041	○	○	○	○										◆	◆	
（3）営んだ漁業種類別経営体数	042	○	○	○	○	○									◇	◇	
（地方選定漁業種類）	043	○		○	○										◇	◇	
（4）主とする漁獲魚種別経営体数	044	○		○	○										◆	◆	
（5）漁獲魚種別延べ経営体数	045	○		○	○										◇	◇	
（地方選定魚種）	046	○		○	○										◇	◇	
（6）漁船使用の有無別延べ経営体数	047	○	○	○	○	○									◇	◆	
（7）湖上作業従事日数別経営体数	048	○		○	○										◇	◇	◇
（8）年間湖上作業従事者規模別経営体数	049	○		○	○										◆	◆	
（9）過去1年間の湖上作業従事者数別経営体数及び1経営体平均従事者数	050	○	○	○	○							◇			◆	◆	
（10）過去1年間の漁獲物販売金額別経営体数	051	○	○	○	○	○						◇			◆	◆	◇
3 個人経営体																	
（1）自家漁業の専兼業別経営体数	052	○	○	○	○	○									◆	◆	
（2）自家漁業の経営主の専兼業別経営体数	054	○		○	○							◇			◇	◇	
（3）自家漁業の経営主の年齢階層別経営体数	055	○		○	○												
（4）経営主等の平均年齢	056	○		○	○							◇				◇	
（5）経営方針の決定参画者（経営主を除く）の有無別経営体数	057	○		○	○												
（6）経営方針の決定参画者（経営主を除く）の人数別経営体数	058	○		○	○												
（7）自家湖上作業従事世帯員数別経営体数	059	○		○	○							◇			◇	◇	
（8）過去1年間の湖上作業従事者構成別経営体数	060	○		○	○										◇	◇	
（9）自家漁業の後継者の有無別経営体数	061	○	○	○	○	○									◇	◇	
（10）自家漁業の世代構成別経営体数	062	○		○	○										◇	◇	
4 自家漁業従事者																	
（1）男女別・年齢階層別湖上作業従事者数	063	○		○	○										◇		
（2）自家漁業とそれ以外の仕事との主従別自家漁業従事者数	064	○		○	○								◆		◆	◆	
（3）兼業種類別延べ自家漁業従事者数	065	○		○	○								◇		◇	◇	
（4）男女別・主な仕事の種類別自家漁業従事者数	066	○		○	○										◇	◇	
（5）従事日数別自家湖上作業従事者数	067	○		○	○								◇		◇	◇	
5 新規就業者数	068	○		○	○											◇	

調査項目別の集計範囲
◎：都道府県、市区町村　○：都道府県
◇：都道府県　◆：都道府県、市区町村別

内水面漁業地域調査 集計事項一覧

表側 ＼ 表頭		地域等別（一覧表） 全国・都道府県	地域等別（一覧表） 都府県（振興局）・水系
		一覧 01	一覧 02
Ⅰ 組合員数			
1 正・准別組合員数	001	○	
2 組合員数別漁協数	002	○	
Ⅱ 生産条件			
1 漁場環境			
（1）漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設の有無別小水系数	003	○	○
（2）過去1年間に行った漁場環境改善への取組の有無別小水系数	004	○	○
（3）過去1年間に生産した種苗の種類別漁協数	005	○	
（4）漁業協同組合の放流した魚種別放流数量	006	○	
（5）魚種別放流の取組のある小水系数	007	○	○
2 遊漁の状況			
（1）漁業協同組合の遊漁承認証の延べ発行枚数	008	○	
（2）遊漁承認証を発行した漁協数	009	○	
（3）遊漁者への啓発・普及活動の取組が行われた漁協数	010	○	
Ⅲ 活性化の取組み			
1 漁業体験を行った参加人数規模別漁協数及び年間延べ参加人数	011	○	
2 魚食普及活動を行った参加人数規模別漁協数及び年間延べ参加人数	012	○	
3 その他活性化の取組活動を行った参加人数規模別漁協数及び年間延べ参加人数	013	○	
4 水産物直売所を運営する利用者規模別漁協数、施設数及び年間延べ利用者数	014	○	

魚市場調査　集計事項一覧

表側 ＼ 表頭		地域等別（一覧表）		調査項目別（結果表）	
		全国大海区・都道府県	市区町村・漁業地区	年間取扱金額規模	市場の種類
		一覧01	一覧02	01	02
1　市場の種類別市場数	001	○	○	○	
2　開設者の種類別市場数	002	○	○	○	○
3　市場の売場面積					
（1）売場面積規模別市場数	003	○	○	○	○
（2）総売場面積	004	○	○	○	○
4　卸売業者数及び買受人数	005	○	○	○	○
5　卸売業者数別市場数	006	○	○	○	○
6　買受人数別市場数	007	○	○	○	○
7　年間取扱高	008				
（1）総数		○	○	○	○
（2）地方公共団体		○	○	○	○
（3）漁業協同組合		○	○	○	○
（4）漁業協同組合連合会		○	○	○	○
（5）会社		○	○	○	○
（6）個人		○	○	○	○
8　年間取扱数量規模別市場数	009	○	○	○	○
9　年間取扱金額規模別市場数	010	○	○		○
10　水産物の品質・衛生管理機器種類別延べ市場数	011	○	○	○	○

冷凍・冷蔵、水産加工場調査　集計事項一覧

表側 ＼ 表頭		地域等別（一覧表）		調査項目別（結果表）					
		全国大海区・都道府県	市区町村・漁業地区	工場の事業区分（冷凍・冷蔵、水産加工場）	従業者規模	工場の事業区分（冷凍・冷蔵工場）	冷蔵能力規模	工場の事業区分（水産加工場）	主とする加工種類
		一覧01	一覧02	01	02	03	04	05	06
○ 冷凍・冷蔵、水産加工場に関する統計									
1 形態別工場数	001	○	○	○	○				
2 営んだ事業区分別延べ工場数	002	○	○	○	○				
3 主とする事業区分別工場数	003	○	○	○	○				
4 従業者数	004	○	○	○	○				
5 従業者規模別工場数	005	○	○	○					
6 従業者の常時従業者以外の割合別工場数	006	○	○	○	○				
7 従業者の女割合別工場数	007	○	○	○	○				
8 従業者の外国人割合別工場数	008	○	○	○	○				
9 従業者のうち雇用者規模別工場数	009	○	○	○	○				
○ 冷凍・冷蔵工場に関する統計									
1 事業所の概要									
(1)形態別工場数	010	○	○		○	○	○		
(2)営んだ事業区分別延べ工場数	011	○	○		○	○	○		
(3)主とする事業区分別工場数	012	○	○		○	○	○		
(4)従業者数	013	○	○		○	○	○		
(5)従業者規模別工場数	014	○	○			○	○		
(6)従業者の常時従業者以外の割合別工場数	015	○	○		○	○	○		
(7)従業者の女割合別工場数	016	○	○		○	○	○		
(8)従業者の外国人割合別工場数	017	○	○		○	○	○		
(9)従業者のうち雇用者規模別工場数	018	○	○		○	○	○		
2 冷凍・冷蔵工場									
(1)利用区分別工場数	019	○	○		○	○	○		
(2)利用者区分別工場数	020	○	○		○	○	○		
(3)主な利用者区分別工場数	021	○	○		○	○	○		
(4)冷蔵・凍結能力									
ア 冷蔵能力									
(ア)冷蔵能力規模別工場数	022	○	○		○	○			
(イ)冷蔵能力計	023	○	○		○	○	○		
イ 凍結能力									
(ア)1日当たりの凍結能力別工場数	024	○	○		○	○	○		
(イ)1日当たりの凍結能力計	025	○	○		○	○	○		
○ 水産加工場に関する統計									
1 事業所の概要									
(1)形態別工場数	026	○	○		○			○	○
(2)営んだ事業区分別延べ工場数	027	○	○		○			○	○
(3)主とする事業区分別工場数	028	○	○		○			○	○
(4)従業者数	029	○	○		○			○	○
(5)従業者規模別工場数	030	○	○					○	○
(6)従業者の常時従業者以外の割合別工場数	031	○	○		○			○	○

冷凍・冷蔵、水産加工場調査　集計事項一覧

表側 ＼ 表頭		地域等別（一覧表）		調査項目別（結果表）					
		全国大海区・都道府県	市区町村・漁業地区	工場の事業区分（冷凍・冷蔵、水産加工場）	従業者規模	工場の事業区分（冷凍・冷蔵工場）	冷蔵能力規模	工場の事業区分（水産加工場）	主とする加工種類
		一覧01	一覧02	01	02	03	04	05	06
（7）従業者の女割合別工場数	032	○	○		○			○	○
（8）従業者の外国人割合別工場数	033	○	○		○			○	○
（9）従業者のうち雇用者規模別工場数	034	○	○		○			○	○
2　水産加工場									
（1）営んだ加工種類別延べ工場数	035	○	○		○			○	○
（2）主とする加工種類別工場数	036	○	○		○			○	
（3）加工種類別生産量	037	○			○			○	○
（4）年間製品販売金額別工場数	038	○	○		○			○	○
（5）出荷先別工場数	039	○	○		○			○	○
（6）原材料に占める国産品の割合別工場数	040	○	○		○			○	○
（7）国産原材料の仕入れ先別延べ工場数	041	○	○		○			○	○